

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

UBEビエンナーレ 滞在型コンテンツ造成事業
Art and adventure of the earth

実施報告書

令和2年3月

国土交通省 中国運輸局

1. 実施内容	1
本事業の実施方針	
実施内容	
2. 地域資源の現地調査、観光コンテンツの開発について	2
観光資源の現地調査	
観光コンテンツの開発	
コンテンツ案	
3. 企画開発協議会の開催について	5
開催内容	
構成メンバー	
協議会資料	
4. アートガイドの育成について	62
開催内容	
アートガイド育成講座研修資料	
【成果物】アートガイド用マニュアル	
5. FAMツアーの実施について	117
6. 事業化の検討	118
コンテンツ改良方針	
コンテンツ改良の背景にあるもの	
7. FAMメンバーアンケート結果に基づく総合評価	119
認知について	
フリーコメント	
その他スポットに関するフィードバック	
8. 最終コンテンツの報告	123
コンテンツ①宗隣寺坐禅体験	
コンテンツ②ビエンナーレの丘坐禅体験	
コンテンツ③小野茶体験：茶畑見学～工場見学～試飲	
コンテンツ④赤間硯の里：工房見学	
コンテンツ⑤習字体験	
コンテンツ⑥船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問	
コンテンツ⑦永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞	
9. 最終コンテンツに基づいた旅行企画の提案	130
二泊三日プラン	
一泊二日プラン	
日帰りプラン	
半日プラン	
10. 課題と今後の展開	135
課題	
体験コンテンツの実施体制	
11. WEBサイト（英語）でのコンテンツ情報の提供	136

■付則資料一覧

別添1. 第一回現地調査報告書2019.10.22-23	別添5. 議事録（200123第三回協議会）
別添2. 第二回現地調査報告書2019.11.15-16	別添6. 議事録（200301第四回協議会）
別添3. 議事録（191010初回打ち合わせ）	別添7. トム・シーモア氏公開セミナープレゼン資料
別添4. 議事録（191115第一回協議会）	

1. 実施内容

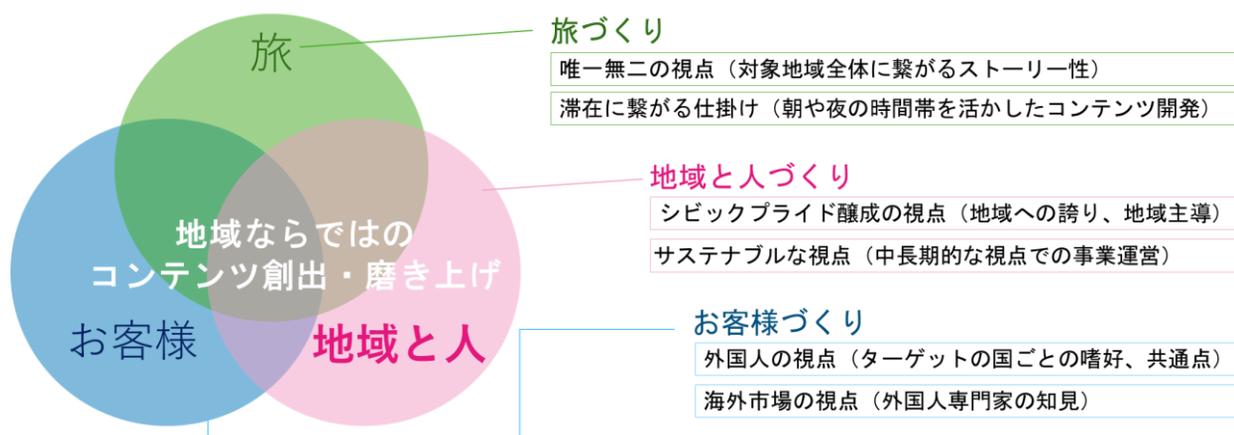
本事業の実施方針

本事業の目的

本事業では、一般社団法人宇部観光コンベンション協会、地域関係者と連携しながら、宇部市の柱となるアートを土台としたストーリーを明確に描き、ターゲットの心に響く**感動体感型コンテンツ**の開発ならびにブラッシュアップを行い、ターゲットの誘客・滞在の促進に資する形へと整備を進める。

事業実施の視点

本事業の目的であるUBEビエンナーレをテーマとしたコンテンツの磨き上げにおいては、本事業後にも**地域が主体となり持続的に発展し続ける**ことが、地域にとって必要不可欠であると考え。そのため、「旅」「地域と人」「お客さま」の3つの立場それぞれの視点を定め、本事業を実施する。



実施内容

本事業の実施内容は、以下のとおり。

1. 観光資源の現地調査、観光コンテンツ開発

エリア内の観光資源のリストアップを行い、2度にわたる現地調査（うち、1回は外国人トラベル専門家を帯同）を踏まえ、欧米豪観光客向けのコンテンツを企画開発した。

2. 協議会の運営

1. に関する知見を得るため、また開発コンテンツに対する承認を得るため、協議会（計5回）を実施した。

3. ガイドの育成

本事業の主役の一人である、宇部市民で構成される観光ガイドボランティアグループ、英語ボランティアグループに対し、アートガイドの育成を目的として、研修（3回）の提供ならびに、外国人アート専門家による公開セミナー（1回）を実施した。

上記に加え、アートガイドマニュアルの整備を行った。

4. FAMツアーの企画・運営

1. 2. で設定したコンテンツ案の検証・改善を図るため、FAMツアーを実施した。

5. 事業化の検討

1. ～4. の結果を踏まえ、UBEビエンナーレ滞在型コンテンツならびにツアーを造成した。

2. 地域資源の現地調査、観光コンテンツ開発について

■観光資源の現地調査

観光資源として、UBEビエンナーレはもとより、宇部市の歴史や伝統芸能、市街地・山間部にある観光資源や風光明媚な自然環境、その他観光地（食、文化施設、地域コミュニティ）といった地域固有の資源を整理のうえリストアップし、コンテンツの基礎データとした。

調査① 2019年10月22日、23日 全12件
※トラベル専門家 サンドラ・イサカ氏同行

調査② 2019年11月15日、16日 全9件

※別添資料「1.」「2.」参照。

■観光コンテンツの開発

現地調査ならびにヒアリングに基づいた観光コンテンツとして、当初、下記5つを彫刻鑑賞に加える形で提案した。

【当初案】

- ① UBEビエンナーレ彫刻の丘～宗隣寺庭園 座禅体験
- ② ぼたん苑見学～小野茶のテイスティング体験
- ③ 赤間硯工房見学～書道体験
- ④ 永山本家酒造場での試飲体験&岩戸神楽舞鑑賞
- ⑤ 船木エリア散策（たましげ琴製作所訪問～彫刻鑑賞～楠こもれびの郷）

■コンテンツ案

1. UBEビエンナーレ彫刻の丘～宗隣寺庭園 座禅体験

【コンテンツテーマ】「工夫」「内観」「探求」

【ストーリー性】

- ・ときわ公園内の中心的な彫刻を紹介しながら、ビエンナーレの丘へ。宗隣寺から僧侶を迎え、彫刻前での座禅体験を実施する。座禅を行う目的の一つ、精神統一によって自身の内観と向き合い、また心身のリラクセスを促す。さらには、「彫刻の丘」で座禅を行う非日常を提供する。
- ・野外彫刻は季節や時間、鑑賞する角度によって受ける印象に変化のあることを紹介。座禅を組んだ場所から臨める彫刻の妙味を感じつつ、これから出合う彫刻を新たな視点で鑑賞する楽しみ（探求心）と期待を提供する。
- ・宗隣寺龍心庭前で再び座禅体験を提供し、日本庭園もまた観る角度によって印象に変化がともなう（＝見方の「工夫」）ことを体感していただく。そこから禅の精神や日本の様式と、ビエンナーレ（アート）の共通項を感じ取る。

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、座禅体験、庭園鑑賞（寺院訪問）
所要時間	2.5～3時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ビエンナーレの丘座禅体験（30分）～移動（20分）～宗隣寺座禅体験（30分）～龍心庭鑑賞（30分）
受け入れ	宗隣寺様
コンテンツ提供者	・宗隣寺様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・座禅体験料、龍心庭拝観料 500円/人 ・タクシー料金：ときわ公園～宗隣寺・約4km・1500円/台
鑑賞彫刻案	・蟻の城（向井良吉）ほか



2. ぼたん苑見学～小野茶のテイスティング体験

【コンテンツテーマ】「邂逅（かいこう）」

【ストーリー性】

- ・ときわ公園を散策しつつ、ぼたん苑へ。美しい花々や彫刻を眺めながら、宇部のテーマ「緑と花と彫刻」が生まれたその歴史背景（公害→自然あふれる街づくり）を紹介する。
- ・梁あらかわしの天井、敷き詰められた畳、囲炉裏、土間……築後100年以上の古民家「憩いの家」でのひとときを過ごすことで、昔から根付く日本の建築様式之美を知っていただく。
- ・「憩いの家」で囲炉裏を囲んで、縁側に並んで、小野茶の味わいを堪能。グリーンティーとはひと味ふた味と違う、味わいや香り、色を体感していただき、日本茶との新しい出会いを創出する。

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、古民家体験、ティーテイスティング
所要時間	1.5時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ぼたん苑見学・小野茶テイスティング（60分）
受け入れ	※小野茶の提供企業
コンテンツ提供者	・観光ボランティア&英語ボランティア ・小野茶に関するレクチャーは別途アサイン
値段	・ぼたん苑利用料金は宇部市負担 ・小野茶の試飲 1,000円/人
鑑賞彫刻案	・宇部の木（竹腰耕平）ほか



3. 赤間硯工房見学～書道体験

【コンテンツテーマ】「素材」「石」「温故知新」

【ストーリー性】

- ・「赤間硯の里」の工房を見学。赤間石を硯に削り出す工程から「素材」が「道具」に変わる様子を披露することで、旧来から脈々と受け継がれてきた地元産業の息吹に触れていただく。
- ・書道体験では墨を擦る最初のプロセスから大切にしつつも、型にはまらない自由な発想で臨んでいただくことで、海外観光客の心理障壁を下げ、純粋に日本の文化に親しみを感じていただく。
- ・書道体験は、旧吉部小学校の教室を想定。『日本の学び舎』で過ごす時間そのものもコンテンツとして提供する。

エリア	万倉エリア
ジャンル	工房見学、習字体験、彫刻鑑賞
所要時間	2～3時間 調整可能
体験内容	赤間硯の里工房見学・日枝玉峯堂製硯所（40分）～移動（20分）～学校散策～書道体験～彫刻鑑賞（90分）
受け入れ	・赤間硯の里：職人駐在中に対応 ・書道体験：水曜日午前、土日のみ対応 ・旧吉部小学校レンタル
コンテンツ提供者	・赤間硯の里 日枝敏夫様/書道体験 日枝美穂様 ・観光ボランティア&英語ボランティア ※「赤間硯の里」は、英語の紹介VTR、パンフレットあり
値段	・講師料、出張費、書道体験を内包する形で提供。 ・タクシー料金（赤間硯の里～旧吉部小学校・約11km）
鑑賞彫刻案	・じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。（佐藤圭一）



4. 永山本家酒造場での試飲体験 & 岩戸神楽舞鑑賞

【コンテンツテーマ】「命」「自然」「再生」

【ストーリー性】

- ・カルスト台地を源流とする地下水、自社&地元の契約農家が栽培する米から生まれた日本酒の醸造工程を見学～試飲し、「自然」のもたらす産物への興味喚起を図るとともにその味わいを純粋に楽しんでもらう機会とする。
- ・試飲とあわせ、このたび復活（再生）を果たした岩戸神楽舞の鑑賞を行う。地域に根付く伝統舞踊の歴史と荘厳さを感じてもらいつつ、『神様への奉納』というお酒と神楽舞の共通点を紹介することで日本の伝統文化に触れていただく。
- ・海外ツーリストが旅に求めることの上位に挙がる「地元住民とのふれあい」を実現すべく、演者や杜氏（※要調整）との歓談タイムも設ける予定。

エリア	二俣瀬
ジャンル	酒蔵見学・試飲、神楽鑑賞、地元住民との交流
所要時間	2～3時間程度
体験内容	酒造見学（40分）～お酒を飲みながらの岩戸神楽鑑賞（60分）～地元住民との交流（30分）
受け入れ	岩戸神楽保存会会長 矢原様 永山本家酒造場 永山貴博様
コンテンツ提供者	・永山本家酒造様 ・岩戸神楽舞保存会様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・岩戸神楽鑑賞料金 一式3万円 ・酒造見学料（試飲含む） 無料
鑑賞彫刻案	「命」「自然」「再生」「いにしえ」「時」などからピックアップ



5. 船木エリア散策（たましげ琴製作所訪問～彫刻鑑賞～楠こもれびの郷）

【コンテンツテーマ】「歴史」「共鳴」

【ストーリー性】

- ・江戸時代に宿場町として栄えた船木エリアの町並みを散策しながら、同エリアに点在する彫刻を訪ねる。
- ・散策の終着点としてたましげ琴製作所を訪問。国内数社と言われる琴メーカーの一つとして、その歴史（明治27年創業）をひも解きながら、職人のクラフトマンシップに触れる。
- ・琴の演奏体験では、伝統楽器を奏でるまたとない機会と、1フレーズを弾けるようになって披露するという達成感のあるコンテンツとすることで、参加者の満足度を追求する。
- ・最終目的地は「楠こもれびの郷」とし、温泉で疲れを取ったのち「農家レストラン」で地元の味を楽しむ。

エリア	船木
ジャンル	散策、彫刻鑑賞、工房見学、演奏体験、温泉
所要時間	4～5時間程度
体験内容	エリア散策・彫刻鑑賞（30分）～たましげ琴製作所（60分）～移動（15分）～楠こもれびの郷（120分）
受け入れ	楠こもれびの郷様、たましげ琴製作所様
コンテンツ提供者	・たましげ琴製作所様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・琴演奏体験料 500円/人（工房見学含む） ・入浴料 620円/人+農家レストラン食事代 ・タクシー料金（たましげ琴製作所～楠こもれびの郷・約5km・1500円/台）
鑑賞彫刻案	・「森に棲む2010-5」（北沢努） ・The Forest of Mirrors（佐野耕平）



3. 企画課発協議会の開催について

開催内容

コンテンツ候補の知見を得るため、また開発コンテンツに対する承認を得るため、企画開発協議会（計5回）を実施。

協議会① 実施日：2019年11月15日

目的：当社ならびに当社事業のご紹介、事業の概要共有、現地調査報告

協議会② 実施日：2020年1月14日（書面協議会）

目的：FAMツアー検証コンテンツ案の提案と意見聴取

協議会③ 実施日：2020年1月23日

目的：FAMツアー検証コンテンツ案の決定
ガイド研修の概要報告

協議会④ 実施日：2020年3月1日

目的：FAMツアーの実施報告と簡易フィードバックの実施

協議会⑤ 実施日：2020年3月18日（書面協議）

目的：FAMツアー参加者のフィードバックにともなう観光コンテンツの最終報告
ガイド研修（実地）の実施報告
アートガイドマニュアルの完成報告

※別添資料「3.」～「6.」：議事録参照。

構成メンバー

	所属	役職	氏名
1	日本人アート専門家	BEPPU PROJECT 代表	山出 淳也
2	日本人アート専門家	ときわミュージアム アートディレクター	日沼 禎子
3	外国人専門家（アート）		トム・シーモア
4	外国人専門家（トラベル）		サンドラ イサカ
5	中国運輸局	観光部観光地域振興課 専門官	石郡 慎一
6	中国運輸局	観光部観光地域振興課	土居 由里恵
7	宇部市	観光・グローバル推進課 副課長	中村 隆行
8	宇部市	観光・グローバル推進課 副課長	河野 祐治
9	宇部市	観光・グローバル推進課 副主幹	木原 大介
10	宇部市	観光・グローバル推進課	山本 圭祐
11	宇部観光コンベンション協会	事務局長	吉村 直樹
12	宇部観光コンベンション協会	主任	佐々木 正志
13	宇部ふるさとコンパニオンの会	会長	脇 彌生
14	宇部未来会議	会長	藤重 雅明
15	宇部おもてなしゼミ		
16	宗隣寺	副住職	山中 祐生
17	書家		日枝 美穂
18	宇部ピエンナーレ世界一達成市民委員会		田村 賢二郎
19	まこっこ農園		才木 誠
20	(有) 篠澤酒舗	代表取締役社長	篠澤 朝孝
21	山口宇部経済新聞（株式会社ネットウェイズ）	営業部 部長	札本 咲子
22	全日本空輸（株）	山口支店 マネージャー	末田 順子
23	日本航空（株）	山口支店 アシスタントマネージャー	松浦 寛
	リベルタ（株）	代表	澤野 啓次郎
	リベルタ（株）		林 美希子
	リベルタ（株）		香川 妙美

第一回 企画開発協議会 実施概要

1. 開催日時 2019年11月15日 13:30~14:30
2. 開催場所 宇部市役所 2階 第1会議室
3. 参加者 宇部市 観光・グローバル推進課：木原氏、山本氏
宇部観光コンベンション協会：吉村氏
宇部ビエンナーレ世界一達成市民委員会：田村氏
全日本空輸（株）山口支店：横山氏
山口宇部経済新聞：札本氏
リベルタ株式会社：澤野、林
4. 議題一覧 ①本事業の概要説明
②コンテンツ造成協議会のと参画メンバーについて
③事業方針と実施業務（案）の説明

1. 事業内容と目的の共有

1-1. 事業概要

（目的）

欧米豪のツーリストを対象として、UBEビエンナーレを柱とするアートが主題のコンテンツならびに宇部の観光資源を活用したコンテンツを造成し、ターゲットを宇部へ呼び込み、宇部滞在を促進する。

本事業のポイント

1. ストーリー性

コンテンツに共通する「宇部」
ならではのストーリー設定

2. 地域の主体性

UBEビエンナーレを誇りに思う市民を中心とした、英語対応ガイドの育成

コンテンツ造成の対象地域

宇部市全域

(1) 地域資源に関する調査

- ・ 現地調査
- ・ 地域関係者へのヒアリング
- ・ 外国人専門家へのヒアリング

(2) 滞在型コンテンツの企画・開発

- ・ **宇部のストーリー設定**
- ・ 体験コンテンツ(*1)の造成：5本以上
- ・ コンテンツのブラッシュアップ
- ・ 英語対応：ガイド育成、ガイドマニュアル（英語）の作成
- ・ **旅行商品(*2)**の企画、開発：9本

(*1) コンテンツ=個々の体験メニュー（〇〇作り体験、△△鑑賞）

(*2) 旅行商品=コンテンツに宿泊等を組み込んだ旅程

(3) FAMツアーの実施

- ・ (2) で企画・開発したコンテンツを組んだツアー実施
- ・ 欧米6カ国の招請=ニーズの把握、販路獲得

1-2. 事業スケジュール

No.	アイテム	回	内容	開催日	備考
1	協議会	1回目	メンバー紹介、現地調査の報告、今後の方針、内容すり合わせ	11月15日	
2	ガイド研修	1回目	1)ガイド概論 2)外国人接遇	12月上旬 ～中旬	
3	協議会	2回目	作成した個々コンテンツとFAM内容(旅程案)のすり合わせ		*「滞在」「旅行商品」として、海・山・川のアクティビティも検討
4	ガイド研修	2回目	1)山出氏:モダンアート概論、世界・日本のアートツーリズム、UBEビエンナーレのポテンシャル 2)XX氏(英国など欧米系のアートツーリズム、モダンアートの専門家):世界のアートツーリズム、UEBビエンナーレと近隣スポットを視察してのレビューとポテンシャル		1.既存のQR説明内容(200以上)を、読めばガイドできるレベルにスクリプト化(ストーリーテリング、外国人の“Why?”に答えるガイディングがキー) 2.山出氏にトークスクリプトブックの「はしがき」をもらう(ガイド研修の内容を書き起こして編集) 3.ネイティブが、わかりやすい伝わる英語に翻訳 *山出氏:12/16の週で山口入り一週間の予定(タイミングを合わせる)
5	FAMツアー	—	欧米系6社6名を招致(2泊3日):イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、スペイン、オーストラリア		1月下旬 ～2月
6	ガイド研修	3回目	FAMツアー中に実地研修、フィードバックを実施		
7	協議会	3回目	FAMのフィードバックと、改善策、次年度以降の課題共有	2月	

1-3. 協議会の開催計画

実施回	主題	内容
第一回	・事業の方針説明 ・現地調査報告	事業概要説明、進捗状況報告、コンテンツの方向性(ストーリーの設定)についての協議・決定
第二回	・ガイド研修の実施報告 ・コンテンツ案・旅程案の協議と決定	FAMツアーに向けたコンテンツ案の決定、旅行商品案の協議
第三回	とりまとめ	FAMツアー報告、コンテンツ改善点の報告・協議、旅行商品案の協議

*全3回の協議会のほか、進捗報告や意見交換を目的とした書面協議会を2回実施。

2. ストーリー設定(案) 「まちなか」から「里山」まで

UBEビエンナーレならびに宇部市のまちづくりの取り組みを活用し、宇部全域を対象としたアート(現代アート・伝統工芸)に範囲を広げ調査を実施。



【宇部市】
人口:約16万4788人
(2019年5月時点)
そのうち
*宇部市南部:15万4942人
*宇部市北部:2020人
(吉部・万倉)



UBEビエンナーレ

～Art and adventure of the earth～

まちなかのアート作品から、より奥の里山アートまで、
感性と冒険心をくすぐるUBEの旅への誘い

【ターゲットの想定】

- 欧米豪の旅行者のうち、双方をターゲットとする。
- ・アート(特に彫刻)に興味のある旅行者
 - ・アートがきっかけではない一般旅行者

3. 現地調査の報告

3-1. 調査行程・同行者

10月22日より1泊2日の行程で、現地調査を実施。行程詳細は下表のとおり。

日程・エリア	時刻	所用時間	No.	行程案	メモ(視察箇所、訪問相手等)	移動手段	同行者	現地同行者
前泊	17:00	—	—	林、宇部空港到着 → 宿泊先へ		電車・バス・タクシー	—	—
	17:45	—	—	サンドラ、宇部駅到着 → 宿泊先へ				
	18:00	—	—	宇部ステーションホテルで合流 チェックイン				
	19:00	60	—	ディナーミーティング(調査行程・ポイントの確認)				
1日目 10/22(火) 宇部泊	8:30	30	—	朝食		レンタカー	サンドラ 澤野 林	木原 三浦
	9:30	30	—	宇部ステーションホテル出発				
	10:00	150	1.2	UBEピエンナーレ会場視察	作品鑑賞、ぼたん苑、植物園、ときわ神社			
	13:00	60	—	昼食				
	14:00	60	3	永山本家酒造	永山氏、体験コンテンツ相談と酒蔵見学			
	15:00	30	4	持世寺温泉・上の湯、豆腐				
	16:30	60	5	宗隣寺	副住職・山中祐生氏、体験コンテンツ相談と本堂・庭園の見学			
	17:30	30	6	琴崎神社				
	18:00	150	—	ディナーミーティング(宇部新川)	木原氏、三浦氏、サンドラ、澤野、林			
	20:30	—	—	宇部ステーションホテル 到着				
2日目 10/23(火) 宇部泊	8:00	30	—	朝食		レンタカー	サンドラ 澤野 林	—
	8:45	—	—	宇部ステーションホテル出発				
	10:00	90	7	赤間硯の里	日枝敏夫氏、体験コンテンツ相談と工房見学			
	11:30	60	8	玉重工房	玉重氏、体験コンテンツ相談と工房見学、等の演奏体験			
	12:30	60	9	楠こもれびの郷・昼食				
	13:30	15	10	農家民宿 中屋	アポイント無し、外観のみ視察			
	14:00	30	11	小野茶 茶畑	体験コンテンツ相談と茶畑視察			
	15:00	15	12	吉部の大岩郷				
	16:00	30	—	船木宿 住吉神社、不二醤油	車で立ち寄り、視察のみ			
17:00	—	—	サンドラ調査終了					

* 調査コンテンツの抽出：10月10日の初回打ち合わせ（中国運輸局・宇部市・宇部観光コンベンション協会）における協議内容ならびに宇部市観光・グローバル推進課との追加協議により決定。

3-2. 調査コンテンツ一覧

No.	名称	概要
1	宇部ピエンナーレ作品	園内では、世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「UBEピエンナーレ(現代日本彫刻展)」を2年に一度開催。半世紀を超えるコンクールの受賞作品など約百点の彫刻作品を常設展示している園内では、豊かな自然とアートが調和した美しい景観を堪能できる。
2	ときわ公園	ときわ公園は面積約100haにおよぶ常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた総合公園で、山口県初の「登録記念物(名勝地関係)」に登録。さらに、平成28年に常盤湖が「世界かんがい施設遺産」に登録されている。広大な園内は四季折々の自然美に彩られ「日本の都市公園100選」や「さくら名所100選」・「美しい日本の歩きたくなるみち500選」、しょうぶ苑が「池坊花道遠100選」にも選ばれているほか、NHKが募集した「21世紀に残したい日本の風景」で、総合公園としては全国で第1位にランキング。
3	永山本家酒造	明治21年創業。酒造家永山貴博が造る日本酒「貴」は山口県はもとより、全国的に注目されている銘柄。冬は酒造り、夏は米作りと、一貫した酒造りを行っている。
4	持世寺温泉「上の湯」	700年前、戦国時代の武士が傷を癒したと言われる古い歴史を持つ。幅広い効能があり、連日多くの湯治客で賑わう。同敷地内では、霜降山の天然水と石臼でひいた国産大豆を100%使用したこだわりの本格豆腐「豆汰豆腐」を製造販売している。
5	宗隣寺	宝亀8年(777年)、唐より来朝した為光(威光)和尚が松江山普濟寺として創建。その後寛文10年(1670年)福原氏が宗隣寺として建立。平成10年に本堂を再建。観音霊場の第18番(本尊如意輪観音)札所で観音信仰の聖地。南北朝時代に形作られたとされる築山泉水庭園であり山口県最古、国指定名勝。
6	琴崎神社	山口県内神社の大社として知られ、神社本庁の定める別表神社。また、おまもり・おふだを800種類以上(平成30年1月現在)頒布する神社としても有名。
7	赤間硯の里	1191年(建久2年)に鎌倉の鶴岡八幡宮に奉納されたと言われ、長い歴史をもつ赤間硯の生産地。原石は粘りがあり細工しやすいため、美しい紋様を施した優美な硯は実用を兼ねた愛好品として親しまれている。1976年(昭和51年)に国指定伝統的工芸品に指定。
8	玉重琴製作所	明治27年、初代・玉重信太郎が和楽器販売で創業。当時、山口県山陽道に位置する楠村(現宇部市)は宿場町として栄え、三味線・琴・琵琶・太鼓など日本古来の和楽器の需要が多くあった。その後、三代目が琴製造を開始。現在は四代目が琴製造に取り組みながら、工房見学等の受け入れを行っている。
9	楠こもれびの里	源泉掛け流し温泉、農家レストラン、農産物直売所、農業研修交流施設等が集まる複合施設。
10	農家民宿「癒しの里 中屋」	荒滝山近くにある里山の築100年の古民家を改装した民宿。周辺にはのどかな田園風景が広がる。
11	小野茶(茶畑)株式会社山口茶業	一ヶ所での茶面積としては日本一の広さを有する茶畑。小野地区特有の緩やかな丘陵地を活かし、一面に緑のじゅうたんが広がる丘陵地の絶景が人気。
12	吉部の大岩郷	岩塊が累々と堆積して奇観を呈した石海で、国の天然記念物に指定されている。「昔、大男が担いでいた天秤から大岩がこぼれ落ちてきた」という民話が今も語り継がれている。

3-3. 外国人アドバイザーの紹介



トラベルコンサルタント Sandra Isaka (サンドラ イサカ)

日本在住歴20年以上の異文化交流・日本トラベルコンサルタント。アメリカ出身、京都在住。

日本国内の旅行に関する世界のトップエキスパートになることを目標に、日々日本各地を旅するトラベラー。日本国内において、海外の認知度が低い町や観光スポットが外国人観光客を引き付け、海外の旅慣れたツーリストの知的好奇心を満たすことを熟慮し、まだ知られないディスティネーションへの外国人誘致に尽力している。海外の観光地と比較した日本の現状にも詳しく、講義、記事執筆、小旅行を通して、自分の好きな日本の穴場を共有するのが大好き。

国内におけるインバウンド事業開発においては、東北から九州まで、日本の様々な地域を訪問。リベルタとの連携事業としては、熊本県、島根県のツアー造成に関わる現地調査においてアドバイザーとして尽力した。

今回の現地調査においては、特に欧米豪のツーリスト目線によるニーズの抽出、ならびに観光地としての現地課題の抽出をメインに視察・フィードバックを行う。

3-4. 調査評価について

《評価方法》評価シート方式 *採点法はサンドラ氏の経験・知見に基づく独自採点

- ・評価対象：「観光スポット」「体験コンテンツ候補」等
- ・評価視点：「欧米豪市場のツーリスト目線」に立ち、整備環境やホスピタリティについて全般的に評価
- ・評価指標：「①採点法」ならびに「②記述法」

《①採点法について》 5(とても良い) 4(良い) 3(ふつう) 2(悪い) 1(とても悪い)

- ・ユニークさ： 独自性・独創性・面白さがあり、希少性（宇部市ならではのご当地要素）があるか
- ・ストーリー要素： 単体としての魅力のみならず、ストーリー設定（案）としての「アート」や「アドベンチャー」との連動性があるか
- ・市場ニーズ： 欧米豪市場のツーリストが「来てよかった(Wow!)」と満足し、帰国後に周囲へ勧められるか

《②記述法について》 良い点、改善点、提案をコメント記入

3-5. 外国人専門家による評価結果(概要)

①採点法の結果

*スコアが付かなかった項目は、総合平均の算出時に除外

No.	名称	ユーモアさ	ストーリー性	市場ニーズ	総合平均
1	宇部ビエンナーレ作品	4	5	4	4.3
2	ときわ公園:植物園	3	3	3	3.0
	ときわ公園:常盤神社	3	?	4	3.5
	常盤公園(全体)	4	3	5	4.0
3	永山本家酒造	4	4	5	4.3
4	持世寺温泉「上の湯」	2	2	4	2.7
5	宗隣寺	5	5	5	5.0
6	琴崎神社	4	4	4	4.0
7	赤間硯の里	5	5	4	4.7
8	玉重琴製作所	5	5	5	5.0
9	楠こもれびの里	3	3	4	3.3
10	農家民宿「癒しの里中屋」	4	3	4	3.7
11	小野茶(茶畑)株式会社山口茶業	4	3	3	3.3
12	吉部の大岩郷	3	3	2	2.7

②その他、全体を通してのコメント

- ・外国人旅行者にとって宇部は「観光地」としての認知度が低いが、外国人の好奇心を満たす観光資源が豊富
- ・どの視察箇所も対応者魅力的であり、人々が温かく迎え入れてくれた。ホスピタリティを感じた
- ・魅力的なコンテンツが数多くあるが、その魅力を伝えるための英語対応ガイド同行が必須
- ・全体的に、Webやパンフレット等の英語表記の整備が必要

4. コンテンツ案

4-1. コンテンツ造成の方向性

(1) 宇部のストーリー要素

Art and adventure of the earth
「まちなか」から「里山」まで、感性と冒険心をくすぐるUBEの旅

(2) コンテンツ造成の方向性

ストーリー要素をベースとして、欧米豪市場の旅行者に向けて、どのようなコンテンツの新規開発・既存コンテンツの磨き上げができるか。

【体験コンテンツ抽出の考え方、構成要素】

- ・実施場所
- ・体験内容
- ・コンテンツ提供者（実施主体や候補者の有無 など）
- ・欧米豪市場向けの対応（主に英語対応）
- ・備考（新規の場合、具体的な所要時間や金額 など）

(3) 滞在につなげるコンテンツ案

早朝や夜の時間帯を活用したコンテンツにより、宿泊に結びつける。

1日目		2日目		3日目	
午前	午後	午前	午後	午前	午後
彫刻作品鑑賞	まちなかアート	漁港コンテンツ	アウトドア体験	伝統工芸体験	
		泊	泊		

5. 今後の予定

【ガイド研修】

- ・実施時期：12月上旬・中旬頃
- ・実施日数：1日(1回)
- ・受講人数：15名程度
- ・受講対象：アートガイド：宇部ふるさとコンパニオン（ボランティアガイド）
アート従事者：ピエンナーレ関係者等
英語関連団体（2団体）：おもてなしサポーター等
*アートガイドと英語ガイドの2人体制での外国人対応とする。

【次回協議会】

第二回コンテンツ造成協議会

- ・実施時期：令和元年12月中旬頃
- ・主な議題：コンテンツ案ならびにFAMツアー旅程の協議・決定

(今後の流れ)

本日、第一回の協議内容をもとに、引き続き協議会構成メンバー・コンテンツ提供者へヒアリング。

↓

ヒアリング内容をもとに、コンテンツ案の作成（リベルタ）

↓

次回協議会にて、コンテンツ案の決定ならびにFAMツアーの旅程を協議。

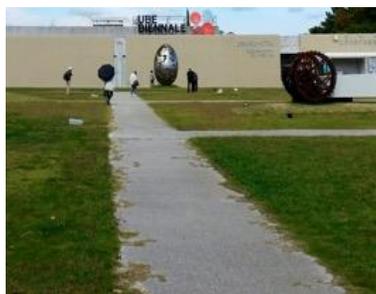
現地調査（詳細）

NO.	1
名称	宇部ビエンナーレ作品
URL	---
所在地	宇部市則貞三丁目4番1号
基本情報	<p>UBEビエンナーレ 第28回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間・時間: 2019年09月29日(日) ~ 2019年11月24日(日) ・場所: ときわミュージアム UBEビエンナーレ彫刻の丘(山口県宇部市ときわ公園内) ・主催: 宇部市、UBEビエンナーレ運営委員会、毎日新聞社 ・特別協賛: 宇部興産株式会社 ・始まり: 1961年 ・開催: 2年に1回
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	木原(10/10 吉村)
視察対応者	三浦
ヒアリング内容・議事等	<p>*UBEビエンナーレの歴史や特徴について 世界でもっとも歴史のある屋外彫刻展であり、2年に一度開催。今年で28回目を迎える。市民に開かれた作品展示が特徴で、作品と鑑賞者の距離が近い。鑑賞ルートが無いので、鑑賞者は自分のペースで自由に作品鑑賞を楽しむことができる。 海外からの応募作品も多く、ビエンナーレの開催に向けて作家が現地入りし準備を進める。ガイドは作家が作品を完成させるまでの様子も観察し、その様子を各々のガイディングに活かしている。英語対応できる人材が少ないのが難点。 産業との共生が宇部市の大きな特徴のため、作品にもその色が強く反映されている。日本全体の産業発展よりも宇部市は10年早いと言われており、公害対策も同様に全国に先駆けていた。</p> <p>・彫刻作品について 作品の解説については、作品手前の案内板(日本語のみ)と、QRコード対応での作品紹介サイト(日本語・英語対応)がある。 作品鑑賞の邪魔にならないよう、ロープ等で作品を囲うもの、囲わないものなど検討しながら対応している。 開催年のメイン作品は、事前にミニチュアが作られ審査される(世界を旅する植物館内ブースに展示中)。 前回来た作品も、常盤公園内のほか宇部市内各所に展示されている。 作品の購入希望がある場合には、ビエンナーレ後に買い手の元へ輸送される場合もある。また、作家から宇部市へ寄贈される場合もある。</p>

(サンドラによる評価) ユニークさ : 4 / ストーリー要素 (アートとの関連性) : 5 / 市場ニーズ : 5

良い点 : 美しいオープンスペース。興味深い芸術作品。訪問者に無料。家族向けの大きな公園の一部で、見どころがたくさんある。

改善点 : 各芸術作品のサインに自体に英語表記をする必要がある。バーコードを活用すれば詳細な情報を取得できるが、観光客は芸術作品を見て、シンプルにその場で説明を読むことを好む。
小さな点-アートワークの近くの芝生の端(歩道との境界ライン)にも手入れが必要。小さな事だが、とても「乱雑」な印象を与える。これは、芝生のエッジャーで簡単に解消できる。



提案 : 芸術作品に関する簡単なブックレット(英語版)の作成・販売。
子ども向けにクリップボード・クレヨン・紙の貸出(芸術作品や公園自体の写生用)。デポジット制500円など。
子ども達に、一番好きな彫刻作品を選び、写真を撮ってもらい、Instagram / Facebookページに掲載するなど。
*色チョークの貸出 : 子どもが「コンクリートアート」を行うため。
*大きなピクニックシートの貸し出し(デポジット制・500円)

NO.	2
名称	ときわ公園
URL	https://www.tokiwapark.jp/
所在地	宇部市則貞三丁目4番1号
基本情報	<p>(1)世界を旅する植物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間・休館日 ・開館時間:9時30分～17時(入館は16時30分まで) ・休館日:火曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、12月29日～1月1日(開館する場合あり) ・入館料 <ul style="list-style-type: none"> *個人 一般:300円(18歳以上70歳未満)、70歳以上:200円、高校生以下(18歳未満):無料 *団体 ※20名以上 一般:240円(18歳以上70歳未満)、70歳以上:160円 <p>(2)石炭博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間:9:30～17:00 ・休館日:火曜日、年末年始(12/29-1/1) ・入館料:無料 <p>(3)古民家いこいの家(ぼたん苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開苑時間:9:00～17:00(原則) ・休苑日無休(原則) ・入苑料無料(ただし、催し等で「憩いの家」を貸切の場合は別途料金) <p>(4)常盤神社 (ときわ公園内)</p>
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	木原、三浦
視察対応者	植物館:小林
ヒアリング内容・議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・世界を旅する植物館 世界8つのエリアに分かれており、それぞれシンボルツリーを植栽して珍しい花や果実を鑑賞できるようにしている。オセアニアゾーンのジュラシックツリー(太古植物)の多さも特徴の一つ。 チームラボとのコラボレーションにより、夜のライトアップ企画も実施中。 「緑と花と彫刻」が宇部市のキーワードなので、ときわ公園の中心的な施設の一つで市民にも親しまれている。 ・石炭博物館 宇部の発展は炭鉱の歴史にあり、その背景を知ることができる。海底を掘り進めた採掘方法や当時の人々のリアルな様子を展示している。展示しているマネキンにも特徴があり、一体一体の表情が違う。こうした特徴もストーリーテリングすることで、アートと繋げられるのではないか? 展望台からは360度の景色が見られるので、宇部の歴史や産業振興、人工湖の全体像を見せるのに良い。 ・古民家いこいの家 一般開放しており、自由に見学が可能。外国人旅行者向けとしては、この古民家を活用したお茶会を開いたり、小休憩の場所として使うなどの方法が考えられる。

(サンドラによる評価)

植物園(常盤公園) ユニークさ:3 / ストーリー要素:3 / 市場ニーズ:3

良い点:きれいにデザインされ、すっきりしていて、面白い植物・木・花が楽しめる。
 私たちを案内してくれたスタッフの英語対応が素晴らしく、人柄もとても魅力的だった。
 多言語ヘッドフォンの利用も可能。

改善点:ほとんどの外国人旅行者はヘッドフォンを借りてゆっくり見学する時間がないため、植物園をかなり早く歩くでしょう。そのため、多くの標識は可能な限りバイリンガル対応する必要あり。

提案: 日本の子どもたち向けのクイズラリーがある。外国人の子どもたちのために、これらのクイズを翻訳すると良い。

常盤神社(常盤公園) ユニークさ:3 / ストーリー要素:? -おそらく興味深い / 市場ニーズ:4

良い点:公園の目玉、美しい写真(SNSにとって非常に重要)、素晴らしいロケーション。

改善点:非常に残念-この神社が主要な場所であると思うと、手入れされていないことに驚いた。ときわ公園の全体写真を見れば、多くの外国人が芸術彫刻と同じように、この神社を見学したいと思うでしょう。

提案: 神社の歴史、崇拝される神々などについてのバイリンガル情報サインの作成。神社とその通路を修理し、整頓することが非常に重要(内外)。



(サンドラによる評価)

ときわ公園 (全体) ユニークさ : 4 / ストーリー要素 : 3 / 市場ニーズ : 5

良い点 : かやぶき屋根の素敵な家 (ぼたん苑)、とても家族に優しい公園、湖の周りをずっと歩くことが可能な歩道 (車椅子やベビーカーを持っている人でも)、徒歩圏内には素敵なホテルなど、見どころがたくさんある。

改善点 : 多言語表記 (特にバス停/スケジュール標識) が少ないので、これらを増やし外国人の受け入れ体制を整える。

提案 : 公園は、個々 (部分) だけでなく「全体」として見られる必要がある (例 : 神社の無視) 交通情報はオンラインで詳細に表示する (宇部空港/宇部駅/宇部新川駅などへのバス運行情報)。日本人以外の観光客を本当に呼び込みたい場合は、適切な英語のウェブサイトが必要。→非常に低品質の自動翻訳は外国人に閲覧されないため (日本語が読めない限り)

ミュージアム: 本日本体館日です。

音声読み上げ AA文字サイズ 日本語 団体 お問い合わせ Go



公園内のレストラン/カフェのメニュー翻訳。

外国人旅行者のうち、家族・高齢者・障害者へときわ公園の訪問を促進。

将来、可能であれば、湖の遊泳許可エリアが整備されれば尚良い。

ときわ公園の沿革に関する英語情報 (大名、宇部興産に関する情報) をウェブサイト追加する必要がある。

宇部市周辺の100の芸術作品についての説明。

車で旅行する観光客向けに、スタンプラリーで英語マップの作成。

UBEビエンナーレ会場、ときわ公園内



NO.	3
名称	永山本家酒造
URL	http://y-shuzo.com/hp/nagayamahonke.html
所在地	宇部市大字車地138
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・酒蔵見学: 可(要予約) ・駐車場: あり ・公共交通手段: なし
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	木原
視察対応者	代表: 永山 貴博
ヒアリング内容・議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・見学について 要予約制で受入可能。日本酒のテイスティングや酒蔵の見学まで、一通り案内している。公共交通機関が無いので、交通手段の確保が必要。 ・外国人の受入について 大人数への対応は難しいが、小中グループであれば応相談。代表は多忙のため常時対応が難しいが、英語対応は可能。旧二俣瀬村役場庁舎をリノベーションした事務所2Fで、ちょっとした軽食を用意してテイスティング等の対応をすることも可能。杜氏と一緒にお酒を飲む等の交流体験も外国人にとっては特別であるが、人間的に対応が難しい。永山本家酒造の歴史、なぜ二俣瀬村役場庁舎が事務所なのか、地域と永山本家酒造の繋がりなど、先代から旅行者へ話をする等の対応も喜ばれるのでは無いか。



(サンドラによる評価) ユニークさ: 4 / ストーリー要素: 4 / 市場ニーズ: 5

良い点: 美しい歴史的建造物。素敵な日本酒の試飲「テーブル」、素晴らしい多目的ルーム2階。醸造所の所有者である長山氏の人柄（新しいことに挑戦したいと考える、国際的志向の進歩的な方）美味しいお酒。
旧二俣瀬村庁舎に関する英語パンフレットが素晴らしい。
建物の壁にレイアウトし、人々が酒蔵見学中に内容を読むことができれば尚良い。

改良点: 永山氏は、外国人の訪問者が雑然としたものやプラスチック等の人工物を嫌うことを知っていますが、醸造所内には、こうした物がまだ多く使われていた。例えば、イタリアのワイナリーへの訪問では、これは徹底的に排除されている。クリーンアップする必要あり。

提案: 特にアクセスと営業時間に関する英語の情報は、醸造所のウェブサイト追加する必要がある。
訪問の組み合わせ: 川沿いの散歩、地元の人々が作った簡単な食べ物とともに日本酒の試飲、多目的ルームでのパフォーマンス（例: 地元の学生が楽器を演奏）、酒の試飲や軽食など。

NO.	4
名称	持世寺温泉「上の湯」
URL	---
所在地	宇部市吉見持世寺2925番地
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> 入浴時間: 8時半～20時(水曜日定休) 入浴料金: 温泉センター(サウナ・露天風呂等7種のお湯) 大人(中学生以上)1,000円 / 公衆浴場: 大人(中学生以上)400円1時間 宿泊(要予約): 1泊2食/9,800円より(平日)
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	木原
視察対応者	女将: 古谷君子
ヒアリング内容・議事等	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の受入について <p>現状では、ほとんど利用者はおらず、時々アジア系の方の利用がある程度。食事面では豆腐料理をメインとしたメニューの提供などしているため、ベジタリアン等への対応が可能。 温泉については個室の貸切もある。予約制ではあるが、公衆浴場が苦手な方への対応も施設的には可能。英語対応等はなし。</p>

(サンドラによる評価) **ユニークさ: 2 / ストーリー要素: 2 / 市場ニーズ: 4**

①豆腐屋

良い点: おいしい豆乳アイスクリームを楽しむのに最適な場所。
豆腐を作る体験は、外国人にとって興味深い経験となる。
改善点: 製品に英語のラベルがあると、外国人も安心して購入できる。

②旅館/温泉

良い点: 女性オーナーまたは旅館は非常に魅力的で歓迎ムードがある。
リーズナブルな「日帰り」温泉
改善点: ダイニングエリア、お風呂は良いが、共有エリアは古くて薄汚い(特にホールカーペット)。
散らかった物の山もあちこちにあるので整理が必要。
どちらにしても、バックパッカータイプの旅行者にのみ適している。



NO.	5
名称	宗隣寺
URL	---
所在地	宇部市小串210
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> 拝観料: 300円 時間: 9時～17時 駐車場: 20台(無料)
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	木原
視察対応者	副住職: 山中祐生
ヒアリング内容・議事等	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の受入について <p>座禅体験をメインとして全面的に協力可能。英語対応していないため、通訳ガイドの同行が必須。また、禅や仏教特有の表現があるので、通訳ガイドと事前に体験内容・説明内容は打ち合わせしたい。 体験の構成としては、座禅体験を2回行い、その変化を参加者に感じて欲しい。それが体験の本質であると考えている。座禅中にどのような工夫が必要なのか、その工夫によって状況がどう変化するかを理解し、その感覚を持ち帰ってもらいたい。その後、ゆっくりお茶を飲みながら日本庭園を鑑賞し、歓談の時間を設ける。日本庭園の見方についての説明も、外国人向けに工夫したい。</p>



(サンドラによる評価) **ユニークさ: 5 / ストーリー要素: 5 / 市場ニーズ: 5**

良い点: 静かで素敵な寺院。美しい庭。隅々まで片付いている。
対応いただいた山中氏は禅僧の鏡のような方。穏やかで、前向きで、信仰への情熱があり、面白くて、温かい。優れた通訳者がいれば、ここでの学びと瞑想の経験は非常に人気となる。

改善点: 優れた通訳者がいる限り、ここでの坐禅の経験は素晴らしい。

提案: この寺院に関するさまざまなサイトのオンライン英語情報の追加。
単独でこの寺院を訪問する外国人観光客のために、英語パンフレットの作成。

NO.	6
名称	琴崎神社
URL	https://www.kotozaki.com/
所在地	宇部市大字上宇部大小路571
基本情報	・祈願受付:8:30~16:30
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	なし
ヒアリング内容・議事等	境内の視察のみ



(サンドラによる評価) ユニークさ：4 / ストーリー要素：4 / 市場ニーズ：4

良い点：広々とした、すっきりした敷地。

多くのユニークな動物の彫刻。

キツネ面が配置された素敵な赤い鳥居の「トンネル」（日本で、このような鳥居を他に見たことがない）。絶対に訪れる価値がある（＝欧米豪の旅行者が好む）。

改善：過度の量の大きな看板（撤去するか、写真に写らない側の場所に移動する必要がある）。

提案：琴崎神社のウェブサイトには興味深い歴史的情報がたくさんあるので、英語に翻訳する必要あり。琴崎神社では、非常に数多くのお守りを取り扱っている。それらについて英語表記があれば、外国人旅行者の購入につながるだろう。

NO.	7
名称	赤間硯の里
URL	---
所在地	宇部市西万倉岩滝793番地
基本情報	・時間:9時~17時 ・休日:年末年始、不定休 ・山口県赤間硯生産協同組合 ・見学、体験:要相談
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	作硯家:日枝敏夫
ヒアリング内容・議事等	・外国人の受入について 対応可能。外国語対応のパンフレットとビデオはあるが、体験自体は英語対応していないため、体験時には通訳ガイドの同行が必須。硯作りの体験は、すでに宇部市教育委員会関連で小学校等で対応している。大人数対応も可能だが、せつかくなので硯の里に来てもらう体験コンテンツを希望（一回、6名位まで）。硯自体を作るのは4時間位かかるので、硯作りではなく、硯や墨について説明し、書道体験をメインにしても良いのではないか。その対応も可能。 具体的な内容については、今後調整しながら進めたい。



(サンドラによる評価) ユニークさ：5 / ストーリー要素：5 / 市場ニーズ：4

良い点：魅力的な歴史を持つ美しい手作りの製品。素敵な小さな田舎の村。優れた英語の説明ビデオ。非常に良い英語のパンフレット。硯づくりのワークショップは興味深い。職人さんの知識が豊富。

改善点：観光スポットとして、事前予約のうえ通訳同行の外国人旅行者であれば訪問可能。良い通訳がいれば、訪問は非常に興味深い体験となる。

提案：職人が実際に道具を使用して硯づくりをしている姿を見られると良い。

NO.	8
名称	玉重琴製作所
URL	https://tamakoto.com/
所在地	宇部市船木692-2
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・見学受付:要連絡 ・所要時間:目安1時間弱(要相談)
視察者	サンディ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	四代目琴司:玉重 彰彦
ヒアリング内容・議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の受入について対応可能。琴についての説明、琴の制作についての見学、琴を弾く体験等の対応可能。工房内での見学のほか、他の場所(例えば永山本家酒造の事務所2階など)で琴の演奏を行い、琴に触れてもらうのも良い。船木宿や住吉神社の近くなので、町歩き of 工程に組み込むことも踏まえて検討したい。



(サンドラによる評価) ユニークさ : 5 / ストーリー要素 : 5 / 市場ニーズ : 5

良い点 : 職人さんご夫婦は非常に知識が豊富で、とてもホスピタリティがあり迎え入れの体制がある。小さな工房だが、琴制作には多くの行程があるので見どころが多い。訪問者は琴を演奏することができ、非常に良い!

改善/提案 : 観光スポットとして、事前予約と通訳同行が必須。良い通訳がいれば、訪問は非常に興味深い。

NO.	9
名称	楠こもれびの里
URL	https://www.komorebinosato.net/
所在地	宇部市大字西万倉1662-1
基本情報	<p>* 源泉掛け流し温泉 ・時間: 午前10時から午後9時まで(最終受付・午後8時) / 定休日: 毎月第3水曜日 ・大浴場入浴料 大人(中学生以上) 620円、小人(小学生) 310円 / 家族風呂: 要予約(1時間2,060円)</p> <p>* 農家レストラン「つつじ」 山口食彩館認定 ・時間: 午前11時～午後 8時(ラストオーダー午後 7時30分) / 定休日: 毎月第3水曜日</p> <p>* 農産物直売所「楠四季菜市」 ・時間: 午前 9時から午後 7時まで / 定休日: 毎月第 3水曜日</p> <p>* 古民家 SOU ・定休日: 毎週水曜日</p> <p>* 田舎のバン屋さん couleu(クルール) ・時間: 午前 9時から午後 4時まで ・定休日: 毎週水曜日</p>
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	楠むらづくり株式会社 取締役: 河村美弥子
ヒアリング内容・議事等	<p>・外国人の受入について 欧米豪の訪問者はほとんど居ないが、受入は可能。温泉や農家レストラン等を利用につながれば良い。地域の歴史や地名の由来など、楠エリア近隣には面白いストーリーがたくさんあるので、町歩き等もおすすめ。硯の里からも近いので、旅程に組み込み、立ち寄りスポットとしての活用が有効。古民家レストランやバン屋も欧米豪の旅行者には喜ばれるのではないかと。</p>



(サンドラによる評価) ユニークさ: 3 / ストーリー要素: 3 / 市場ニーズ: 4

良い点: 素敵な地元の雑貨店、おいしい地元野菜を使った食堂、リラックスできる素敵な温泉。伝統的な日本の家のフレンチレストラン。

改善点: それほど気にならないが、少し雑然としていたので整理すると良い。英語表示が必要(店舗の商品、レストランのメニュー、温泉料金)。

「KEEP OUT TATTO!」の英語表記は変更する必要あり。

→とても直接的表現であり、外国人にとって失礼な印象。「申し訳ありませんが、入れ墨のある方は入浴できません」等の表示が良い。



NO.	10
名称	農家民宿「癒しの里 中屋」
URL	---
所在地	宇部市大字東吉部516
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・料金:要相談 ・アクセス:宇部空港から車で50分 ・BBQ等の対応についても要相談
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	なし
ヒアリング内容・議事等	外観の見学のみ



(サンドラによる評価) ユニークさ : 4 / ストーリー要素 : 3 / 市場ニーズ : 4

良い点 : 自然豊かで素敵なローケーションにある古民家で、雰囲気が良い。
 多くの外国人は、このタイプの宿泊施設での滞在を好む。
 (外観の視察のみであり、バス/トイレが外国人に許容されるかどうかは不明)

改善点 : 外国人旅行者を迎え入れるのであれば、見える部分の乱雑さを無くすべき。



提案 : 外の眺めが良いので、椅子とテーブル (またはピクニック用のテーブル) を屋外にきれいに並べてスペースを作る。
 地元の人とのディナーバーベキュー。

NO.	11
名称	小野茶(茶畑)株式会社山口茶業
URL	https://www.onocha.com/
所在地	宇部市大字櫛原152-13
基本情報	・営業時間:8時30分~17時 ・小野茶の販売:有 / 小野茶、関連商品の試飲・試食:可能
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	営業統括部長:小野秀樹
ヒアリング内容・議事等	・外国人の受入について 現在はアジア圏の受入が多く、団体がメイン。対応は随時可能。お茶畑は絶景ポイントとして人気なので、是非足を運んで欲しい。 お茶畑の見学後に、お茶の試飲やお茶を使ったお菓子等の試食をしていく団体が多い。小野茶の特徴についての説明や、製茶の工程見学等も対応可能。



(サンドラによる評価) ユニークさ:4 / ストーリー要素:3 / 市場ニーズ:3	
①店舗 良い点:	訪問者はお茶の試飲をして、お茶やお茶風味のスナック・デザートを購入できる。多くの観光客を歓迎することに慣れており、スタッフもフレンドリー。 現地でお茶製造プロセスの一部を見学できる。
改善/提案:	取扱商品の英語ラベル。
②茶畑 良い点:	美しい茶畑の景色を楽しめる。
改善/提案:	ゆっくり景色を堪能できるビューポイントや座る場所がなく、一般車が畑の中を運転することも不可能。 茶畑の近くにビューポイントの設置やピクニックスポットの整備。 茶畑の近くに住む地元の人々の協力により、自宅でスナックや飲み物の販売等があると良い。 季節によっては茶葉の摘み取りが可能であれば、外国人旅行者にとっても喜ばれる。

NO.	12
名称	吉部の大岩郷
URL	---
所在地	宇部西吉部大岩郷
基本情報	・アクセス:宇部I.Cより車で45分
視察者	サンドラ、リベルタ社(澤野・林)
同行者	なし
視察対応者	なし
ヒアリング内容・議事等	見学のみ



(サンドラによる評価) ユニークさ:3 / ストーリー要素:3 / 市場ニーズ:2	
良い点:	地元の神話と結びついた興味深い岩の形成。残念ながら、この場所は(体験コンテンツとしては)整備されておらず、おすすめできない。
改良点:	岩場は3ヘクタールほどあるので、岩の上・周囲・脇道など、ウォーキングトレイルできるよう何かしらの整備をすれば、面白い訪問スポットになる。

第二回 企画開発協議会（書面協議） 実施概要

1. 開催日時 2020年1月14日
2. 議題一覧 以下、参照

本資料は、第二回企画開発協議会に代わって行う、書面協議会の資料となります。

これまでの視察、第一回企画開発協議会、さらにはUBEビエンナーレに関わるアート関係者、観光に関わるご活動をされている有識者の方々に個別に伺ったお話を踏まえ、皆様にコンテンツ造成案として、ご報告申し上げます。

つきましては、次ページから始まります詳細をご賢察いただき、皆様には、これらへの所感、コンテンツ案に付随したご提案など、広くご意見をお寄せくださいますと幸いです。

なお、いただいたフィードバックは、1月23日（木）に開催いたします第三回協議会にて皆様にご報告のうえ、2月末に実施予定のFAMツアーへとつなげたいと存じます。そこで皆様におかれましては、**第三回協議会へのご出席も併せてお願いできますと幸いです。※詳細は、最終ページ「皆様へのお願い、連絡先」をご参照ください。**

お忙しいなか、またお時間を十分にご提供できかねるなかでのご依頼となり大変恐縮ですが、ご協力たまわりますよう何卒お願い申し上げます。

本資料のご案内

- ・これまでの活動を踏まえたコンテンツ造成の考えかた
- ・コンテンツ造成のコンセプト：「アート」×「UBEらしさ」
- ・コンテンツ案① UBEビエンナーレ彫刻の丘～宗隣寺庭園 座禅体験
 - ② ぼたん苑見学～小野茶のテイスティング体験
 - ③ 赤間硯工房見学～書道体験
 - ④ 永山本家酒造場での試飲体験&岩戸神楽舞鑑賞
 - ⑤ 船木エリア散策（たましげ琴製作所訪問～彫刻鑑賞～楠こもれびの郷）
- ・今後の予定
- ・皆様へのお願い、連絡先

これまでの活動を踏まえたコンテンツ造成の考えかた

■UBEビエンナーレをどのように押し出していくのか

UBEビエンナーレは、ツーリズムの視点での認知獲得はこれからであり、その期待値は高いものがあるといえる。その一方、強みとして念頭に置く“日本最古かつ世界的な展覧会”“圧倒的な野外彫刻の多さ”の訴求だけでは、「欧米豪観光客の期待を集めるには頼りない」という声も聞こえている。その理由として、BEPPU PROJECT 山出淳也氏、ときわミュージアムアートディレクター 日沼禎子氏は共に、「アートとは作品の秀逸さのみならず、そこに存在する理由がともなってこそ高い芸術性をはらむから」という見解を示している。ときわミュージアムウェブサイトにも、『近年は、展示場所の固有性を開示する（その場所だけで意味や価値を持つ）傾向が強くなり、野外彫刻はそのモチーフの一つに数えられます。野外では太陽光や風などの自然環境に加え、場所の歴史性、あるいは美術鑑賞に限定されない多くの人とのコミュニケーションが不可避免的に備わるため、それらとの関係を彫刻の中でどう解釈するかが問われるようになっていきます。』とある。

アート好きの観光客もまた、アートに関する深い造詣を有するとともに、そのアートがこの土地で生まれた理由と必要性を求めている。一方、市内の彫刻群はコンテストのために生まれたものも多く、すべての作品に対し、観光客が期待するストーリーを語ることは易くはない。

これらからビエンナーレ単体によるコンテンツの押し出しは、現状では難しいのではないかと、という仮説が立つ。

■宇部ならではの唯一無二のコンテンツ造成は必須

体験、食、自然、人……宇部市を取り巻く環境には、素晴らしいものがある。しかし、観光資産になりうるこれらの特色は、全国津々浦々あふれており、そこから一歩抜きん出させるためには、既存の観光資産を外国人観光客向けにアレンジするのではなく、「宇部市に足を踏み入れたからこそ体験できる、唯一無二の資産」として磨き上げ、コンテンツ化する必要がある。

■目的は、グローバルキャンペーンでの選出

中国運輸局における本事業のゴールは、日本政府観光局（JNTO）が行う「訪日グローバルキャンペーン」の強化コンテンツとして選出されること（＝海外旅行者の目に留まり、商品化につながる）ことである。本プロジェクトは、ここに資するコンテンツの造成を目指すことを、改めて書き留めておく。

コンテンツ造成のコンセプト：「アート」×「UBEらしさ」

前ページの考察から、本プロジェクトにおいては、国内外のアートツーリズムの動きをなぞらえるのではなく、「UBEらしさ」を盛り込んだアートツーリズムの在りかたを示せるコンテンツの造成を重要視した。

「UBEらしさ」とは

- ①工業都市、産業都市としての価値
- ②アートが生まれた歴史背景
- ③自然と文化が育む宇部ゆかりの素材たち
(赤間硯、小野茶、お酒、神楽舞 など)

この考えのもと、五つのコンテンツを提案。

なお、過日の現地調査ならびに追加調査の結果、観光資源としての魅力に富むスポット（食、店、散策地など）については、FAMツアーの行程に盛り込む予定。

1. UBEピエンナーレ彫刻の丘～宗隣寺庭園 座禅体験

【コンテンツテーマ】「工夫」「内観」「探求」

【ストーリー性】

- ・ときわ公園内の中心的な彫刻を紹介しながら、ピエンナーレの丘へ。宗隣寺から僧侶を迎え、彫刻前での座禅体験を実施する。座禅を行う目的の一つ、精神統一によって自身の内観と向き合い、また心身のリラックスを促す。さらには、「彫刻の丘」で座禅を行う非日常を提供する。
- ・野外彫刻は季節や時間、鑑賞する角度によって受ける印象に変化のあることを紹介。座禅を組んだ場所から臨める彫刻の妙味を感じつつ、これから出会う彫刻を新たな視点で鑑賞する楽しみ（探求心）と期待を提供する。
- ・宗隣寺龍心庭前で再び座禅体験を提供し、日本庭園もまた観る角度によって印象に変化がともなう（＝見方の「工夫」）ことを体感していただく。そこから、禅の精神や日本の様式と、ピエンナーレ（アート）の共通項を感じ取っていただく。

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、座禅体験、庭園鑑賞（寺院訪問）
所要時間	2.5～3時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ピエンナーレの丘での座禅（30分）体験～移動（20分）～宗隣寺での座禅体験（30分）～龍心庭散策（30分）
受け入れ	宗隣寺様と実現に向け、協議中
コンテンツ提供者	・宗隣寺様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・僧侶座禅体験料・ご出張料（調整中） ・龍心庭拝観料300円/人 ・タクシー料金（ときわ公園～宗隣寺・約4km・1500円/台）
鑑賞彫刻案	・蟻の城（向井良吉）ほか、検討中



2. ぼたん苑見学～小野茶のテイasting体験

【コンテンツテーマ】「邂逅（かいこう）」

【ストーリー性】

- ・ときわ公園を散策しつつ、ぼたん苑へ。美しい花々や彫刻を眺めながら、宇部のテーマ「緑と花と彫刻」が生まれたその歴史背景（公害→自然あふれる街づくり）を紹介する。
- ・梁あらかしの天井、敷き詰められた畳、囲炉裏、土間……築後100年以上の古民家「憩いの家」でのひとときを過ごすことで、昔から根付く日本の建築様式の美を知っていただく。
- ・「憩いの家」で囲炉裏を囲んで、縁側に並んで、小野茶の味わいを堪能。グリーンティーとはひと味ふた味と違う、味わいや香り、色を体感していただき、日本茶との新しい出会いを創出する。

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、古民家体験、ティーテイasting
所要時間	1.5時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ぼたん苑見学・小野茶テイasting（60分）
受け入れ	実現性高 ※小野茶の提供先は調整中
コンテンツ提供者	・観光ボランティア&英語ボランティア ・小野茶に関するレクチャーは別途アサイン
値段	・ぼたん苑利用料金は宇部市負担 ・小野茶の試飲 1,000円/人（予定）
鑑賞彫刻案	・宇部の木（竹腰耕平）ほか、検討中



3. 赤間硯工房見学～書道体験

【コンテンツテーマ】「素材」「石」「温故知新」

【ストーリー性】

- ・「赤間硯の里」の工房を見学。赤間石を硯に削り出す工程から「素材」が「道具」に変わる様子を披露することで、旧来から脈々と受け継がれてきた地元産業の息吹に触れていただく。
- ・書道体験では墨を擦る最初のプロセスから大切にしつつも、型にはまらない自由な発想で臨んでいただくことで、海外ツーリストの心理障壁を下げ、純粋に日本の文化に親しみを感じていただく。
- ・書道体験は、旧吉部小学校の教室を想定。『日本の学び舎』で過ごす時間そのものもコンテンツとして提供する。

エリア	万倉エリア
ジャンル	工房見学、習字体験、彫刻鑑賞
所要時間	2～3時間 調整可能
体験内容	赤間硯の里工房見学・日枝玉峯堂製硯所（40分）～移動（20分）～学校散策～書道体験～彫刻鑑賞（90分）
受け入れ	・赤間硯の里：職人駐在中であれば対応可能 ・書道体験：水曜日午前、土日のみ対応可能 ・旧吉部小学校レンタル：要確認
コンテンツ提供者	・赤間硯の里 日枝敏夫様/書道体験 日枝美穂様 ・観光ボランティア&英語ボランティア ※「赤間硯の里」は、英語の紹介VTR、パンフレットあり
値段	・未定。書道体験は、これまでも体系的な料金設定をしていない小学校へ出張費を含め、検討とのこと。 ・タクシー料金（赤間硯の里～旧吉部小学校・約11km）
鑑賞彫刻案	・じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。（佐藤圭一）



4. 永山本家酒造場での試飲体験 & 岩戸神楽舞鑑賞

【コンテンツテーマ】「命」「自然」「再生」

【ストーリー性】

- ・カルスト台地を源流とする地下水、自社&地元の契約農家が栽培する米から生まれた日本酒の醸造工程を見学～試飲し、「自然」のもたらす産物への興味喚起を図るとともにその味わいを純粋に楽しんでもらう機会とする。
- ・試飲とあわせ、このたび復活（再生）を果たした岩戸神楽舞の鑑賞を行う。地域に根付く伝統舞踊の歴史と荘厳さを感じてもらいつつ、『神様への奉納』というお酒と神楽舞の共通点を紹介することで、日本の伝統文化に触れていただく。
- ・海外ツーリストが旅に求めることの上位に挙がる「地元住民とのふれあい」を実現すべく、演者や社氏（※要調整）との歓談タイムも設ける予定。

エリア	二俣瀬
ジャンル	酒蔵見学・試飲、神楽鑑賞、地元住民との交流
所要時間	2～3時間程度
体験内容	酒造見学（40分）～お酒を飲みながらの岩戸神楽鑑賞（60分）～地元住民との交流（30分）
受け入れ	実現性有。岩戸神楽保存会会長 矢原様、永山本家酒造 永山貴博様と協議中
コンテンツ提供者	・永山本家酒造様 ・岩戸神楽舞保存会様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・岩戸神楽鑑賞料金：保存会にて検討中 ・酒造見学料（試飲含む）：確認中
鑑賞彫刻案	・現在、検討中 ※「命」「自然」「再生」「いにしえ」「時」などからピックアップのうえ、日沼先生にアドバイスをいただく予定。



5. 船木エリア散策（たましげ琴製作所訪問～彫刻鑑賞～楠こもれびの郷）

【コンテンツテーマ】「歴史」「共鳴」

【ストーリー性】

- ・江戸時代に宿場町として栄えた船木エリアの町並みを散策しながら、同エリアに点在する彫刻を訪ねる。
- ・散策の終着点としてたましげ琴製作所を訪問。国内数社と言われる琴メーカーの一つとして、その歴史（明治27年創業）をひも解きながら、職人のクラフトマンシップに触れる。
- ・琴の演奏体験では、伝統楽器を奏でるまたとない機会と、1フレーズを弾けるようになって披露するという達成感のあるコンテンツとすることで、参加者の満足度を追求する。
- ・最終目的地は「楠こもれびの郷」とし、温泉で疲れを取ったのち「農家レストラン」で地元の味を楽しむ。

エリア	船木
ジャンル	散策、彫刻鑑賞、工房見学、演奏体験、温泉
所要時間	4～5時間程度
体験内容	エリア散策・彫刻鑑賞（30分）～たましげ琴製作所（60分）～移動（15分）～楠こもれびの郷（120分）
受け入れ	実現性高
コンテンツ提供者	・たましげ琴製作所様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・琴演奏体験料 500円/人（工房見学含む） ・入浴料 620円/人 + 農家レストラン食事代 ・タクシー料金（たましげ琴製作所～楠こもれびの郷・約5km） ・1500円/台
鑑賞彫刻案	・「森に棲む2010-5」（北沢努） ・The Forest of Mirrors（佐野耕平）



今後の予定

今後の予定を、以下のとおりご報告申し上げます。

・ 第三回企画開発協議会

FAMツアーに向け、コンテンツの決定ならびにFAMツアーの内容を協議
1月23日（木）13：30～15：30 場所：宇部市役所4階 第二委員会室

・ ガイド研修

1月24日（金） 10：00～15：00

場所：ときわ湖水ホール アートギャラリーホール（現在、参加者募集中）

ときわミュージアムアートディレクター 日沼禎子氏（女子美術大学教授）による、アートガイド講習ならびに外国人講師 AMANDA BARTOK氏による接客研修を実施。

・ FAMツアー実施（調整中）

2月27日（木）～29日（土）

旅行会社5社（米・伊・独・西・豪）に、英国人アートジャーナリスト トム・シーモア氏を含む、計6か国からツアーリストを招へい。また、FAMツアー中に、ガイド実地研修ならびにフィードバックを実施。

・ 第四回企画開発協議会／第五回企画開発協議会（うち、いずれかは書面にて実施）

3月以降（調整中）

FAMツアーのフィードバック、コンテンツ改善の報告ならびに協議、旅行商品案の協議の場として開催予定。

※アートジャーナリスト トム・シーモア氏にも出席いただく予定です。

皆様へのお願い、連絡先

■皆様へのお願い

・ 本資料のフィードバックをお寄せくださいますようお願いいたします

五つのコンテンツ案に対し、ご意見や追加案等をお持ちの方がいらっしゃいましたら、**1月17日（金）正午**を目途に、下記までご連絡をお願いいたします。

いただいた内容は、改めて精査のうえ、1月23日（木）の協議会にて皆様にご報告およびFAMツアーの実施案として、以降、準備を進めてまいります。

・ 第三回コンテンツ造成協議会へのご出席をお願いいたします

※ご出席の可否についても、1月17日（金）正午を目途にご連絡ください

造成コンテンツの決定ならびにFAMツアーの内容を協議する場となります。

直前のご連絡にて恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご出席たまわりますようお願いいたします。

日時：1月23日（木）13：30～15：30

場所：宇部市役所4階 第二委員会室

※第四回協議会、第五回協議会につきましては、確定し次第、ご案内申し上げます。

■連絡先

・ リベルタ株式会社 担当：香川（かがわ）・澤野（さわの）

メール：info@heartlandjapan.com

電話：03-6265-3294

香川直通：090-2930-7452（ショートメールでも受け付けております）

第二回協議会（書面協議）で構成メンバーよりあがった意見

宇部ビエンナーレ世界一達成市民委員会

「街中の彫刻の持つポテンシャルはまだまだあると思うので、是非FAMツアーでは海外の方から見た街中の彫刻の魅力を語って頂きたいです。」

「ガイドの持つ役割はとて大きいと思います。人との出会い、おもてなしを受ける事など、旅の良い思い出の重要な部分です。」

「もっと若い方もガイドになられるとより良いかな思いました。」

宇部ふるさとコンパニオンの会

「それぞれのコンテンツは、これまでにないものがあり外国人向けによく考えておられると思います。『UBEビエンナーレ彫刻の丘～宗隣寺庭園 座禅体験』につきまして、私自身が昨年宗隣寺で座禅体験をしましたので、ときわ公園の彫刻の前で座禅をするのがOKでしたら、朝早めで人が少ない時が良いですね。」

『ぼたん苑見学～小野茶のテイスティング体験』古民家で牡丹とお茶を楽しむのは、goodですね。そのままが良いと思います。」

『赤間硯工房見学～書道体験』こちらは、これまでもされたことがあると思いますが、硯工房がある宇部だからこそできますね。書道体験は、外国人にうけるでしょう。」

『永山本家酒造場での試飲体験&岩戸神楽舞観賞』組み合わせが意外でしたが面白いです。」

『船木エリア散策』このままで良いですね。」

第三回 企画開発協議会 実施概要

1. 開催日時 2020年1月23日 13:30~14:30
2. 開催場所 宇部市役所4階 第二委員会室
3. 参加者 宇部市 観光・グローバル推進課：河野氏、中村氏、山本氏
宇部市ふるさとコンパニオンの会：脇氏
ときわミュージアム アートディレクター・女子美術大学 教授：日沼氏
宗隣禅寺 副住職：山中氏
リベルタ株式会社：香川
4. 議題一覧
 - ①コンテンツ造成コンセプトの報告
 - ②コンテンツ造成（案）の説明と協議
※上記2項目は、「第二回コンテンツ造成協議会（書面協議）」の内容を、参加メンバーに改めて確認いただくために、あえて時間を設け、口頭説明を行った。
 - ③今後のスケジュールの確認

1. コンテンツ造成案：宗隣寺庭園～

UBEピエンナーレ彫刻の丘 坐禅体験（アートメディテーション）

【コンテンツテーマ】「工夫」「内観」「探求」

【ストーリー性】

- ・宗隣寺龍心庭前で坐禅体験を行う。坐禅の目的の一つ、精神統一によって自身の内観と向き合うことを勧め、また心身のリラックスを促す。体験後は、坐禅がもたらすところの変化についてご住職の説教を聞く。このなかで、龍心庭について触れ、観る角度によって印象に変化がともなう（＝見方の「工夫」）ことを知ることで、禅の精神や日本の様式に関する知識を得ながら、ピエンナーレ（アート）との共通項を感じ取っていただく。
- ・庭園散策後は、ピエンナーレの丘へ。アートの前で再び坐禅を行い、非日常を提供する。野外彫刻は季節や時間、鑑賞する角度によって受ける印象に変化のあることを紹介。坐禅を組んだ場所から臨める彫刻の妙味を感じ取りつつ、これから出会う彫刻を新しい視点で鑑賞する楽しみ（探求心）と期待を提供する。その後、彫刻鑑賞へとつなげる。

・第二回協議会（書面協議）案

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、坐禅体験（宗隣寺&ピエンナーレの丘）、庭園鑑賞（寺院訪問）
所要時間	2.5～3時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ピエンナーレの丘での坐禅（30分）体験～移動（20分）～宗隣寺での坐禅体験（30分）～龍心庭散策（30分）
受け入れ	宗隣寺様と実現に向け、協議中
コンテンツ提供者	・宗隣寺様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・僧侶坐禅体験料・ご出張料（調整中） ・龍心庭拝観料300円/人 ・タクシー料金（ときわ公園～宗隣寺・約4km・1500円/台）
鑑賞する彫刻案	・蟻の城（向井良吉）ほか、検討中



・第三回協議会（コンテンツ案最終版）

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、坐禅体験（宗隣寺&ピエンナーレの丘）、庭園鑑賞（寺院訪問）
所要時間	2.5～3時間程度 調整可能
体験内容	宗隣寺での坐禅体験（あいさつや説明、説教を含む）&龍心庭散策（80分）～移動（20分）～ピエンナーレの丘での坐禅（30分）体験～ときわ公園散策（30分）
受け入れ	宗隣寺様と実現に向け、協議中 ※ピエンナーレの丘で坐禅は座布団が必要
コンテンツ提供者	・宗隣寺様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・庭園拝観料&坐禅体験料（お茶付き）500円/人 ・タクシー料金（ときわ公園～宗隣寺・約4km・1500円/台）
鑑賞する彫刻案	・蟻の城（向井良吉） ・底流（土屋公雄）

鑑賞予定の彫刻



蟻の城（向井良吉）

宇部市民なら昔から誰でも知っている記念すべき彫刻である。常盤公園の芝生の丘の展示場で毎年出品作はいろいろ変わっても、向井良吉の「蟻の城」だけは四十数年たった今も常設されて動くことがない。というのも、作者は柳原義達、大高正人氏らとともにこの展示場をみずからブルを操って切り拓いた立役者であるからだ。

62年に宇部市が「宇部」をテーマに五人の作家に模型制作を依頼、向井の「蟻の城」だけが実物大に制作され、今日までその偉容を保っている。

当時は鉄錆がふいたままだったが、今は一部改造され鮮やかなカーキ塗料で表面保護されている。



底流（土屋公雄）

作者は、壊れかけた廃屋などの素材を利用して、それらを組み直しこれまでの彫刻とは違った一種独特の造形物に変換してきた。

この作品は宇部市内の川で取り壊されようとしていた橋脚を再利用したもので、橋脚とそれらの粉碎材を組み立て直してこのようなモニュメントができあがった。

流水下の橋脚についた貝殻や青みどろの表情が彫刻にいつそうの時間を付け加え、古い遺跡への郷愁を誘い出している。その彫刻観はいまや国際的に認められるところとなった。

2. ぼたん苑見学～小野茶のテイasting体験

【コンテンツテーマ】「邂逅（かいこう）」

【ストーリー性】

- ・ときわ公園を散策しつつ、ぼたん苑へ。美しい花々や彫刻を眺めながら、宇部のテーマ「緑と花と彫刻」が生まれたその歴史背景（公害→自然あふれる街づくり）を紹介する。
- ・梁あらわしの天井、敷き詰められた畳、囲炉裏、土間……築後100年以上の古民家「憩いの家」でのひとときを過ごすことで、昔から根付く日本の建築様式的美を知っていただく。
- ・「憩いの家」で囲炉裏を囲んで、縁側に並んで、小野茶の味わいを堪能。グリーンティーとはひと味ふた味と違う、色や味わいや香り、楽しみ方（茶道のように形式ばる必要のない気安さ）を体感していただき、日本茶との新しい出会いを創出する。

・ 第二回協議会（書面協議）案

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、古民家体験、小野茶の試飲体験
所要時間	1.5時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ぼたん苑見学・小野茶テイasting（60分）
受け入れ	実現性高 ※小野茶の提供先は調整中
コンテンツ提供者	・観光ボランティア&英語ボランティア ・小野茶のレクチャーは別途アサイン
値段	・ぼたん苑利用料金は宇部市負担 ・小野茶 1,000円/人（予定）
鑑賞する彫刻案	・宇部の木（竹腰耕平）ほか、検討中



・ 第三回協議会（コンテンツ案最終版）

エリア	宇部市内
ジャンル	彫刻鑑賞、古民家体験、小野茶の試飲体験
所要時間	1.5時間程度 調整可能
体験内容	ときわ公園散策（30分）～ぼたん苑見学・小野茶テイasting（60分）
受け入れ	実現性高 ※小野茶の提供先は調整中
コンテンツ提供者	・観光ボランティア&英語ボランティア ・小野茶のレクチャーは別途アサイン
値段	・ぼたん苑利用料金は宇部市負担 ・小野茶（和菓子込）1,000円/人（予定）
備考	・将来的には、小野茶と和菓子がぼたん苑近辺で購入できることが望ましい
鑑賞する彫刻案	・はじまりのはじまり（三宅之功） ・宇部の木（竹腰耕平） ・Plantronica Ube（岡田健太郎）

鑑賞予定の彫刻



はじまりのはじまり（三宅之功）

大地に飛来した草花の種子は、根を張り子孫を残す。それは単なる偶然ではなく、時間、気候、風向きなど全ての条件が整った結果である。我々人間も世界中で自然発生的に生まれ、暮らしているように見えるが、その時、その場所での必然である。

この作品は、動植物に共通する「奇跡の誕生」を現したものである。やがてさまざまな植物が寄り集まり、この宇部の地で成熟していくだろう。今は、はじまりのはじまり。



宇部の木（竹腰耕平）

「宇部の木」とはその名の通り「宇部」の「木」である。宇部で探し、宇部で出会い、掘り出した。自ら探し、出会い、掘り出した木はともかけがえのないものになる。土をえぐり、根にふれて、またツルハシをふる。そのつど根は、たくましさや強さを感じさせてくれる。それら一つひとつがコミュニケーションのようで、より深く深く思いをはせていけるのである。

呼吸をすることを失われた切り株はもう生きてはいないだろう。根は、いりくみ、どこまでものびていく。根の先から枝の先まで、全てを知ることはいかなるかもしれない。しかし、その下に深くのびていく根をみることで、生きていた呼吸を感じることができるかもしれない。



Plantronica Ube（岡田健太郎）

その姿は有機的で動物のようでもありながら、建築物のようなしっかりと安定性も見せる。

タイトルのPlantronicaのplantには、植物や自然、そして工場という2つの意味が含まれる。宇部市は工場と自然の多い土地だが、この作品も、プラント（工場と植物）の形や構造から着想している。環境や目的のために生まれ、変化し循環していく、それらのさまざまなイメージや形がつながり合い、一つのうつろな塊となって、奇妙な形を生成している。この世界のあらゆる物の関係が、微妙なバランスから成り立ちあっているように。キリンのように縦に伸びるフォルムは、電柱と月を表したものだそう。あなたはどうみえるだろうか。

3. 赤間硯工房見学～書道体験

【コンテンツテーマ】「素材」「石」「温故知新」
【ストーリー性】

- ・「赤間硯の里」の工房を見学。赤間石を硯に削り出す工程から「素材」が「道具」に変わる様子を間近にすることで、旧来から脈々と受け継がれてきた地元産業の息吹に触れていただく。
- ・書道体験では墨を擦る最初のプロセスから大切にしつつも、型にはまらない自由な発想で臨んでいただくことで、海外ツーリストの心理障壁を下げ、純粋に日本の文化に親しみを感じていただく。
- ・書道体験は、旧吉部小学校の教室を想定。『日本の学び舎』で過ごす時間そのものもコンテンツ化。そのため、書道体験前に校内ツアーを実施。書道体験も実際の授業のように、起立、礼、着席からスタートし、ユニークな体験に仕上げる。

・第二回協議会（書面協議）案

エリア	万倉エリア
ジャンル	工房見学、習字体験、彫刻鑑賞
所要時間	2～3時間 調整可能
体験内容	赤間硯の里工房見学・日枝玉峯堂製硯所（40分）～移動（20分）～学校散策&書道体験&彫刻鑑賞（90分）
受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・赤間硯の里：職人駐在中であれば対応可 ・書道体験：水曜日午前、土日のみ対応可 ・旧吉部小学校レンタル：要確認
コンテンツ提供者	<ul style="list-style-type: none"> ・赤間硯の里 日枝陽一様（英語の紹介VTR、パンフレットあり） ・書道体験 日枝美穂様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	<ul style="list-style-type: none"> ・未定。これまでも体系的な料金設定をしていない。吉部小への出張費を含め、要検討とのこと。 ・タクシー料金（赤間硯の里～旧吉部小学校・約11km）
鑑賞する彫刻案	<ul style="list-style-type: none"> ・じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。（佐藤圭一）



・第三回協議会（コンテンツ案最終版）

エリア	万倉エリア
ジャンル	工房見学、習字体験、彫刻鑑賞
所要時間	2～3時間 調整可能
体験内容	赤間硯の里工房見学・日枝玉峯堂製硯所（40分）～移動（20分）～学校散策&書道体験&彫刻鑑賞（90分）
受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・赤間硯の里：職人駐在中であれば対応可 ・書道体験：水曜日午前、土日のみ対応可 ・旧吉部小学校レンタル：要確認
コンテンツ提供者	<ul style="list-style-type: none"> ・赤間硯の里 日枝陽一様（英語の紹介VTR、パンフレットあり） ・書道体験 日枝美穂様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	<ul style="list-style-type: none"> ・未定。これまでも体系的な料金設定をしていない。吉部小への出張費を含め、要検討とのこと。 ・タクシー料金（赤間硯の里～旧吉部小学校・約11km）
鑑賞する彫刻案	<ul style="list-style-type: none"> ・じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。（佐藤圭一）

鑑賞予定の彫刻



じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。（佐藤圭一）

右側頭部が下になる形で横になった人の頭部をモチーフとした作品。
後頭部に無数の小さな穴が空いており、鼻の穴から覗き込むと、星が散りばめられているかのように見える。

4. 永山本家酒造場での試飲体験&岩戸神楽舞鑑賞

【コンテンツテーマ】「命」「自然」「再生」

【ストーリー性】

- ・カルスト台地を源流とする地下水、自社&地元の契約農家が栽培する米から生まれた日本酒の醸造工程を見学～試飲し、「自然」のもたらす産物への興味喚起を図るとともにその味わいを純粋に楽しんでもらう機会とする。
- ・試飲とあわせ、このたび復活（再生）を果たした岩戸神楽舞の鑑賞を行う。地域に根付く伝統舞踊の歴史と荘厳さを感じてもらいつつ、『神様への奉納』というお酒と神楽舞の共通点を紹介することで、日本の伝統文化に触れていただく。
- ・海外ツーリストが旅に求めることの上位に挙がる「地元住民とのふれあい」を実現すべく、演者や杜氏（※要調整）との歓談タイムも設ける予定。

・第二回協議会（書面協議）案

エリア	二俣瀬
ジャンル	酒蔵見学・試飲、神楽鑑賞、地元住民との交流
所要時間	2～3時間程度
体験内容	酒造見学（40分）～お酒を飲みながらの岩戸神楽鑑賞（60分）～地元住民との交流（30分）
受け入れ	実現性有。岩戸神楽保存会会長 矢原様、永山本家酒造 永山貴博様と協議中
コンテンツ提供者	・永山本家酒造様 ・岩戸神楽舞保存会様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・岩戸神楽鑑賞料金：保存会にて検討中 ・酒造見学料（試飲含む）：確認中
鑑賞予定の彫刻	・現在、検討中 ※「命」「自然」「再生」「いにしえ」「時」などからピックアップのうえ、日沼先生にアドバイスをいただく予定です。

・第三回協議会（コンテンツ案最終版）

エリア	二俣瀬
ジャンル	酒蔵見学・試飲、神楽鑑賞、地元住民との交流
所要時間	2～3時間程度
体験内容	酒造見学（40分）～お酒を飲みながらの岩戸神楽鑑賞（60分）～地元住民との交流（30分）
受け入れ	実現性有。岩戸神楽保存会会長 矢原様、永山本家酒造 永山貴博様と協議中
コンテンツ提供者	・永山本家酒造様 ・岩戸神楽舞保存会様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・岩戸神楽鑑賞料金：保存会にて検討中 ・酒造見学料（試飲含む）：確認中 ※お酒のつまみになるものも用意する予定
鑑賞予定の彫刻	・天地を巡るもの／大気循環(Trinity) （戸田裕介） ・Origin 19-1（田辺武）



鑑賞予定の彫刻



天地を巡るもの／大気循環（Trinity）（戸田裕介）

テーマは「循環」。この作品の形状のように、世界はさまざまなものの環で成り立っている。雲と雨、大地と空。そして私たち人間もさまざまな循環の一部といえるだろう。大地から立ち上がり、雲となって上昇するこの作品には、私たちを含めたさまざまなものが映り込む。

作品の上部は、ステンレスの球体がつなぎ合わされた環状のパーツがあり、その下に御影石の柱が3本据えられている。この御影石にもステンレスのパーツと同じように球体が彫られていて、石とステンレスがつながりあい、互いに関係しあっていることがわかる。

作品の真下から上を見上げてほしい。銀色に輝く雲が空に浮かび、その一つひとつに風景や自分たちの姿が映り込む。作品を通して、世界をつくる大きな環について思いを巡らせてほしい。



Origin 19-1（田辺武）

自然石をそのまま使用した作品で、その石肌や起伏からは、自然の持つ力強さが感じられる。その上部には大きな波紋が彫られていて、硬い石の力強さがありながら、水のような柔らかさが感じられるから不思議だ。さらに特徴的なのは、作品の側面に埋め込まれた鉛の錐である。2段に打ち込まれた錐の中には、一般参加者が持ち寄った世界中の水が封印されていて、さながら水のタイムカプセルのようでもある。

水の惑星地球。水は地球に生命が誕生するきっかけでもあり、すべての生命にとって母なる存在である。だが、現在の地球の水はどうだろうか。気候変動による温度上昇、海水汚染、流れ出るごみによって多くの生き物に影響が出ている。

世界の水を封印する石の彫刻。この作品の制作、参加者自身の水の採取を通して、待たなしのこの問題について思いを馳せてもらいたい。

5. 船木エリア散策（たましげ琴製作所訪問～彫刻鑑賞～楠こもれびの郷）

【コンテンツテーマ】「歴史」「共鳴」

【ストーリー性】

- ・江戸時代に宿場町として栄えた船木エリアの町並みを散策しながら、同エリアに点在する彫刻を訪ねる。
- ・散策の終着点としてたましげ琴製作所を訪問。国内数社と言われる琴メーカーの一つとして、その歴史（明治27年創業）をひも解きながら、職人のクラフトマンシップに触れる。
- ・琴の演奏体験では、伝統楽器を奏でるまたとない機会と、1フレーズを弾けるようになって披露するという達成感のあるコンテンツとすることで、参加者の満足度を追求する。
- ・最終目的地は「楠こもれびの郷」とし、温泉で疲れを取ったのち「農家レストラン」で地元の味を楽しむ。

・第二回協議会（書面協議）案

エリア	船木
ジャンル	散策、彫刻鑑賞、工房見学、演奏体験、温泉
所要時間	4～5時間程度
体験内容	エリア散策・彫刻鑑賞（30分）～たましげ琴製作所（60分）～移動（15分）～楠こもれびの郷（120分）
受け入れ	実現性高
コンテンツ提供者	・たましげ琴製作所様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・演奏体験料500円/人 ※工房見学含む ・入浴料620円/人+レストラン食事代 ・タクシー料金（たましげ琴製作所～楠こもれびの郷・約5km・1500円/台）
鑑賞候補の彫刻	・森に棲む2010-5（北沢努） ・The Forest of Mirrors（佐野耕平）



・第三回協議会（コンテンツ案最終版）

エリア	船木
ジャンル	散策、彫刻鑑賞、工房見学、演奏体験、温泉
所要時間	4～5時間程度
体験内容	エリア散策・彫刻鑑賞（30分）～たましげ琴製作所（60分）～移動（15分）～楠こもれびの郷（120分）
受け入れ	実現性高
コンテンツ提供者	・たましげ琴製作所様 ・観光ボランティア&英語ボランティア
値段	・演奏体験料500円/人 工房見学含む ・入浴料620円/人+レストラン食事代 ・タクシー料金（たましげ琴製作所～楠こもれびの郷・約5km・1500円/台）
鑑賞候補の彫刻	・森に棲む2010-5（北沢努） ・The Forest of Mirrors（佐野耕平）

鑑賞予定の彫刻



森に棲む2010-5（北沢努）

作者は、これまでも木や金属や石膏や石などを巧みに生かした作品を作ってきた。

本作は、木とブロンズを融合させている。木の自然な形態と人体を重ね合わせた作品になっている。



The Forest of Mirrors（佐野耕平）

日常生活や時間を象徴化した形として“イス”を用いている。それらの“イス”を積み上げることによって過去や日々の悩みの繰り返しの中、それでも意志を持って存在してゆくことへの想いを形にしている。

“イス”の表面と床に映り込んだ流れてゆく景色と、その流れのなかで佇む“サカナ”を観る人の日常と非日常をつなぐ架け橋になってくれば。作者のそんな思いが込められている。

今後の予定

・ガイド研修

1月24日（金） 10：00～15：00

場所：ときわ湖水ホール アートギャラリーホール（20数名が参加予定）

プログラム：

【第一部】アートガイド講習 講師：ときわミュージアムアートディレクター 日沼禎子氏

【第二部】外国人接客研修 講師：AMANDA BARTOK氏

在日外国人向けに自らショートトリップを提供。

日本を紹介するウェブメディアのオーナーでもある

・FAMツアー

2月27日（木）～29日（土）

旅行会社5社（米・伊・独・西・豪）に、英国人アートジャーナリスト

トム・シーモア氏を含む、計6か国からツアーリストを招へい。

FAMツアー中に、ガイド実地研修ならびにフィードバックを実施。

・ガイド研修総評会

3月1日（日）午前中（予定）

トム・シーモア氏から実地研修参加者に向け、研修全体のフィードバックを行うほか、欧米のアートツーリズムに関するレクチャー、UBEビエンナーレのポテンシャルをテーマにした講話を実施予定。



トム・シーモア Tom Seymour

アートジャーナリスト／アートコンサルタント／アートジャーナリズム・トラベル
アート専門家

各専門誌に精力的に執筆。有名ブランドのイメージ戦略をプロデュースする等、各方面で活躍。プロデュースした写真展は、各専門誌で特集された。世界から注目される専門家の一人。

・第四回企画開発協議会

3月1日（日）13：30～15：30（予定） **※皆様のご出席をお願いいたします。**

FAMツアーのフィードバック、コンテンツ改善の報告ならびに協議、旅行商品案の協議の場として開催予定。

※トム・シーモア氏も出席します

・第五回企画開発協議会（書面協議）

3月上旬（予定）

第四回協議会での協議内容を反映した、旅行商品パッケージの最終版を承認する場として実施。

第四回 企画開発協議会 実施概要

1. 開催日時 2020年3月1日 13:30~14:30
2. 開催場所 宇部市役所2階 第一会議室
3. 参加者 宇部市 観光・グローバル推進課：木原氏、山本氏
宇部市ふるさとコンパニオンの会：脇氏
宇部ビエンナーレ世界一達成市民委員会：田村氏
リベルタ株式会社：澤野、香川、アンドレア
4. 議題一覧 ①FAMツアーの報告
②参加者からのフィードバック<速報>
③上記を踏まえた、コンテンツ造成コンセプトの再考
④今後のスケジュールの確認
5. 第四回 企画開発協議会 資料詳細
 1. FAMツアー概要
 2. 招へいメンバーの紹介
 3. FAMツアー行程（実績）
 4. コンテンツ造成の考え方
 5. FAMツアー報告
 6. まとめ

■今後の予定
第五回企画開発協議会（書面協議）
※3月第2週を予定

■連絡先

リベルタ株式会社 担当：香川（かがわ）・澤野（さわの）
メール：info@heartlandjapan.com
電話：03-6265-3294
香川直通：090-2930-7452（ショートメールでも受け付けております）

1. FAMツアー概要

- ・実施時期：令和2年 2月27日（木）、28日（金）、29日（土） 計2泊3日
- ・招へい人数：6名（*下記参照）
- ・実施目的：以下の3項目を重点目的として実施

1. UBEビエンナーレ×「宇部らしさ」を掛け合わせたコンテンツの検証

「UBEらしさ」とは

- ①工業都市、産業都市としての価値
- ②アートが生まれた歴史背景
- ③自然と文化が育む宇部ゆかりの素材たち（赤間硯、小野茶、お酒、神楽舞 など）

※上記を踏まえ、八つの体験を五つのコンテンツとして組み込むとともに、彫刻鑑賞を挟みながら、実施

2. 全体フィードバック会の開催

ツアー最終日にフィードバック会を開催。個々のコンテンツの印象と改善点、本ツアーのストーリーにふさわしいテーマとは何か、を参加者に問いかけ、そのヒントを得る。

3. ガイド研修【実地編】の実施

宇部観光コンパニオン、宇部おもてなしゼミ所属の方を対象に「外国人観光客をガイドするとは、どういうことなのか」を肌身で感じていただく機会を創出。その体験に基づいたフィードバックを今後に活かす。

2. 招聘者プロフィール

アートジャーナリスト、アートコンサルタント、トラベルアート専門家

トム・シーモア／Tom Seymour(イギリス)

さまざまな専門誌に精力的に執筆。有名ブランドのイメージ戦略をプロデュースする等、各方面で活躍。プロデュースした写真展は、各専門誌で特集された。世界から注目される専門家の一人。



旅行会社バイヤー、商品企画担当者

■アメリカ（参加者：ローレン・ツェレック／Lauren Zelek）

社名:ツェレック・インターナショナル (ZelekInternational) <https://zelekintl.com/>
日本にフォーカスしたアメリカの旅行会社。ローカルとの結気付きや歴史・文化を重んじた高品質なツアーを催行している。個人旅行者の個々それぞれにリッチで深いライフチェンジングな日本体験を提供することがミッション。



■イタリア（参加者：ミレーナ・ロナルド／Milena Lonarconi）

社名:カイルス・ヴィアッジ・エ・トレッキング(Kailas Viaggio Trekking)
<http://www.kailas.it>
イタリア語話者を対象とした、地質・考古学と関連するツアーやアドベンチャーツアーを実施している。



■オーストラリア（参加者：ジェニー・ドレンナン／Jenny Drennan）

社名:ゴーツアーズトラベル(GoTours Travel)
豪州のトラベルエージェント。エコやアドベンチャー、ビーチ、海などをテーマにしたスペシャリスト集団。



■スペイン（参加者：ヤナ・ディアス／Jana Diaz）

社名:ラ・ヴィアヘラ・ヴィアヘ・ア・メディダ(La Viajera Viajes A Medida)
<http://www.viajeslaviajera.com>
スペイン語話者を対象とした、新鮮でユニークな体験のできるツアーを提供している。



■ドイツ（参加者：マーカス・ゲルトナー／Marcus Gaertner）

社名:タケダ・パウアー・ジャバントラベル(Takeda Bauer Japan Travel)
<http://www.takeda-bauer.de/>
ドイツ語話者を対象とした、特別感あふれるツアー、体を動かすタイプのツアー、芸術・文化・グルメ関連ツアー、オーダーメイドツアーを実施している。



3. FAMツアー行程（実績）

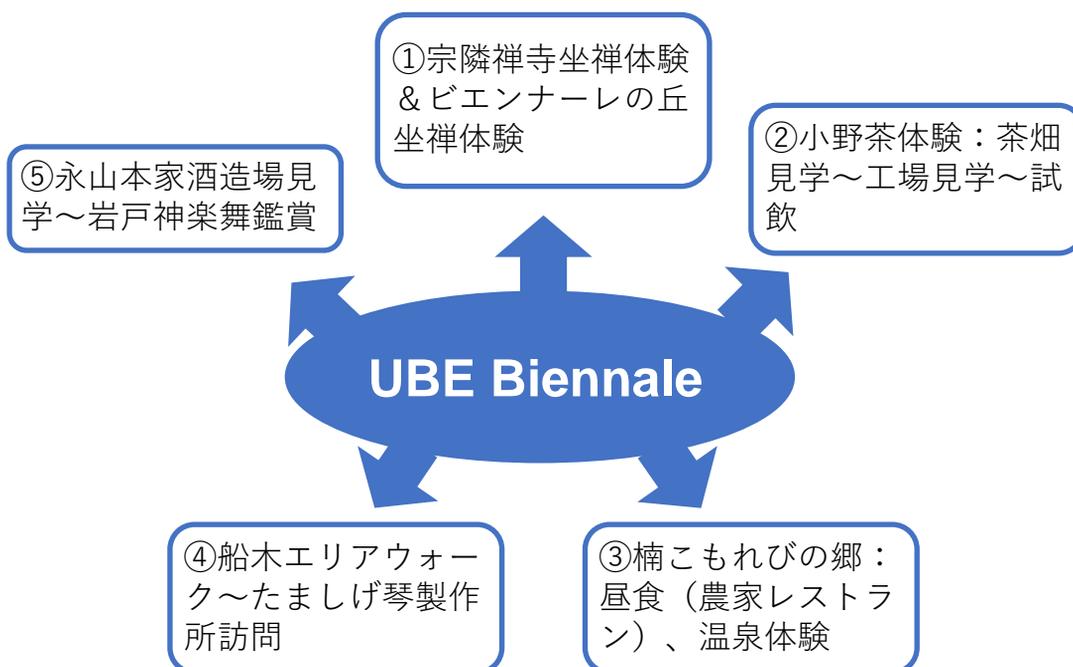
旅程	時間	行程
DAY1 2/27	11:00	昼食(会場:Noel)
	13:30	コンテンツ①宗隣寺坐禅体験～ピエンナーレの丘坐禅体験
	15:30	彫刻鑑賞
	16:20	休憩(会場:かまたの恵)
	18:30	夕食(会場:一代目豊 ※居酒屋体験)
	20:00	ナイトトリップ(会場:スナックみずえ)
DAY2 2/28	9:20	コンテンツ②小野茶体験:茶畑見学～工場見学～試飲
	12:10	コンテンツ③楠こもれびの郷:昼食(農家レストラン)、温泉体験
	14:30	コンテンツ④船木エリアウォーク・彫刻鑑賞
	15:30	コンテンツ⑤たましげ琴製作所訪問(工房見学～演奏体験)
	19:00	夕食(会場:寿司割烹明德)
DAY3 2/29	10:20	コンテンツ⑥永山本家酒造場見学～日本酒試飲
	11:00	コンテンツ⑦岩戸神楽舞鑑賞
	12:00	昼食(永山氏、岩戸神楽舞パフォーマーとの交流昼食会)
	13:40	彫刻鑑賞
	14:10	コンテンツ⑧赤間硯の里工房見学～習字体験

※当初のコンテンツ案からの変更点

①当初、「ぼたん苑(憩いの家)での小野茶体験」を提案していたが、時季を考慮し、「山口茶園での茶畑見学～試飲・買い物体験～工場見学」に切り替え、実施した。

②習字体験もまた時季を考慮し、「赤間硯の里」での受け入れをお願いし、実施した。

4.コンテンツ造成の考え方



5. FAMツアー報告（2020年2月27日～2月29日）

①宗隣禅寺坐禅体験～ビエンナーレの丘坐禅体験

- ・副住職から禅の世界観、心構えを解説いただいたうえで坐禅を10分間体験。その後、龍心庭が見える座敷でお茶をいただきながら、副住職の説教を伺った。
- ・「見方の工夫」を知ることで、これから出合うアートを新しい視点で鑑賞する楽しみ（探求心）と期待を提供した。
- ・ビエンナーレの丘でも蟻の城を眼前に坐禅を体験（10分）。その後、参加者一人ひとりを、ガイドがアテンドする形で彫刻鑑賞を実施した。

体験内容	彫刻鑑賞、坐禅体験、庭園鑑賞
実施時間	スタート13:30/終了16:00
コンテンツ提供者	宗隣寺様
値段	一人当たり500円（※寄付としてのお渡し）



<フィードバック>

- ・マインドフルネスの考え方をテーマにした体験になっていても良いと思う。たとえば、ウォーキング禅。小野茶の畑の中を歩いて登り、頂上で坐禅をするなど。たましげの琴も、「メディテーション」という括りにできるのでは
- ・坐禅体験は伝統的なやり方ではなかったことが良かった。正座に慣れていない人や正座が辛い人でも参加できるプログラムになっていた。副住職も優しかった
- ・ビエンナーレの丘はよかった
- ・公園のアートを見てからの禅体験でもいいのかも
- ・坐禅の妙味をいろいろな場所で試すやり方も考えられる
- ・坐禅をやった後は感覚が鋭く敏感になるので、いろんな楽しみ方がよりできる
- ・坐禅はとてもよかった
- ・坐禅の1回目は緊張していたが、2回目はリラックスしてできた
- ・坐禅の説明（マインドセットの説明）は事前に聞いたかった
- ・坐禅をやったのでアートの見方は広くなった
- ・アートめぐりをするなら一番大きなものから鑑賞したい。その後、自分の好きな彫刻を探してみるプログラムも良い
- ・坐禅体験と作品の関連性が理解できなかった。宇部ビエンナーレの作品の説明をしないといけない。またそれらと他の体験コンテンツがどうつながっているのか、説明がほしい

②山口茶業訪問：茶畑見学～試飲・買い物体験～工場見学

- ・茶畑を一望できる石碑のある場で、茶畑を見学後、山口茶業 小野様から小野茶の特徴を説明いただいた。
- ・その後、売店に移動。カウンターで小野茶の試飲をしながら、買い物を楽しんだ。お茶を使った菓子類よりも、お茶自体を求める参加者が多い印象。
- ・隣接する工場で、小野茶の製造法や保管法に関するレクチャーを受けた。

体験内容	茶畑見学、試飲、買い物、工場見学
実施時間	スタート9：20／終了10：40
コンテンツ提供者	山口茶業 小野様
値段	無料（買い物によって消費）

<フィードバック>

- ・お茶の葉をテイスティングするとかできたらよかった。「触る」「においをかぐ」など五感を使える内容になっているとよかった
- ・お茶の作り方の説明はちょっと簡単すぎた（VTRでもよいのでプロセスを知りたい）
- ・説明が早くもったいなかった
- ・珍しい機械を使っているの、動くところが見たかった



③楠こもれびの郷（農家レストラン～温泉体験）

- ・到着後、楠こもれびの郷広報河村様より、施設の成り立ちや目的、働く人の属性、どんな体験ができるのか説明を受けた。また、参加者からの質問に対し、回答をいただいた。
- ・取り扱っている農作物や商品やお店の紹介（パン屋）について、商品を交えながら説明を受けた。
- ・温泉の使いかた、効果効能についての説明を受けた。
- ・温泉体験ののち、農家レストランでメニューをチョイスし実際に食べる体験を行った。
- ・パンやイチゴなど隣接するショップで買い物を楽しむ人、マッサージチェアを体験する人なども見られた。

体験内容	農家レストランでの昼食、温泉入浴体験、直売所での買い物体験
実施時間	スタート11：00／終了13：30
コンテンツ協力者	楠こもれびの郷 河村様
値段	無料

<フィードバック>

- ・その地ならではのプロダクトが豊富にあるので、ショッピングという切り口もある
- ・温泉の説明はよかった。ルールに加え、温泉の歴史や伝統などの説明があればなおよかった
- ・農家の人たちと話す機会、交流する機会があればよかった。なぜこの地で農作物を作っているのか、どんな伝統的な作物はあるのかなど、ローカルならではの話が聞きたい
- ・イチゴやお菓子の説明があったが、その場で試食できればもっとよかった



④船木宿ウォーク～たましげ琴製作所（工房見学～演奏体験）

- ・船木エリアにある彫刻を鑑賞
- ・「まなびの森楠」で船木エリアの歴史を学んだ（ご担当者による解説）のち、船木宿ウォークをスタート（岡崎八幡宮～宿場町跡散策）。岡崎八幡宮を中心に、船木エリアの町並みを散策した。
- ・終着点としてたましげ琴製作所を訪問。四代目琴司 玉重彰彦氏より、琴の特徴や製造法を伺ったのち、工房を各自自由に見学。琴の演奏体験も順番に楽しんだ。
- ・文化交流団の一員として海外でも演奏活動を行う五代目琴司見習い 玉重智基氏の演奏を鑑賞後、交流の時間を設けた。

体験内容	船木宿の歴史を知る、船木町ウォーク、彫刻鑑賞、たましげ琴製作所見学～琴演奏体験
実施時間	スタート14：00／終了17：30
コンテンツ提供者	四代目琴司玉重 彰彦
値段	無料



<フィードバック>

【船木宿ウォーク】

- ・船木エリアの知識を抱負に持つ人がガイドしてくれるのなら、十分に良いコンテンツになると感じた
- ・船木のウォーキングツアーはよかった。ローカルのハートビートを聞くことができた
- ・宿場町のツアーはちょっと退屈だった
- ・コンクリートの鳥居はちょっと残念だった
- ・お店が磨き込みがされてなかった。人がいなくて死んでいるようだった。風情のある街並みなのにもったいない
- ・アート+寺・神社でもいい。神社、寺にある像（狛犬など）も彫刻とみなし、モダンと伝統の比較してみるのもよいのではないか
- ・船木の宿場の建物もアート。鏝絵だったり、窓だったり、ウダツだったり

【たましげ琴製作所】

- ・琴はとてもよかった。インタラクティブだった
- ・琴はマックス6名くらいにすべきだった
- ・「男性の楽器だから」との理由で男性は尺八をもらったけれど、女性にも違うギフトを持たせてくれればよかった、ちょっと差別的に感じてしまう部分がある。お店の方は好意でしてくださっていることはもちろん理解しているが。そのようなプレゼントをもらったら「いやだ」とは言えない

⑤永山本家酒造場見学・試飲体験～岩戸神楽舞

- ・事務所2階オフィスにて永山氏にお迎えいただき、まずは日本酒（食用の米と酒造用の米の違い、味わいは当地独特の自然がもたらすこと）についてレクチャーいただいた。その後、酒造場に入り、実際に使う米を見せてもらいながら重ねての説明に加え、冷蔵庫室での保管法など説明を受けた。
- ・続いて、麴室前へと移動し、岩戸神楽舞を鑑賞した（40分）。
- ・鑑賞後は、オフィス棟に戻り、永山氏の説明のもと、テイスティングを行った。なお、今回は特別プログラムとして、神楽パフォーマーを交えた昼食懇親会を実施。帰り際、テイスティングした「貴」を購入する参加者も数名見られた。

体験内容	酒造見学・試飲～岩戸神楽舞鑑賞～昼食懇親会
実施時間	スタート10：20／終了13：20
コンテンツ提供者	・永山本家酒造場 永山様 ・岩戸神楽舞保存会一同様
値段	・酒造見学・試飲：無料 ・神楽舞鑑賞 一式3万円



<フィードバック>

- ・時間に制限があるのなら、試飲したいグループとプロダクション（制作）を見たいグループで分けてもよかったかも
- ・酒蔵ではマスターと距離感を感じた
- ・酒蔵のなかには、お米を見せてくれるところもある。ただの話だけではなく、お米はどう変わっていくとか、そのプロセスを見てみたい。もっと説明が聞きたい。深く知りたい。ビデオでもいい
- ・実際に機械が動く部分、杜氏さんが働く姿も見せてほしかった。クラフトマンシップを感じたかった
- ・神楽はちょっと寒かった。暗かった
- ・弁当を子どもたちと一緒に食べながら交流を図れた点はよかった

⑥赤間硯の里訪問（習字体験～工房見学）

- ・「赤間硯の里」を見学。習字体験→工房見学の順にコンテンツが進んだ。
- ・日枝美穂先生より、道具の説明を受けてから体験がスタート。墨をする工程を経て、線や円を書いた。その後、各々好きな文字を半紙に書いた。非常に楽しめた様子で最終的にしおりにするというところには至らず。しかし、書いたものをそのまま持ち帰られることを喜んでいました。
- ・日枝先生からは、「間が大切」「その時の気持ちを持って文字を書くという意味では、一期一会ともいえる」といった禅に通じる話を聞くことができた。
- ・その後、赤間硯の製作工程を英語版のVTRで学習したうえで、工房を見学した。

体験内容	工房見学、習字体験
実施時間	スタート14：20／終了16：00
コンテンツ提供者	・赤間硯の里 日枝陽一様 ・書道体験 日枝美穂様
値段	・工房見学 無料 ・書道体験 講師料一律5,000円、材料費 500円／人



<フィードバック>

- ・習字はよかった、完璧
- ・メディテーションと習字。硯も彫刻。もっと石のことも知りたい
石の前で座禅をするのも良いと思う
- ・習字はもっと時間を長くしてもいい。うまくなりたい。1週間でもいい、弟子になる感じでもいい
- ・赤間硯とは何かを知ってから、習字体験をしたかった
- ・工房見学と習字体験は、分けてもいいと思う。なぜなら講義スタイルでしっかり習字をしたいから

その他のフィードバック

- ・3日間、坐禅を行う
- ・毎朝、アート作品を変えて禅を行う
- ・アーティストたちのインスピレーションを得るようなプログラムにしても良いかも
- ・宇部にきて、いろんなアートの体験する。自分の好きな感覚のアートを探していく
- ・マインドフルネス、琴、温泉、習字・・・いろんなものある
- ・例えば、自分の一番好きな作品を見つけてください（アドベンチャー）というツアーも考えられる
- ・日本の職人は弟子に教えない。背中を見て学ぶ。宇部に教えてもらいにくるようなものでもいい
- ・多くの観光客は都会から来ているので、せっかくなら田舎側を見たい。そして、必要があればシティに行くというやり方もできる
- ・食事に関して、食や食材など説明（ヘルシー、作り方、農業など）が欲しい
- ・セルフディスカバリーをテーマにしたツアー

6.まとめ～コンテンツの改良方針

UBEビエンナーレは、既に完成された観光資源であるとみなし、彫刻鑑賞以外の観光資源の充実を図る方向で、コンテンツを造成する。

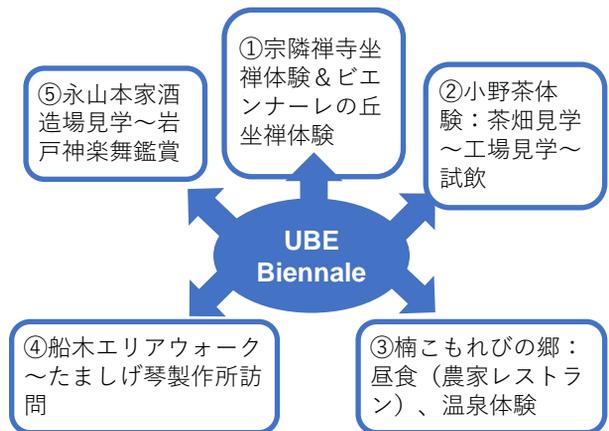
ただ通り過ぎるのではない、“滞在型観光”を実現するため、「見学」「体験」を重視したコンテンツをプランニング。

神社寺院にある石造（狛犬や獺）、削って仕上げる赤間硯もまた一つの彫刻作品とみなし、すべてをアートとして内包。

琴職人、杜氏、書家、硯職人、農家。すべての人がクラフトマン。彼らからインスピレーションを得る旅としてのストーリー作り。

さまざまなアート、クリエイターに触れることで、アートの扉を開く、アートへの関心を高めるきっかけとする、セルフアートディスカバリーを目当てにする。

体験の幅、選択肢を広げるための、コンテンツの細分化の実現



本日、ご参加いただいた皆さまからの詳しいフィードバックを基に、上記をふまえた観光商品を第五回企画開発協議会（書面協議）にてご提案いたします。

第五回 企画開発協議会（書面協議）

- 開催日時 2020年3月18日
- 協議内容
1. コンテンツの改良方針
 2. 最終コンテンツの報告
 3. 総合評価
 4. 課題と今後の展開
- 【参考】 その他スポットに関するフィードバック

■付則資料

- 別添1 実地ガイド研修報告書
- 別添2 トム・シーモア氏公開セミナープレゼン資料
- 別添3 宇部市外国旅行者向け観光ガイドマニュアル2003版
- 別添4～7 マニュアル付則資料1～4

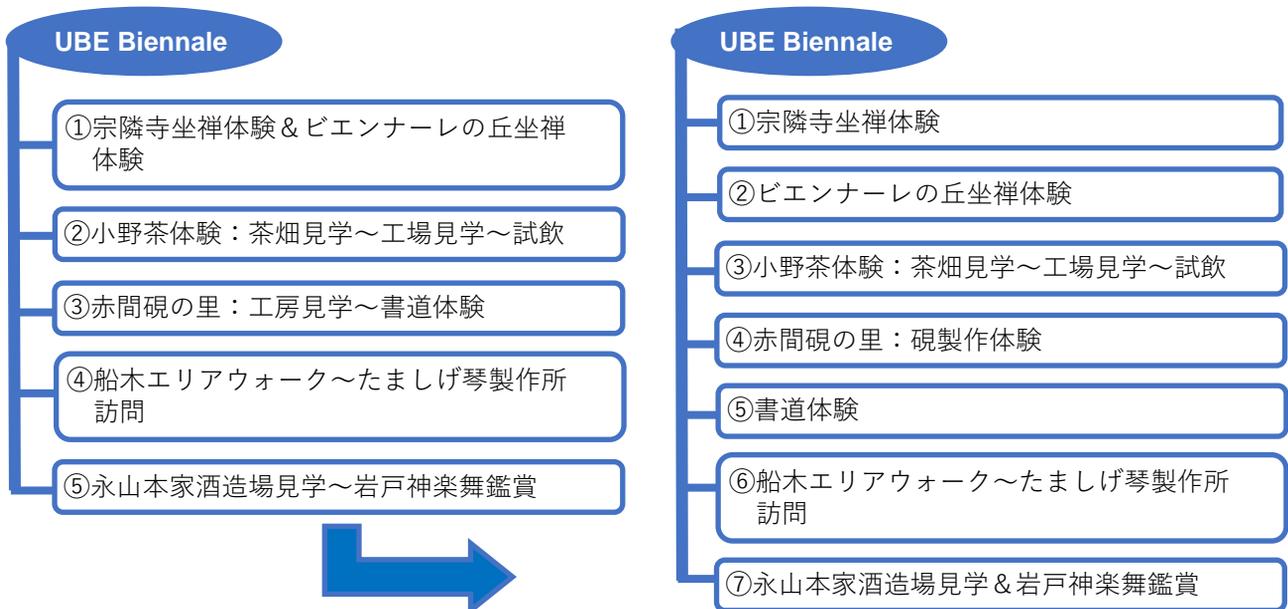
■連絡先

- ・リベルタ株式会社(ハートランドジャパン)
- 担当：香川 (かがわ) ・澤野 (さわの)
- メール：info@heartlandjapan.com
- 電話：03-6265-3294 香川直通：090-2930-7452

1. コンテンツの改良方針

第四回協議会の検討事項を踏まえ、これまで五つに見せていたコンテンツを七つのコンテンツとして独立化。

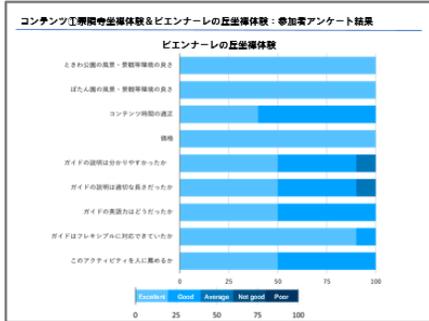
体験の幅、選択肢を広げ、観光客がより柔軟にアクセスできる余地を創出。



2. 最終コンテンツの報告：資料の見かた

「最終コンテンツの報告」は、以下の構成で作成。

① FAMツアー参加者への定量調査



② 定性調査：良フィードバックの抽出

コンテンツ「宗廟寺坐禅体験&ビエンナーレ」の定性調査結果：アンケートフリーコメント

■旅行団体のメンバーコメント

坐禅の世界観に対する興味関心度
・とても興味があり、自分自身にも役立つ。

ときわ公園の風景・景観等環境の良さ
・景観の良さはとても良かった。宇都宮に来る観光客への明確な目玉となる。
・芸術作品の前での瞑想はよいコンビネーションだった。とても良い機会。

ガイドについて
・ガイド通訳者は本当に良く、面白かった。
・事前の事前説明と動物園を案内してくれた。
・フレキシブルな対応は完ぺきだった

アクティビティのオススメ度
・素晴らしい。雨天の場合は無い。
・事前の事前説明と動物園を案内する。
・芸術インスタレーションなども人気がある。
・昼食や美術館の観覧、瞑想と美術の体験として推奨しお薦めすること。
・より体験を向上させるため、坐禅の後に茶道体験を加えることを提案したい。

④ ①～③に基づいた、最終コンテンツのご報告

①宗廟寺坐禅体験

開催情報
■開催日 (税込) ¥3,600/PT/人 一人様5名につき、+1,800円
■料金
■申し込み期限
■申込方法
■お問い合わせ先

お問い合わせ先
宗廟寺坐禅体験の申し込みは、メールをご利用します。平中様にご連絡ください。

お問い合わせ先
宗廟寺坐禅体験
宗廟寺坐禅体験の申し込みは、メールをご利用します。平中様にご連絡ください。

お問い合わせ先
宗廟寺坐禅体験の申し込みは、メールをご利用します。平中様にご連絡ください。

③ 定性調査：改善ポイントの抽出と、これにともなう考えの整理

コンテンツ「宗廟寺坐禅体験&ビエンナーレ」の定性調査結果：改善ポイント

【宗廟寺坐禅体験】

- ・よく理解できた。事前に説明をしっかりと受けた方が、初心者にもよいもの。
- ・講話をもっと聞きたかった。

【UBEビエンナーレ坐禅体験】

- ・ビエンナーレについて、西洋人の審美眼に、もっと情報があってもいいのではないかと、その歴史は？
- ・ガイドレベルの向上（英語力、ビエンナーレに関する知識、アートに関する知識の習得）によって体験価値を上げる。
- ・観光パンフレット、既存ウェブサイトの情報拡充、看板の架け替えなども今後検討できる。

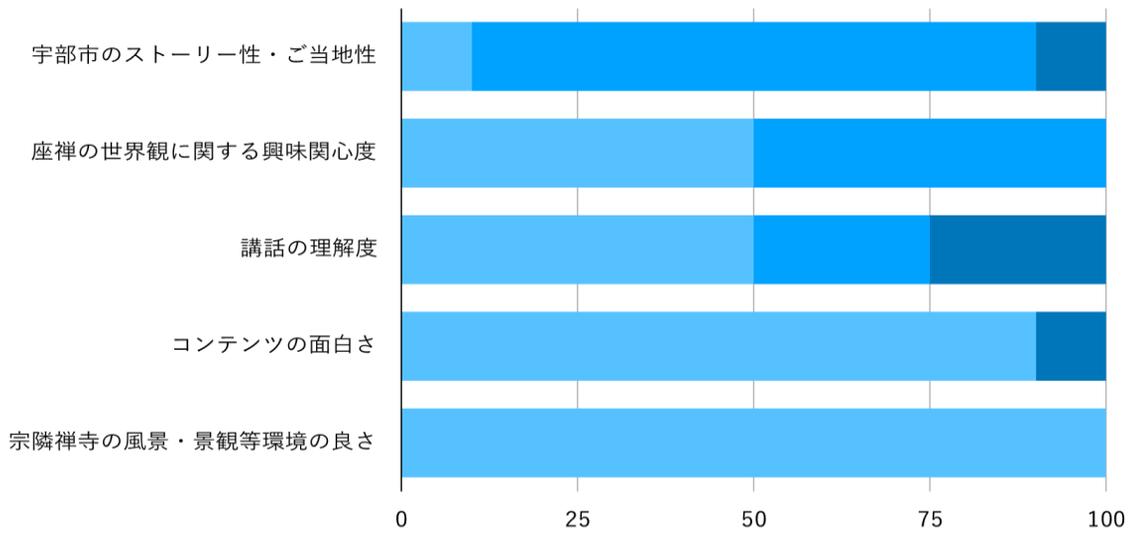
【その他】

- ・私は幸運なことに、彫刻の代わりに植物園を訪れることができた。そしてそれは素晴らしい経験だった。好奇心にも感謝し付けなくて、その機会があるべきだったと思う。
- ・ちょっと急ぎ気味。もう時間あるとゆったりと楽しめ、季節感も時間も十分あっていい。
- ・植物園にも行ってみたいかった。

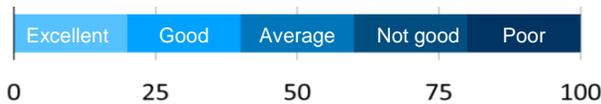
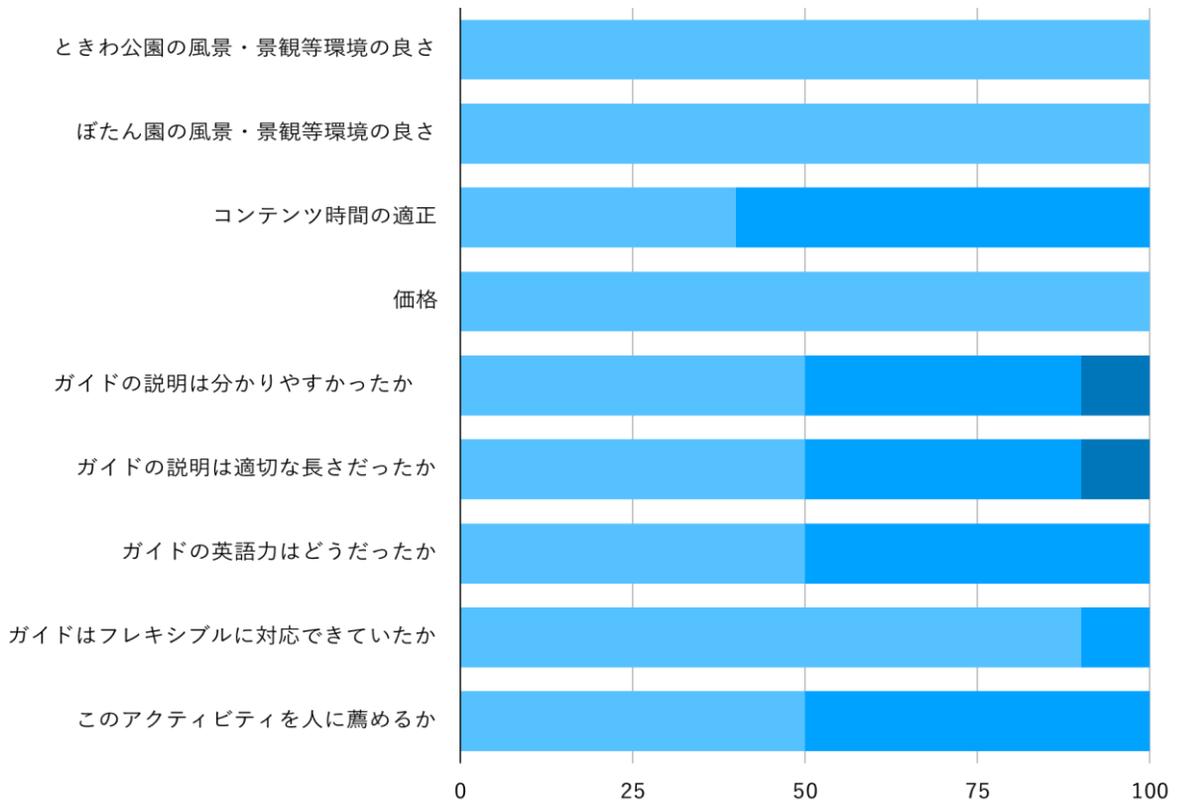
■副団体に参加者の要望を伝え、今後の実施に活用していただくことで改善を推進し、整備を進めている「ガイドマニュアル」に坐禅体験に関する情報（内容）、英語ガイドが情報を伝える体制を今後構築することで座席の確保を目指す。
■参加にあたって、「坐禅の説明」「講話」をプリントして配布することも検討できる。

コンテンツ①宗隣寺坐禅体験&ビエンナーレの丘坐禅体験<参加者アンケート結果>

宗隣禅寺坐禅体験



ビエンナーレの丘坐禅体験



コンテンツ①宗隣寺坐禅体験&ピエンナーレの丘坐禅体験<フリーコメント>

■トムのコメント

【宗隣寺坐禅体験】

宇部市の歴史や、坐禅が人々の日々の生活にどんな役割があるのかについて、もう少し聞くことに興味がある。人々が日々の生活で瞑想するのか、どのようにするのかについての情報をもっと欲しい。

講話をもっと聞きたかった。彼の人生で坐禅が必要とする献身の感じを得ることは興味深い。瞑想をしたことがない人には、どのレベルにいるのか確認するのは価値があるかもしれない。

多様性を快く認められる（リベルタ注：椅子に座って坐禅ができた）ことは、とても歓迎されるべきで、大切だと感じた。

寺や庭の景観は、素敵で記憶すべきものと感じた。

文化を体験したいイギリス人旅行者にとって、日本の芸術と座禅、日本の魚介類を楽しむ休暇は、とても魅力的なコンビネーションになると思う。毎日瞑想から始まったら良かった。

【ピエンナーレの丘坐禅体験～彫刻鑑賞】

自然に近い環境が用意された動物園は、運営に優れた動物園の好事例だ。訪問客は興味を持つと思う。

彫刻公園が、世界でも初めてのものであることは注目すべきことである。もっとこれを活用するとよい。



■旅行関係者メンバーコメント

コンテンツのおもしろさ

- ・よく理解できた。前半に説明をしっかりとってもらうほうが、初心者にはよいのかもしれない。
- ・椅子で瞑想をさせてもらったのはとても寛大でありがたかった。
- ・美しい裏庭。見事だった。

坐禅の世界観に対する興味関心度

- ・とても興味があり、自分自身にも役立つ。

ときわ公園の風景・景観等環境の良さ

- ・彫刻の庭はとても良かった。宇部市に来る観光客への明確な目玉となる。
- ・芸術作品の前での瞑想はよいコンビネーションだった。とても良い融合。

ガイドについて

- ・ガイド通訳者は本当に良く、面白かった。
- ・とても物知りでいろんな小話をしてくれた。
- ・フレキシブルな対応は完ぺきだった。

アクティビティのおすすめ度

- ・素晴らしい。悪天候の場合にも良い。
- ・絶対的に植物園と動物園を薦める。
- ・芸術インスタレーションはとても人気がある。
- ・感覚や芸術の融合、瞑想と美食の体験として確実に薦めする。
- ・より体験を向上させるため、坐禅の後に茶道体験を加えることを提案したい。



コンテンツ①宗隣寺坐禅体験&ビエンナーレの丘坐禅体験<改善ポイント>

【宗隣禅寺坐禅体験】

よく理解できた。前半に説明をしっかりとしてもらおうほうが、初心者にはよいのかも。講話を、もっと聞きたかった。

- ・副住職に参加者の要望を伝え、今後の実施に反映していただくことで課題を解消。
- ・整備を進めている「ガイドマニュアル」に坐禅体験に関する情報を掲載（別紙）。英語ガイドが情報を補える体制を今後構築することで課題の解消を目指す。
- ・参加にあたって、「坐禅の説明」「講話」をプリントして配付することも検討できる。

【UBEビエンナーレ坐禅体験】

ビエンナーレについて、西洋人の客に対し、もっと情報があってもいいのではないか。どのように賞が決められるのか。その歴史は？

- ・ガイドレベルの向上（英語力、ビエンナーレに関する知識、アートに関する知識の習得）によって課題解消を目指す。
- ・観光パンフレット、既存ウェブサイトの情報拡充、看板の架け替えなども今後検討できる。

私は幸運なことに、彫刻の代わりに植物園を訪れることができた。そしてそれは素晴らしかった。みんなにも彫刻だけでなく、その機会があるべきだったと思う。

ちょっと急ぎ気味。もう1時間あるとゆったりと楽しめ、歩き回る時間も十分あっていい。動物園にも行って見たかった。

- ・彫刻ガイドの時間の充実。彫刻散策のみならず、植物園や動物園にも足を運べる柔軟性をプランに盛り込む。

①宗隣寺坐禅体験



OVERVIEW

アートを巡る旅を坐禅でスタートしませんか。

長州藩の永代家老であり、宇部領主であった福原広俊公の菩提寺でもある「宗隣禅寺」では、本格的な坐禅を体験できます。ただ、坐禅を組んで時間を過ごすのではなく、坐禅の正しい姿勢とところの置き方までをいねいに解説いただけるのが、大きな魅力。坐禅を通して感じ取れるところの変化は、これから出会うさまざまなアートを新しい視点と気持ちで鑑賞することにも役立てられるでしょう。県内最古の庭園であり、国の名勝の指定を受ける、龍心庭も見ものです。

価格情報

- 価格(税込) ¥3,500JPY/人
一人増えるにつき、+1300円

■含まれるもの

坐禅体験料、庭園鑑賞料、英語通訳料(4人まで同額)

受け入れ情報

- 実施期間 通年(法事など行事が無い日に限る。要問合せ)
- 体験詳細 坐禅20分×2回、坐禅説明30分、庭園鑑賞20分
- 所要時間 90分
- 催行人数 4人~12人
- 申込期日 2週間前

■注意事項

正座や胡坐ができない方には、イスをご用意します。予約時にご連絡ください。

■問い合わせ先

宗隣禅寺

- ・電話番号 0836-21-1087
- ・メールアドレス sourin-yonyon@camel.plala.or.jp
- ・住所 〒755-0067 山口県宇部市小串210
- ・アクセス
JR宇部線「宇部新川」駅より、徒歩約25分
「宇部新川」駅より路線バス「小串」バス停下車 徒歩5分

①『ビエンナーレの丘』坐禅体験&彫刻鑑賞ツアー



OVERVIEW

彫刻のまち宇部のシンボルとして、市民に愛される彫刻が、UBEビエンナーレの丘に立つ『蟻の城』。その堂々たる姿を眼前に捉えながら坐禅を行えるのが、本プログラムです。気持ちを高揚させるアートと、無の境地を追求する坐禅。一見、対極にある二つですが、集中もクリエイイトもすべては無から。無があるから有が生まれる。そんな心境に至れる感覚を360度自然のなかで呼び覚ませます。

坐禅後は、公園内に約200点存在する彫刻を、ガイドの解説付きで散策しましょう。お気に入りの一つにきっと出合えるはずですよ。

価格情報

- 価格(税込) ¥2700JPY/人 一人増えるにつき+500円

■含まれるもの

坐禅体験料、彫刻ガイド料、英語通訳料(4人まで同額)

受け入れ情報

- 実施期間 通年(法事など行事が無い日に限る。要問い合わせ)
- 体験詳細 坐禅20分×1回、アート鑑賞(ときわ公園内)
- 所要時間 90分
- 催行人数 4人~12人
- 申込期日 2週間前

■注意事項

ビエンナーレの丘に直接お集まりください。本プログラムは、現地集合、現地解散の野外プログラムです。お昼を挟む場合は、彫刻ボランティアガイドに対し、昼食代として1,000円をお支払いください。

■問い合わせ先

宗隣禅寺

- ・電話番号 0836-21-1087
- ・メールアドレス sourin-yonyon@camel.plala.or.jp

■会場インフォメーション

〒755-0003 山口県宇部市則貞3-4-1

電話番号 0836-54-0551

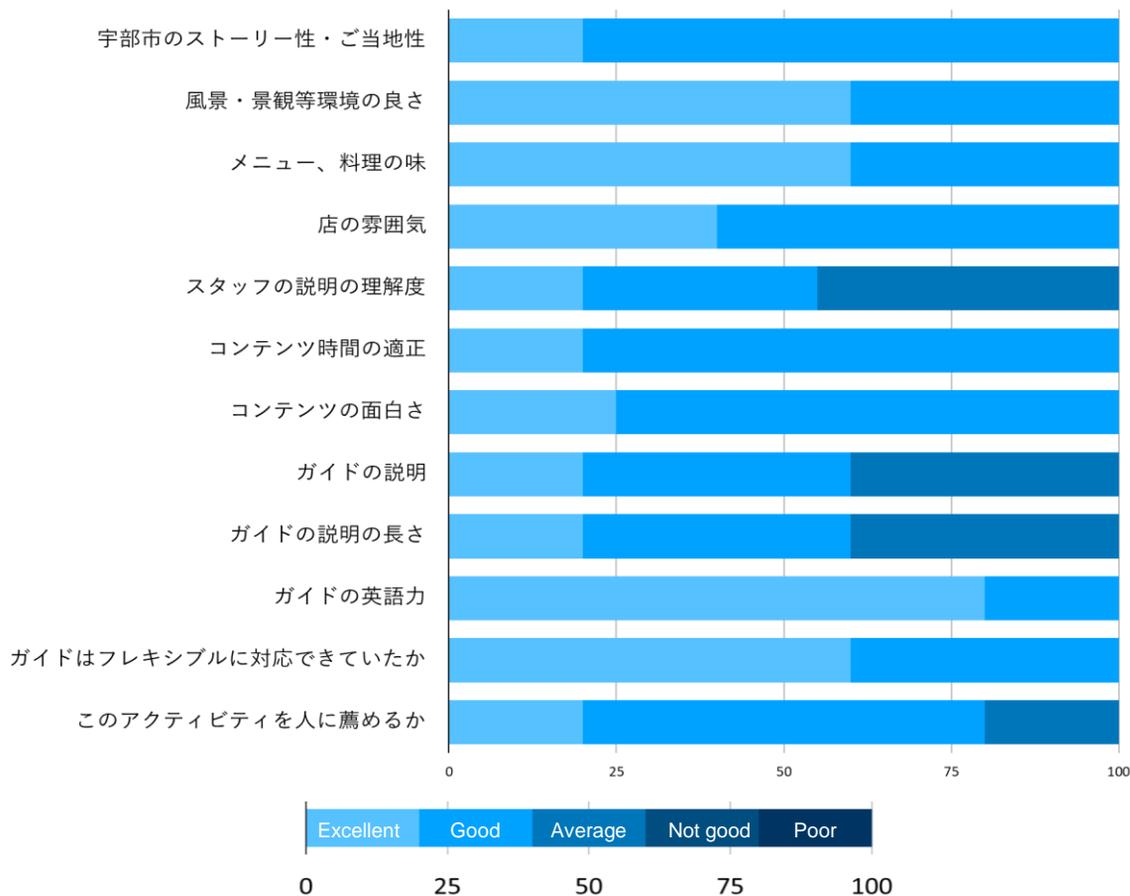
・アクセス

JR宇部線「常盤」駅より、徒歩約15分

宇部新川方面から：萩原線・萩原循環線利用「ときわ公園」

バス停下車、東部市内循環線「めぐりーな」を利用「ときわ公園」「ときわミュージアム」バス停下車

コンテンツ②小野茶体験：茶畑見学～工場見学～試飲＜参加者アンケート結果＞



コンテンツ②小野茶体験：茶畑見学～工場見学～試飲＜フリーコメント＞

■トムのコメント

美しい場所。選択肢として、カヤック体験もよい。

■旅行関係者メンバーコメント

- ・茶畑への訪問は無条件に美しく、お薦めする。
- ・私が一番気に入ったのは職人の工程への細心の注意だ。



【改善ポイント】

- ・何が違う種類のお茶なのかははっきりしていると良い。ガイドではなく他のツアーオペレーターに聞かなくてはならなかった。
- ・茶業のスタッフのプレゼンテーションが良くなれば、喜んで勤められる。工程を順を追って説明したり、どの機械がその順番で使われるかを見せるなど。インドでティープランテーションに行ったことがあるので、興味深いツアーになり得るのはわかっている。
- ・ポテンシャルはあるが、演出を意欲的にすべきだ。畑の近くや工場でもよりよいプレゼンが出来ると良い。しかしその景観や近くに活動的なスポットがあるため、ツアー候補にはなる。
- ・機械を操作しながら、または相互作用のある説明で旅行客の体験をよりよくダイナミックにするべきだと思う。

- ・山口茶業様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶガイド、説明の仕方）によって課題を解消。
- ・英語パンフレットの制作も検討できる。
- ・通訳ガイドの習熟度の向上やテクニックの伝授によって、課題の解消を目指す。
- ・茶畑に極限まで近づけるアクティビティの追加と、山口茶業ご担当者様の動的なプレゼンテーションの実施をプランに盛り込む。

②小野茶体験



OVERVIEW

一か所での茶面積、日本一を誇る小野茶の茶畑。見渡す限り広がる緑のじゅうたんは、この地区特有の緩やかな丘陵地を活かして形成されています。この広い茶畑を一望しながら、その特色やお茶の生育に関する知識、生産工程を知れるのが、本プログラムです。茶畑を一元管理する山口茶業のご担当者とともに、見て触って、香って、緑茶の持つその清々しさを五感でぜひ味わってください。

茶畑見学後は、工場見学、茶葉や加工品のショッピング体験をご用意しています。

価格情報

■価格（税込） ¥12,000JPY / 1グループ

■含まれるもの

茶畑見学科、工場見学科、英語通訳

受け入れ情報

■実施期間 通年

■体験詳細 小野茶に関するレクチャー、茶畑見学、工場見学、試飲、ショッピング

■所要時間 80分（茶畑見学&レクチャー20分、工場見学20分、買い物&試飲20分）※移動時間を含まず

■催行人数 4人～12人

■申込期日 2週間前

■注意事項

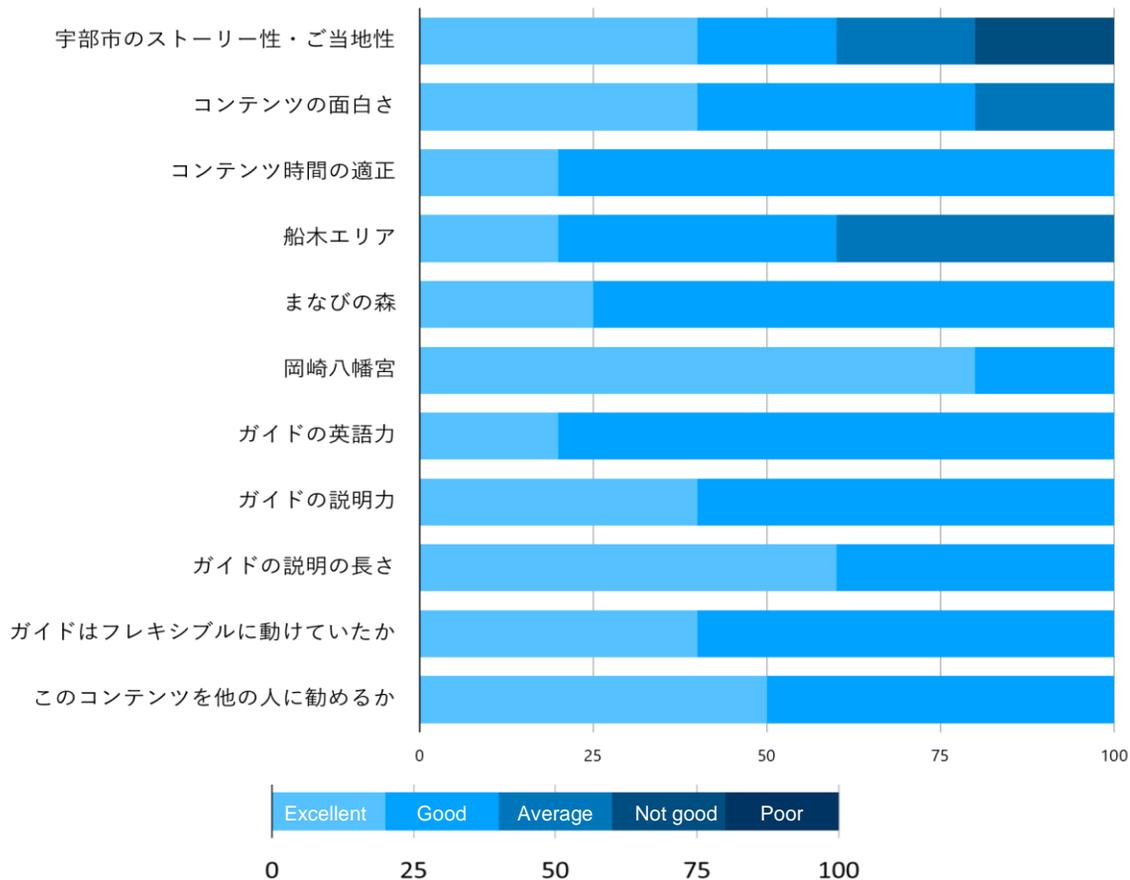
本プログラムは、現地集合、現地解散の野外プログラムです。茶畑と工場・直売所が離れており、車による移動が必要です。

■問い合わせ先

株式会社山口茶業

・住所 〒754-1314 山口県宇部市大字櫛原152-13
・電話番号 0836-64-2116

コンテンツ③赤間硯の里：工房見学～書道体験<参加者アンケート結果>

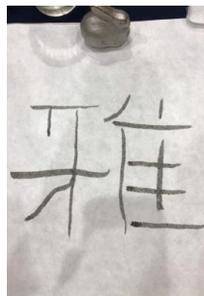


コンテンツ③赤間硯の里：工房見学～書道体験<フリーコメント>

■トムのコメント

彫刻に興味がある人は、硯の熟練した職人から学ぶためにここに長く滞在してもよい。ワークショップも出来るのだろうか。

ここでの私の唯一の心残りは、長く滞在して書道の練習することができなかったことだ。この体験をととても楽しんだので、また、喜んで体験したい。書道や硯づくりを毎日でもしたい。



■旅行関係者メンバーコメント

【赤間硯】

- ・ 珍しさがあった。地下の石切場の素晴らしい話は印象深い。
- ・ 素晴らしい人たちと会うユニークな体験。

【習字体験】

- ・ 旅行者が間違いなく気に入る良い体験。雰囲気もいい。
- ・ 私はこの体験が気に入り、その価値とポテンシャルを評価している
- ・ とても面白く、素晴らしい体験だった。間違いなく、自分の顧客にお薦めする。



コンテンツ③赤間硯の里：工房見学～書道体験＜改善ポイント＞

【赤間硯工房見学】

彫刻に興味がある人は、硯の熟練した職人から学ぶためにここに長く滞在してもよい。ワークショップも出来るのだろうか。

- ・日枝陽一氏による「硯製作体験」をプランに盛り込む。本格的に取り組みたい人向けの「スタンダードプラン」、気軽に体験できる「ライトプラン」を用意し、期待に応える。

【習字体験】

最初にワークショップの歴史や書道について（ビデオと説明で）教えてもらっていたらより良かった。歴史や他の説明を受けたのが、アクティビティをした後だったので、混乱した。

ブラシをどう扱うのかや必要な圧の説明が長いほうがよかった。

ワークショップで旅行客がやって見る前に、やってみせるのは良いと思う。

- ・日枝先生への確かなフィードバックと助言。（外国人旅行客が喜ぶガイド、説明について）サポートの実施、英語ガイドの積極的なサポートによって、これら課題を解消。

ブックマークの製作まで終わらせられたのなら素晴らしい体験になっただろう。時間の都合で（時間管理が悪かったため）できなかった。

もう少し時間があつたらより良かった。

小さいグループで行われることが大切だ。

ここでの私の唯一の心残りは、長く滞在して書道の練習することができなかったことだ。この体験をとて楽しんだので、また、喜んで体験したい。

- ・体験時間を70分→120分に変更したプランに再設定。
このほか、さまざまな改善ポイントは、体験する環境にもあると考え、講義スタイル（一人ひとりに対し、机と椅子がある状態）に変更し、体験のしづらさや物理的な窮屈さを解消。

③赤間硯の里：硯製作体験



OVERVIEW

その歴史は920年前にさかのぼると言われる、赤間硯。毛利氏が藩を治めていた時代には、原料の赤間石が採れる山は入山が厳しく管理され、参勤交代の贈り物として硯が必要になると、藩主の命令で採掘が許可されるほど希少な品でした。現在は、山口県を代表する工芸品の一つとして知られ、「東京2020」の記念品にも選ばれています。

本コンテンツでは、採石、縁立て、削り、彫り、磨きの大きく五つからなる赤間硯の制作工程のうち「削り」を体験できます。完成したオリジナルの硯は、習字の道具として使うことはもちろん、ペーパーウエイトやアクセサリースタンドの用途としても長くご愛用いただけます、気軽に楽しみたい方のために、ライトプランもご用意しています。

【スタンダードプラン】

価格情報

- 価格（税込） **¥10,500JPY/人**
一人増えるにつき+5000円
- 含まれるもの
製作体験料、材料費、英語ガイド（5名まで同額）
- 含まれないもの
硯発送費 ※漆で仕上げたのちお手元にお届けします

受け入れ情報

- 実施期間 通年（10時スタート、15時終了）
- 体験詳細 赤間硯に関するレクチャー、硯製作
- 所要時間 5時間（午前2時間、休憩1時間、午後2時間）
- 催行人数 5人～12人
- 申込期日 2週間前
- 注意事項 体験会場は、「万倉ふれあいセンター」になります。昼食は「楠こもれびの郷」（徒歩3分）で調達ください。

【ライトプラン】

価格情報

- 価格（税込） **¥10,000JPY/人**
一人増えるにつき+5000円
- 含まれるもの 製作体験料、材料費、工房見学料、英語ガイド（2名まで同額）
- 含まれないもの
硯発送費 ※漆で仕上げたのちお手元にお届けします

受け入れ情報

- 実施期間 通年
- 体験詳細 赤間硯に関するレクチャー、工房見学、硯製作
- 所要時間 80分（VTR視聴20分、工房見学20分、製作体験40分）
- 催行人数 2人～4人
- 申込期日 2週間前
- 問い合わせ先
赤間硯の里
・電話番号 0836-67-0641

③習字体験



OVERVIEW

墨をたっぷり含んだ筆で自由自在に文字を書く習字。東洋の造形芸術と言われるこの習字を、山口県を代表する宇部の工芸品「赤間硯」を使って体験できるコンテンツです。書家としても活動する講師のレクチャーのもと、ただ文字を書くだけでなく、「間（ま）」を大切にする和の心、心の状態が文字に現れるという書道ならではの精神性に触れることができます。好きな言葉を和紙にのせるおもしろさをぜひ体験ください。出来上がった作品で茶をつくるなど、体験を思い出の品に変えて持ち帰ることも可能です。

習字体験の後は、会場である「かまたの恵」の名物おはぎと抹茶で一服をどうぞ。

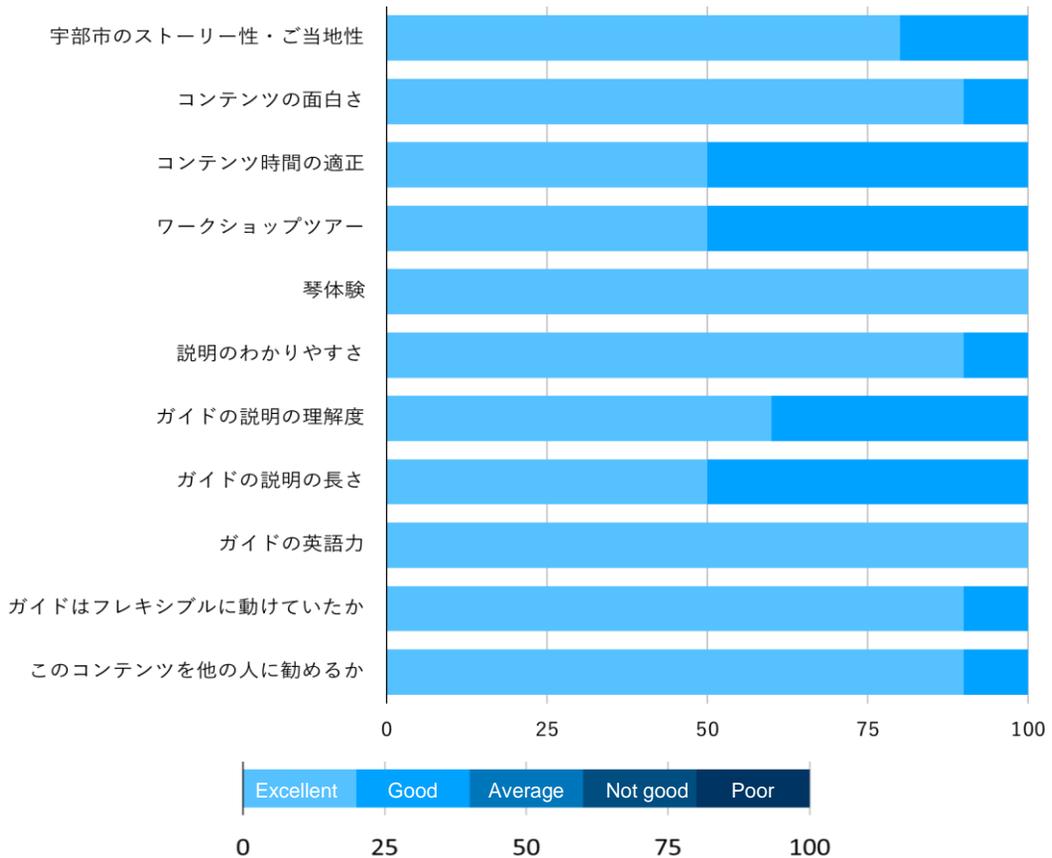
価格情報

- 価格（税込） ¥5,500JPY/人
一人増えるにつき+2700円
- 含まれるもの
体験料、飲食費、英語ガイド（6人まで同額）
- 含まれないもの 材料費（一人当たり500円）

受け入れ情報

- 実施期間 通年
- 体験詳細 習字体験（茶制作まで）、軽食
※時間があれば、着付け体験など会場独自の日本文化体験グラムを無料でお楽しみいただけます。
- 所要時間 2時間30分（習字体験2時間、軽食30分and more）
- 催行人数 1人～10人
- 申込期日 催行10日前
- 問い合わせ先
かまたの恵
・電話番号 0836-32-1824
・メール ohagi333@galaxy.ocn.ne.jp
・住所 〒755-0072
山口県宇部市中村一丁目 6 番50号

コンテンツ④船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問<参加者アンケート結果>



コンテンツ④船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問<フリーコメント>

■トムのコメント

琴の弾き方を習うチャンスが1, 2時間ほどあったら嬉しかった。

何かが私に足りないのかもしれないが、頂いたものは大切にしたい。しかし、男性にのみにプレゼントがあるというのは旅行業者が取り扱わなければならない、気まずい事態（文化的なこと）になりうる。

■旅行関係者メンバーコメント

【船木エリアウォーク】

悪天候にも関わらず、これは私の一日の中でお気に入りのひとつである。なぜなら私は知られていない地域を歩き回って知ることをすごく楽しみにしているからだ。特に素晴らしいガイドと一緒に、街の吐息を感じるにはとてもいい方法だ。本当に歴史について私ちに伝えてくれることができ、ものの独自性を見せてくれるガイドの持つ情熱は、色々なことに目を向けさせてくれる。

街の中を散策するのは興味深かった。神社や寺を楽しんだ。

説明とお寺、そして散歩は気に入った。半日割いても良い。

私たちに同行していたガイドは展示物の説明が上手だった。

【たましげ琴製作所】

一日の中で最高の体験の一つ。家族経営のビジネスを見て、どう彼らがこの芸術を保存してきたのかを知ることはとても気に入った。

素晴らしく、ユニークな体験。とても素敵な人たち。

演奏は素晴らしかった。みんな弾いてみるように勧められたため、とてもインタラクティブだった。

この小旅行はとても面白かった。小さな家族を訪問し、その活動を知るチャンスがあるのは素晴らしい。とても気に入った。

ガイドに通訳してもらった必要があったが、とても良い仕事をしてくれた。

馴染みの方法で時間通り行われる工芸の工程を見るのがとても気に入った。職人による特化型ツアーで焦点を当てられるものだ。宇部とその芸術に良くつながっていると思う。



コンテンツ④船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問<改善ポイント>

【船木宿ウォーク】

- ・まずあまり背景が見えずピンと来ず、もう存在しないもの、想像するしかないものについて話すことは意味がないと思う。大切なのはその村にまだあるもの、そして何が特別なかに焦点を当てることだと思う。
- ・館長（リベルタ注：学びの森くすのき）の説明は、英語に訳すのが難しかったため、がっかりした。

- ・ガイドに向け、“興味を呼び起こせるストーリーテリング”の習得を促し、外国人観光客の「知りたい」に応えられる体制の構築によって解消を目指す。
- ・ガイドによる、楠エリアに関する知識の習得によって解消を目指す。

【たましげ琴製作所】

- ・オーナーが工房内を私たちを連れて歩いて、日本の音楽文化や芸術の中での琴の重要性はもちろん、製造工程を説明してくれたらとても良かった。
- ・デモンストレーションのあとで、男性の参加者には笛のプレゼントがあったのに、私たち女性にはなかったことに驚いた。

- ・たましげ様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶガイドや説明、避けたほうが良い慣習、感じ方の違いの説明）を行うことで、これらの課題を解消。

- ・少人数のグループでなければならない。
- ・大人数向きではない。

- ・ガイドや通訳が同行することも加味しつつ、催行人数を見直し、最終プランに反映。

④船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問



OVERVIEW

楠エリアの文化拠点である「学びの森くすのき」をスタート地点に、全国でも4社しかない清酒醸造許可を持つ岡崎八幡宮、江戸時代に栄えた船木宿場を歩きながら、たましげ琴製作所を訪問するプログラムです。

散策途中で出会う狛犬や獺、神社仏閣の伝統的な意匠、宿場町に残る伝統建築の様式など、日本の歴史が育んださまざまな“粋”にアートを見いだせるばかりでなく、それら一つひとつが織りなすストーリーも一緒にお楽しみください。

最終目的地の「たましげ琴製作所」では、四代目琴司 玉重彰彦氏が琴の歴史や製造法をていねいに解説。工房内も自由に見学できるほか、演奏も体験できます。

価格情報

■ 価格（税込） ¥15,000JPY / 1グループ

■ 含まれるもの

観光ガイド料、通訳料、たましげ琴製作所見学体験料

受け入れ情報

■ 実施期間 通年

■ 体験詳細 船木エリアに関するレクチャー、エリア散策（岡崎八幡宮～宿場町）、たましげ琴製作所（工房見学、演奏体験）

■ 所要時間 2時間20分（船木宿ウォーク80分、たましげ琴製作所60分）

■ 催行人数 4人～6人

■ 申込期日 催行4週間前

■ 注意事項

本プログラムは、野外活動が含まれています。

現地集合、現地解散のプログラムです。

お昼を挟む場合は、観光ガイドボランティアに対し、昼食代として1,000円をお支払いください。

■ 問い合わせ先

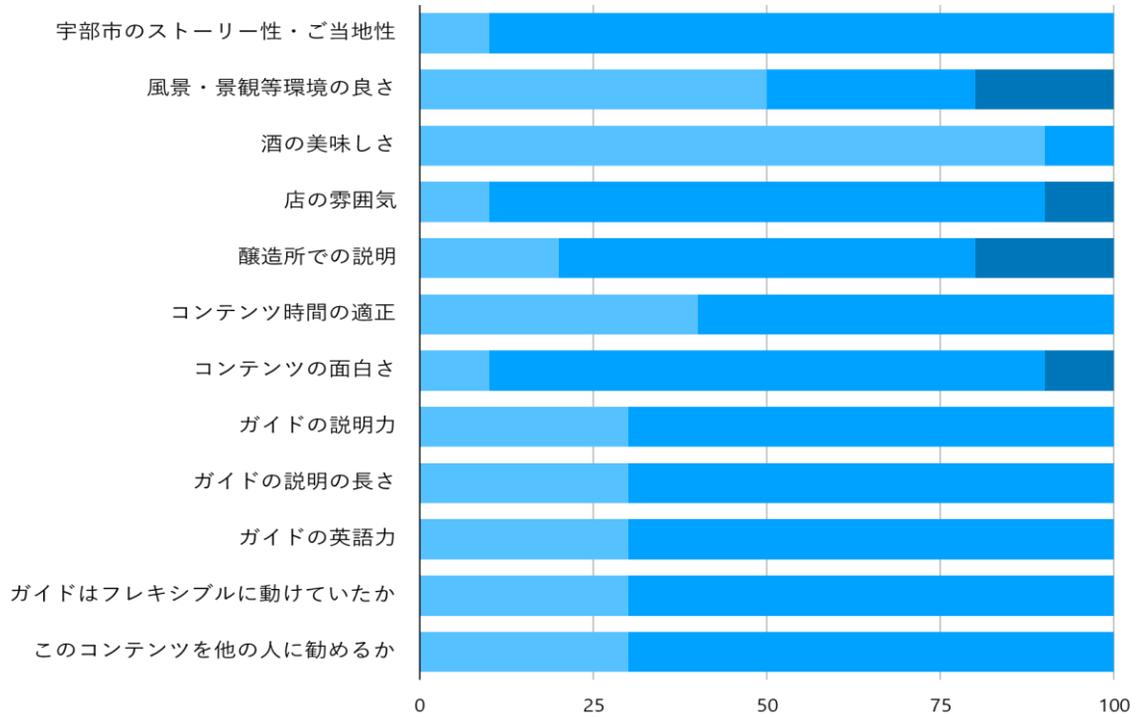
Essence

・ 電話番号/FAX 0836-39-9611

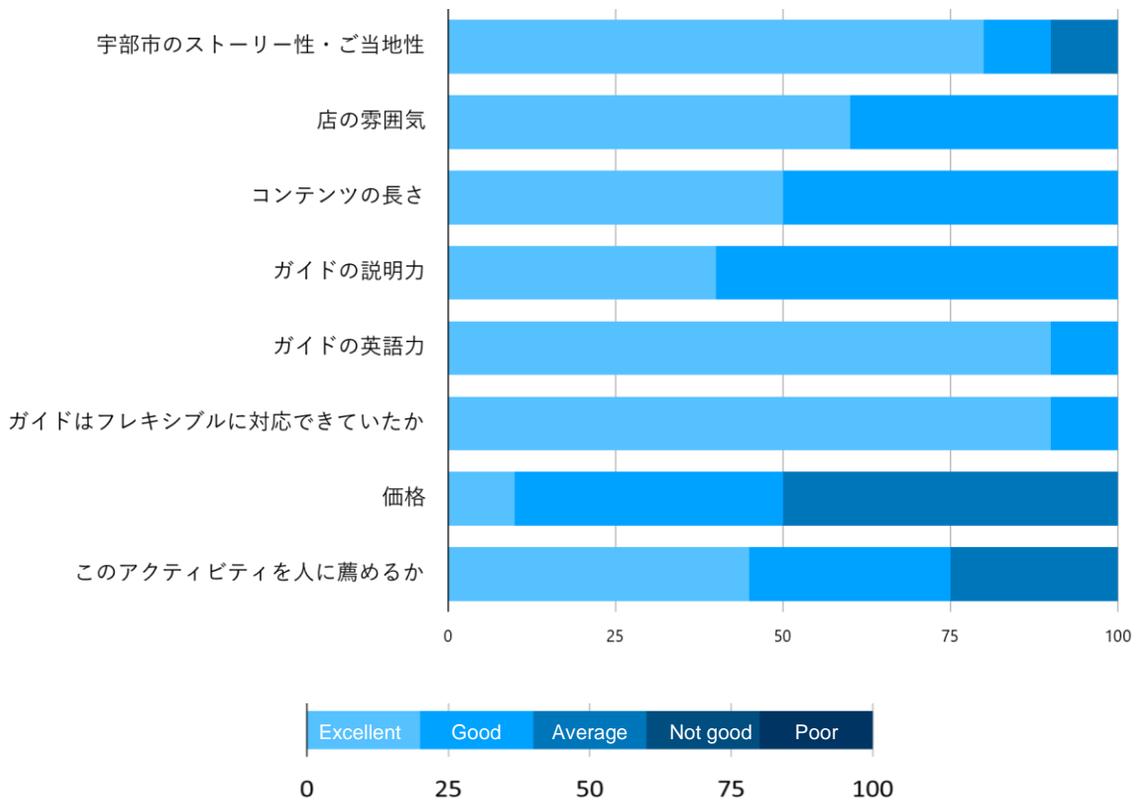
・ メールアドレス vizio@nifty.com

コンテンツ⑤永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞＜参加者アンケート結果＞

永山本家酒造場



岩戸神楽舞鑑賞



コンテンツ⑤永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞＜フリーコメント＞

■トムのコメント

- ・この経験に加えて、利き酒をする活動があれば本当に楽しいだろう。

■旅行関係者メンバーコメント

【永山本家酒造場】

- ・伝統と近代性が合わさった美しい場所で、居心地がよく興味深い。
- ・商品も良いし、パッケージがとても気に入った。

【岩戸神楽舞鑑賞】

- ・神楽はすごく気に入った。
- ・素敵な場所だった。
- ・上演の長さはよかった。
- ・神楽を見る雰囲気が入った。
酒造所の訪問を引き立たせるために良い。



コンテンツ⑤永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞＜改善ポイント＞

【永山本家酒造場】

彼は商品や製造工程を見せることにもっと従事すべきだ。

オーナーは知識が豊富だったが、情熱や私たちへのグループへのアプローチを感じなかった。

製造や歴史についての説明がもっと必要。映像はイメージフィルムで、酒の情報ではなかった。酒造場の訪問はもっと魅力的になるように、コミュニケーションがあるといいと思う。

- ・永山様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶ情報に関するレクチャー、説明の仕方、話しかた）を行うことで、これらの課題を解消。
- ・ガイドがフォローできる（観光客に代わり質問するなど）体制の構築、知識・心得の習得。

お酒の味見も、違いが分かるように違う種類のものが含まれるべきだ。それぞれのものの説明も必要だ。

私はワインの世界や他の飲み物が好きなので、ワイナリーや醸造所などに何回か行ったことがある。こういった訪問を魅力的にするのは、例えば、興味のある、食べ物との相性について話したりすることだと思う。

スタッフによる詳しい味見の申し出や説明があるとよい。

- ・永山様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶ情報に関するレクチャー、説明の仕方、話しかた）を行うことで、これらの課題を解消。
- ・ガイドがフォローできる（観光客に代わり質問するなど）体制の構築、知識・心得の構築により、今後の解消を目指す。

【岩戸神楽舞鑑賞】

ダンスの意味やスタイルについての説明（情報）が充分ではなかった。しかしこれは簡単に解決できる。

この神楽のスタイルと目的とその重要性（酒造や稲刈りとのつながり）の説明が必要だ。

- ・ガイドによる情報提供、英語パンフレットの事前配付等による事前情報の充実化による解消を目指す。

⑤永山本家酒造場見学×岩戸神楽舞鑑賞



OVERVIEW

お酒と神楽。五穀豊穡、無病息災を祈ってともに神様に捧げるこの二つがコラボレーションした、特別なプログラムです。前半は、宇部市が世界に誇る銘酒「貴」の醸造工程を学べる見学ツアー。独自の自然が育む米と水から生まれる日本酒をこころゆくまで味わえるテイastingも楽しめます。その後は麴室前の厳かな空間で、岩戸神楽舞を鑑賞しましょう。2018年に復活を遂げたばかりの神楽一団は、地元の高校生、社会人有志を中心に構成。明かりとりの窓から差し込む一筋の光を背景に舞う神楽の荘厳さは、息をのむ美しさです。

国の登録有形文化財である、オフィス棟にも注目です。

価格情報

■価格(税込) ¥48,000JPY/1グループ

■含まれるもの

酒造見学科、試飲料、神楽鑑賞料、英語ガイド料

受け入れ情報

■実施期間 通年、ただし土日祝日の日中

■体験詳細 酒造見学、試飲、岩戸神楽舞鑑賞

■所要時間 1時間40分(酒造場見学40分、岩戸神楽舞鑑賞40分、試飲20分)

■催行人数 6人~12人

■申込期限 30日前

■注意事項

- ・永山本家酒造場に直接お越しください
- ・20才以下の方の試飲はご遠慮いただいております。
- ・インフルエンザなどの流行時期は、マスクの着用をお願いする場合がございます。
- ・冬場は防寒対策のうえご参加ください。

■問い合わせ先

岩戸神楽舞復興委員会

・電話番号 0836-67-0201

■会場インフォメーション

永山本家酒造場

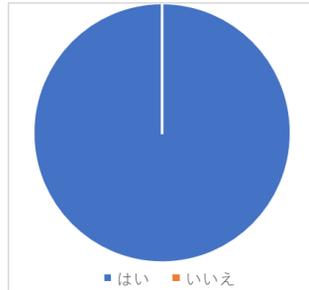
・住所 〒759-0133 山口県宇部市大字車地138

・電話番号 0836-62-0088

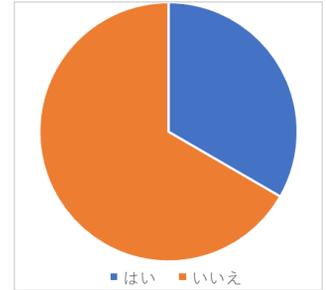
3. 総合評価

①認知について

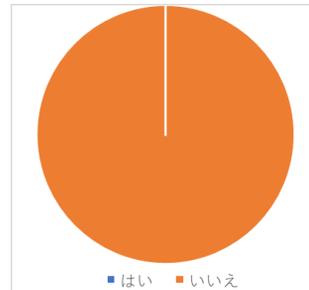
日本行きのツアーを扱っている（トムを除く）はい5人／いいえ0人



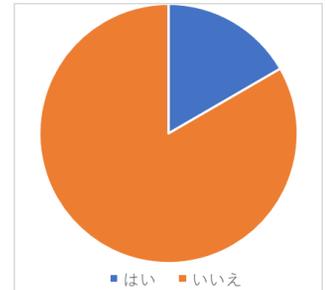
山口県を知っていたはい2人／いいえ4人



宇部市を知っていたはい0人／いいえ6人



UBEビエンナーレを知っていたはい1人／いいえ5人



②フリーコメント ※太字は、トム（アートジャーナリスト）による感想

彫刻のある街の雰囲気はどう感じたか

- ・宇部に着いて一人で過ごしていたとき、街の中を歩きまわるのが難しいと感じ、彫刻がどう街中にマッチしているのかわからなかった。分かりやすい彫刻散歩道の発達はもちろん、より良いVRアプリや英語の表示。これらはこういった類のカルチャーショックに簡単に有益になるだろう。
- ・とても気に入り、驚きでもあった。
- ・ポジティブなエネルギーがいっぱいある素晴らしい場所。
- ・みんなとても親しみやすかった。
- ・率直に言うと、宇部に来るまでビエンナーレのことは知らなかった。ゲストが旅行で来るときは街の概要を事前に渡すとよい。

彫刻は印象的だったか？

- ・とてもそうだった。特別な場所だ。
- ・設置されている環境に驚いたのと同時に、それが本当に興味深く、作製者が地元の人達であることもより価値を与えていると思う。

関心を引く彫刻に出会えたか？

- ・いっぱいあった。例えば、天の川のある洞窟はとても気に入ったし、泡やクラゲも。写真もいっぱい撮ったし、私の中に記録されるモノになった。
- ・はい。でも作成者である**芸術家の情報**がもっと欲しい。
- ・最後に学校の外で見たもの。頭の中に宇宙がある寝ている老人。

ガイドの説明は分かりやすかったか

- ・とても熱心であった。

ガイドの説明は適切な長さだったか

- ・決まった曜日や日に、彫刻を辿るガイドルートを作るのも面白いのではないか。ルートにはテーマがあったり、それぞれの彫刻に英語で作製者が伝えたいことを表示するとよい。
- ・私のガイドに対するアドバイスは、**芸術や彫刻の歴史**を学ぶことだ。

ガイドはフレキシブルに対応できていたか

- ・私の興味はお寺で見られる古代の彫刻と現代の日本彫刻の系統への洞察である。

彫刻を巡るツアーを友人に勧めたいか

- ・もちろん。
- ・世界でも一番古い彫刻公園であるという事実は明らかなマーケティングメッセージだ。
- ・ビエンナーレはベニスにもある。彫刻に興味を持つのは情熱がすごくある人だけ。それよりも日本の伝統的なものに注目したい。
- ・彫刻展示をよく知っている顧客はこのイベントを本当に楽しむだろう。

今回ツアーを自社商品に組み込みたいか

- ・日本のこの地域を訪れる顧客。もしくは旅行計画にこのツアーを足すことができる時間がある人のため。

今回のツアーを自社商品に組み込む際の価格は？ いつごろ商品に組み込めるか？

- ・場合による。2020年3月末
- ・言い難い。おそらく主に春や夏になるのでは。
- ・この地域に何日いるかによる。定かではない。
- ・5000ドル/人。2020年 秋/冬

今回のツアーを組み込みが難しい場合、その理由なにか？

- ・街の外のホテルに滞在したい。今は存在しないことは分かっているが、田舎に宿泊先の可能性はあるか。
- ・船木地区は魅力が足りないが、改善の余地は有り。
- ・他の人気のある観光スポットから離れているため。典型的な日本を既に知っていて、違うものを発見したい人には興味を持ってもらえるかもしれない。
- ・宇部市を訪れる顧客のプランに彫刻ツアーを足すのは難しくない。
- ・まだ全てが整っていない。

どのようなターゲットのお客様に販売できそうか

- ・芸術産業の旅行者。アートコレクター。写真好きな人たち。こういった旅行者とつながりを作るために国際的な彫刻公園や近代のギャラリーとパートナーシップを結ぶのもよいかもかもしれない。
- ・文化やグルメ旅行が好きでハイキングやサイクリング好きな人たち。
- ・珍しいことや地元の人と交流することに興味がある人たち。
- ・芸術や食べ物を楽しむ旅行者。
- ・芸術マニア。文化的に豊かで深い体験を求めている、私たちの趣味の洗練された顧客。

ツアー全体で印象に残ったスポットとその理由

- ・温泉、瞑想と周りの景観。両方毎日するチャンスがあれば歓迎し、これらのアクティビティを中心にした旅行にする。
- ・彫刻の公園。
- ・たましげのワークショップ。なぜならそれはとてもユニークで、地元の人や彼らの仕事と密接に関わることができる機会は素敵だから。
- ・湖の近くの公園で展示されているが、それ以外にも街のいたるところにあり、常にサプライズがあり、とても良い。
- ・座禅。お坊さんと時間を過ごし、座禅について学びながらリラククス/リセットする素晴らしい方法。
- ・魚介類の質。それだけで日本の魚の専門の場所という売りになる。
- ・座禅。他のアクティビティのテーマになり得る。
- ・書道のワークショップ。こんな興味深い芸術を習い始めることはとても素晴らしいから。
- ・食文化。すごく良いレストランやバーが街中に集まっていて、旅行者にとって、とても良い。
- ・食事体験。Noelと明徳。スタッフがとても従事していて、私たちとその情熱を分かち合うことを喜びながらしてくれた。
- ・ときわ公園は全体として、また戻ってもっと探検したいと思える、本当に特別な場所だ。
- ・琴の工房。
- ・お寺と公園の外でした坐禅。それはとても面白い体験で、外国での旅行であちこち見て回りたいがために常に急いでいる中で、ただ止まって集中することは良かったから。茶畑。初めて見て、美しかったから。
- ・温泉。とても良いが、宇部市の観光客にとって簡単にアクセスができるのだろうか。バスがあるのかもかもしれないが。
- ・船木ウォーキングツアー。街の鼓動を足で感じて、他の観光客が見られないものをガイドのおかげで見れたことを楽しんだ。

その他

- ・ツアーの間、通訳してくれた女性たちは、素晴らしく、とても優しく、愉快だった。感謝している。

4. 課題と今後の展開

1. UBEビエンナーレに関する情報整備

- ・彫刻脇にある情報プレートの英語表記（QRコードにアクセスしなくても見れる状態）
- ・制作者の制作に至った背景や思いの情報化
- ・ウェブサイトのアクセシビリティの向上（情報経路の単純化）
- ・彫刻マップの英語化

2. 公共交通によるアクセスのしやすさ

- ・吉部地区や楠地区への山間部へのアクセス
- ・市内を気軽に移動できる「足」の確保（コミュニティサイクルなど）

3. 英語対応

- ・電話やメール、WEBサイトでの予約受付対応に慣れる、対応人員増やす
- ・英語によるウェブサイトや観光パンフレット、案内標識、メニューの用意
- ・英語ガイドの育成、対応人員を増やす

4. 観光ガイドの育成

- ・UBEビエンナーレやアートに精通したガイドの育成、対応人員を増やす
- ・宇部全域の歴史や文化、特色に詳しいガイドの育成、対応人員を増やす

5. 体験コンテンツのブラッシュアップ

- ・外国人観光客を迎える → 案内する → 課題を抽出し、次回に生かす、といった切れ目ないPDCAサイクルの実施により、満足度の高いコンテンツに

6. 情報発信

- ・WEBをはじめ、インスタグラム、メディアFAM、海外のアートガイドメディアを通じた認知活動の検討

第五回協議会（書面協議）で構成メンバーよりあがった意見

BEPPU PROJECT

「実りあるツアーだった様でとてもよかったです。」

宇部ふるさとコンパニオンの会

「座禅を組み込んでの体験は、日本人にとっても外国人にとっても、心を落ち着かせ、とても良かったと思います。また、神社の狛犬、石碑などの石造物に興味を持たれ作り方のプロセスを見てみたい、知りたい、琴や硯を作ってみたいなど外国人の考え方が分かりました。琴や硯を作る体験は難しいですが、書道体験は、是非時間をとっていただきたいです。

UBEビエンナーレ×「UBEらしさ」を掛け合わせたコンテンツは、良いと思います。UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)が、なぜ日本で一番古い歴史を持っているのか？ ...宇部の地下・海底下にあった「資源＝石炭」の燃焼による公害問題、暴力団の抗争、非行問題など～子どもたちに本物の彫刻を見せたいに発展しているからこそ、60年間ずっと続いているのだと思います。「緑と花と彫刻のまち」になったのには、ストーリーがあり、私どもは、このことを伝えております。

おもてなしゼミの方々には、もっと知識を増やしていただき、ガイドできるようちょうど5月から私どもが開講する「観光ボランティアガイド養成講座」にお誘いしました。外国人観光客にきちんとしたガイドができるようになりたいものです。」

4. アートガイドの育成について

開催内容

本事業の主役の一人である、宇部市民で構成される観光ガイドボランティアグループ、英語ボランティアグループに対し、アートガイドの育成を目的として、研修（計3回）の提供ならびに、外国人アート専門家による公開セミナー（1回）を実施した。

・ガイド研修第1回、第2回 参加者32名

実施日 2020年1月24日

10：00～12：00 アートガイド研修

13：00～15：00 外国人接遇研修

目的 UBEビエンナーレに関する知識を深めることで、アートガイドを学ぶ入口としていただくため／外国人観光客に対する接遇のコツ、ポイントを学ぶため

・ガイド研修第3回 参加者延べ21名

実施日 2020年2月27日、28日、29日

目的 ガイド研修第1回、第2回の学びを試す実地研修として、実施

・英国アートジャーナリストトム・シーモア氏による公開セミナー 受講者 12名

実施日 2020年3月1日

目的 海外で活躍する著名な専門ジャーナリストの目から見た宇部のポテンシャルを知るため、海外アートのプロモーション手法を学ぶため、アートガイドに求められるスキルが何かを知るため

※別添資料7. 「トム・シーモア氏公開セミナープレゼン資料」

第1回、第2回ガイド研修

【実施概要】

- ・ 開催日：2020年1月24日（金）
- ・ 10:00～12:00 アートガイド研修
- ・ 13:00～15:00 外国人接遇研修
- ・ 会場：ときわ湖水ホール・アートギャラリー
- ・ 参加者：宇部ふるさとコンパニオン、宇部おもてなしゼミ 計32名

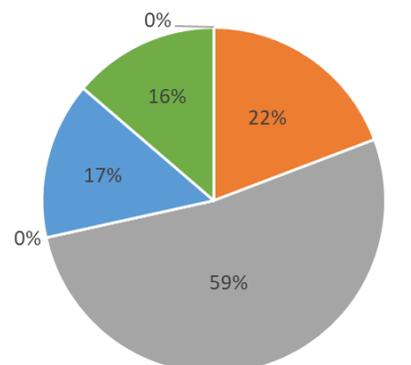
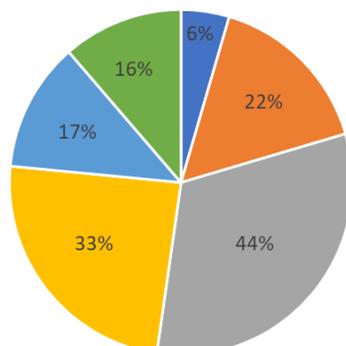
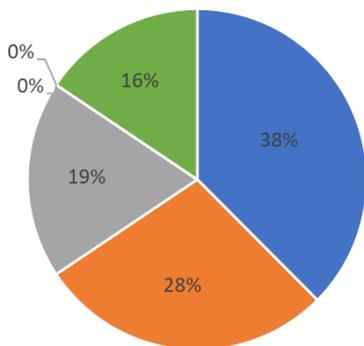
研修概要

プログラム	内容
アートガイド研修（10：00～12：00） 講師：日沼禎子氏 ときわミュージアム アートディレクター／女子美術大学 教授	<ul style="list-style-type: none"> ・ SightとTouristの違いとは ・ アートを紹介する：構成の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ↳ マニュアル化しやすい要素、言語化しにくい要素とは ・ 宇部市にとってアートとは～宇部はアートと感性のまち ・ 日沼氏とアートとの出会い <ul style="list-style-type: none"> ↳ 土屋公雄氏について ↳ アート活動歴 ↳ 海外のアートギャラリー、屋外展示の代表例の紹介 ↳ 「さいたまトリエンナーレ2016」の紹介 ・ ワークショップ「ときわ公園の彫刻鑑賞ルートを考える」 ・ グループディスカッション～グループ発表
外国人接遇研修（13：00～15：00） 講師：アマンダ・バートック氏 ライター、トラベルガイド 通訳：松本マサ代氏 （宇部市 国際政策課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の心構え ・ クイズタイム①外国人にとって有名な日本人は？ ・ ガイドの心構え <ul style="list-style-type: none"> ↳ ガイドは地元の人とのつながりが大切 ↳ 服装、持ち物 ↳ ひどい外国人だと思われぬために（マナー伝授） ・ ストーリーづくりかた ・ ビーガン、グルテンフリー、ベジタリアンの対処法 ・ クイズタイム②外国人にとってなじみのある物はどっち？ ・ 自己紹介のポイント～グループワーク「自己紹介をしよう」

参加者アンケート「アートガイド研修」

単位 表：人 グラフ：%

①講義内容の理解度		②講義の難易度		③講義の長さ	
よく理解できた	12	とても難しい	2	長すぎる	0
理解できた	9	難しい	7	長い	7
普通	6	普通	14	ちょうどよい	19
あまり理解できなかった	0	簡単	3	短い	0
全く理解できなかった	0	とても簡単	1	短すぎる	1
未回答	5	未回答	5	未回答	5



- よく理解できた
- 理解できた
- とても難しい
- 難しい
- 普通
- 長すぎる
- 長い
- ちょうどよい
- 全く理解できなかった
- あまり理解できなかった
- 簡単
- とても簡単
- 未回答
- 短い
- 短すぎる
- 未回答

④ 講義内容の中で、一番印象に残ったこと

- ・ アートの意味＝つなぎ合わせる⇒色々な感動につながる
- ・ 一人一人の感性を表現できるガイドを目指す
感性、sight彫刻の街⇒これから目指す道だと思いました
- ・ 土屋公雄との出会いから現在までの話
- ・ イギリスに渡って恩師の彫刻を森の中に探しにいき鑑賞されたこと。目的があれば相当な困難も乗り越えられることを知れた
- ・ sightseeingとtourismの関係
- ・ 『感性を刺激する』ガイドを目指す。そのために作品を触ってみる。場所や角度を変えてみる。背景（特に湖）と一緒に見る。製作中の苦労に思いを寄せること（知り得る限りのことを伝えました）等を見学時に提案しました
- ・ グライズデールフォレスト。いつか行ってみたいと思いました。土谷さんの作品も色々調べてみたいと思います
- ・ 『底流』特に作品に関心ができたこと
- ・ 自分独自の考えを持つこと（アートに対して）
- ・ 出会いを大事にする色々なことがつながってくるから
- ・ 土谷公雄先生の彫刻の話
- ・ 土谷公雄先生の『底流』作品の説明
- ・ 感性の街宇部。感性を表現できるガイド
- ・ ガイドするにも自分なりの筋道を立てるということ
- ・ 作品の見方が変わった
- ・ 私の好きな彫刻が先生と同じ底流だったこと
- ・ アートについて考えることができてよかったです
- ・ 宇部のsightは彫刻、暮らす人は感性ism（ホンマイナ？）
- ・ 土谷さんの作品についてご自身の経験も合わせてお話しされていたこと
- ・ 好きなアーティスト土谷のエピソード、イギリスまで作品を見に行った話
- ・ 彫刻をsightにする、マニュアル化しにくいものがお客様を引きつけるということ
- ・ ガイドするのに分かりやすく（見やすく）、外国人に話しをするのが良いと思った
- ・ ワークショップ、今まで気づかなかった彫刻なども知ることができたこと
- ・ アートと観光についての考え方

⑤ 研修の参加前・後での気づきや変化について

- ・ 彫刻が置かれている場所を改めて見つめ直したと思った
- ・ 今まで気づかなかった感性を大事にしようと思います
- ・ グライズデールでの体験は共感できた
- ・ 日沼先生のお話を聞きたくて参加した
- ・ 彫刻は個人個人が自由に感じて構わないことを改めて理解した
- ・ もう少し注意深く常盤公園を歩いてみたい
- ・ ガイドの仕事は暗記勝負かなと思っていましたが、自分の言葉を持つ表現力を磨くことが大事だと気付きました
- ・ ふるメンバーとのコラボなかなか味があると思う（作品の説説明など）
- ・ アートがより身近に感じられるようになった
- ・ 彫刻に対する思いや物語（考えていなかったの）
- ・ 常盤公園南のビエンナーレ等の彫刻のことをよく知ることができました
- ・ もう少し作品をよく観察してみようと思った
- ・ 改めて初心に戻った
- ・ 常盤公園を案内するコースを班ごとに考え彫刻のことを学べたので外国人が来られた時の参考になります
- ・ 参加者の平均年齢が高い
- ・ 英語圏の方に対する意識の持ち方が変わりました
- ・ 聞く人が興味を持てるような話、話し方が大切だと思いました
- ・ 彫刻一つをとっても人によって色々な感じ方、例えばガイドして勧めたいと思うものが違うということを他のグループの方の話を聞いて改めて感じた
- ・ いろんな角度から彫刻を捉えることができた
- ・ 改めて常盤公園の良さ
- ・ よりSculpture一つずつ理解したい気持ちになった
- ・ 楽しくなりそう
- ・ ユーモア溢れる講師の会話が参考になりました

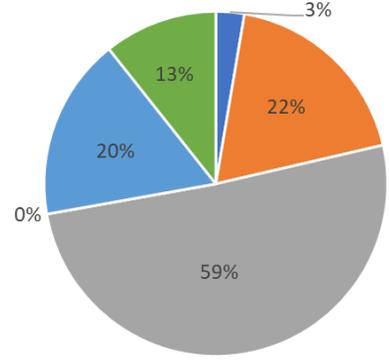
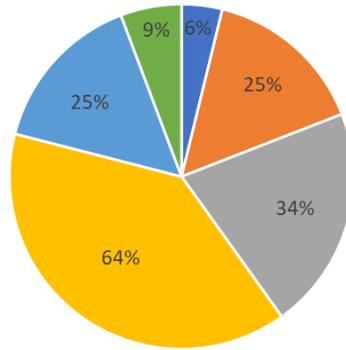
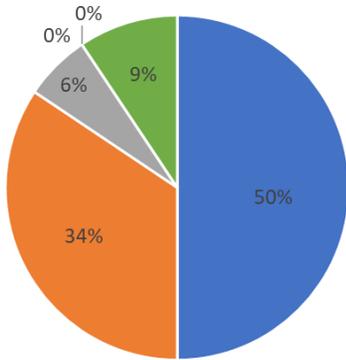
⑥ 講義内容に関する追加質問等

- ・ 最近の作品の大きさと重さに制限があると聞きました。いくらですか？
- ・ さいたまトリエンナーレの作品はその後どうなったのか？
- ・ 日沼先生は宇部の歴史文化お宝情報はどのように入手されているのか？ 宇部人（ローカル人は）とどのように接触されている？

参加者アンケート「外国人接遇研修」

単位 表：人 グラフ：%

①講義内容の理解度		②講義の難易度		③講義の長さ	
よく理解できた	16	とても難しい	2	長すぎる	1
理解できた	11	難しい	7	長い	7
普通	2	普通	14	ちょうどいい	19
あまり理解できなかった	0	簡単	3	短い	0
全く理解できなかった	0	とても簡単	1	短すぎる	1
未回答	3	未回答	5	未回答	4



- よく理解できた
- 理解できた
- 普通
- あまり理解できなかった
- 全く理解できなかった
- 未回答
- とても難しい
- 難しい
- 普通
- 簡単
- とても簡単
- 未回答
- 長すぎる
- 長い
- ちょうどいい
- 短い
- 短すぎる
- 未回答

④講義内容の中で、一番印象に残ったこと

- ・グループワーク
- ・辛抱強くガイドする
- ・日本人と外国人とではよく知っている有名人が違うことがある。このことは重要なので日頃から勉強しておく必要あり
- ・色々なコツがガイドにはあるということ
- ・外国人もひどい外国人と思われたくないと思っている⇒教えてあげる
- ・アレルギーの話
- ・外国人の知っているもの知らないもの、巻き寿司握り寿司など自分の予想と違う答えにびっくりしました
- ・深い話をしない（歴史の説明）。時間が大切（後の予定がある場合がある）
- ・外国人の知りたいこと知るべきこと（日本での）等、学んだり気を使う点など改めて考えさせられた（バンドエイド持参とかハンカチ小銭）ガイドとして必要な準備
- ・海外の方が知らないことを教えてあげること等詳細に教えてもらえた
- ・外国の方にとって知らないことを知ることが大事、自分が紹介する物（事）が好きであることが大事
- ・MANDYさんの自信を持ったレクチャー
- ・STORYを語ること
- ・ガイドはシンプルに一箇所10分以内、予定時間を知らせておく
- ・ネイティブの方の話し方が聞いてよかった
- ・時間を守ることを強調された

- ・外国人の40～50代以下の人は箸が使えることを知りませんでした
- ・ガイドにとって必要なこと（方向感覚ユーモア）
- ・ガイドの経験のない私との違いがたくさんあることに気づいた
- ・子供達を案内する時クイズゲームにすると楽しい。惹きつける話し方が大切
- ・外国人のお客様に対して準備するもの（こと）、日本や宇部のことを知ってもらう興味を持ってもらうための工夫。今まで日本人を相手にガイドしていたのであまり考えたことがなかったから
- ・おしぼりが珍しいなど確かに言われてみればそうかも
- ・アレルギーの話が良かった
- ・世界で有名な日本人、日本人の認識と外国では違う
- ・Dont be shy!

⑤研修の参加前・後での気づきや変化について

- ・ガイドの心得がもっとよくわかりました
- ・英語でガイドできるようになりたいと思います
- ・漠然と外国人と接する時に知っていたことが今回の講義で改めて明確に理解できた
- ・基本的には日本人にガイドする場合と同じということがわかった
- ・先生の2種類のストーリーテリングを見て、話し方・身振り手振りは本当に大事と思いました
- ・長いガイドの時ハンケチを差し上げる
- ・ガイドの仕方心を込めて具体的にジェスチャーを添えて楽しくユーモアを持って
- ・とにかく面白かった
- ・上を意識することが変わったこと
- ・ガイドは難しいです
- ・ガイドをするときの心構えがより深まった
- ・外国の方にとって知らないこと自分が紹介することを好きであることを意識することが変わったこと
- ・スペシャリティを持った講師の話は素晴らしかった
- ・外人から見た有名人、他の箇所と比較しないことが大切、宇部は宇部！ときわ湖は東洋のレマン湖と紹介しない
- ・知識を幅広く吸収しておかなくてはならない
- ・ユーモアがあって面白いガイドをすることを学ぶ
- ・とても楽しかったです
- ・英語の上手な人が多いですね
- ・文化の違いははっきり伝えてマナーを守りながら楽しむのが大切だと思いました
- ・ガイドする方に対する準備
- ・ガイドとしての気づきや準備すべきことが理解できた
- ・ガイドとしての心構えや予定をいうことによってキープタイムしてくれること
- ・日本での認識と外国とは違う
- ・様々なことが必要だということがわかった
- ・Became interesting!! I don't afraid.

⑥全体の進め方について

- ・ツアーガイドにとっての必須参考になりました
- ・1日だけでは消化できないと思った
- ・ちょうど良い内容でした
- ・ユーモアたっぷりに色々教えていただいたり分かりやすかった
- ・非常によかった
- ・good (ごっぼうえかった宇部弁)
- ・お話はとても良かったが演習の時間がもう少し多くても良かった
- ・もう少しワークショップが長くても良かった
- ・よかったがワークショップがもっと欲しかった
- ・時間が短すぎたと思った
- ・ちょうど良い
- ・It's good, it's appropriate.

⑦全体を通しての質問や要望

- ・このような機会がまたあることを希望します
- ・宇部で組織的なガイドの需要があるか心配
- ・英語での研修勉強になりました
- ・講師が明るく楽しい人だったのでリラックスして受講できた
- ・機会を与えていただきありがとうございました
- ・クイズ等を混ぜたり楽しかったのでまたやってほしい
- ・松本さんが名通訳だった
- ・参加させていただきありがとうございました
- ・とても楽しく学べました。このような機会があればまた参加したいです
- ・時間的余裕がもう少しあれば

研修の様子



2020年1月24日

欧米豪旅行客を対象とした
観光ガイド研修テキスト

山口県宇部市

講師 AMANDA BARTOK

監修 SANDRA ISAKA
リベルタ株式会社

研修資料

1. 外国人旅行者へのガイディングー 「文化の違い」

- (1) 名前は「単純」に、外国人が名前を言う時の順番「名→氏の順」で表現を。
日本人：氏→名
外国人：名→氏
例) 徳川 家康→「家康 徳川」
- (2) 多くの外国人旅行者は、日本の歴史や日本の有名人をほとんど知らない。
小学生に話すように、基本的な説明ができるよう準備を。
例) 徳川家康
徳川家康は大名でしたが、1600年に天下統一を果たし将軍となった。彼の子孫は250年以上にわたり将軍として日本を治め、徳川の時代が続いた。
- (3) 特に初めて日本を訪れる外国人旅行者にとって、深く詳細な歴史の話は必要ではない。
もし、グループの中に他の人よりも日本の歴史を良く知り、興味関心の高い人がいる場合、「グループ全体ではなく、その個人に」深い話をするのがポイント。
- (4) 多くの外国人観光客は、「日本独特の文化や風習についての正しい作法」を知りたい。
それは、ガイド自身ならびに所属する団体等が好印象となる大切なポイント。
日本の規則や礼儀作法を伝えること。
例) 日本独特の文化や風習
- ・どのように神社に入るのか
 - ・神社や寺でどのように身を清めるのか
 - ・建物に入る際、どのように靴を脱ぐのか
 - ・大きな声で話さない
 - ・食べ歩きをしない など。

* 外国人旅行者にとっては「知らないこと」、すなわち、ガイドが「説明すること」が大事。

- (5) 多くの外国人旅行者（他文化圏）は、時間厳守を日頃は重要視していない。
そのため、ガイドはこうした旅行者へ適切に指示し、正確な時間通りに案内することが大切。
- 例) 博物館やレストランなどの予約がある場合
なぜ時間通りに動く必要があるのかを、グループに対し、まず説明すること。
そのうえで、スケジュール通りに行動するよう誘導すること。
- 例) 複数のペアや個人で一つのグループを形成している場合
もし、あなたの率いるグループの参加者がお互いを知らなければ、ツアー開始時に互いに自己紹介をする時間を設けること。ツアー参加者が集合場所に来ない、あるいは参加者の一部が遅れたりすることは、他のメンバーにとって良いことではない。
- (6) 臨機応変さは、外国人への「おもてなし」のとても大切な事項の一つ。
- 例) コースの再構成
もし、4人の家族を案内中に彼らがある観光地をもっと長く見学したい場合、状況に応じてスケジュールを再構成することが大切。
- (7) 食事への配慮
多くの外国人は食べ物の好き嫌いで特別な要求がある。可能であれば、事前にそれらの情報を入手すること。そのような要求を臨機応変に対応してくれるレストランとの関係を築いていくことが大切（食事のご案内をする場合）。

(8) 宗教の違いについて

外国人によっては、宗教の強い信仰を持ち、他の宗教のことを受け入れない人もいる。以下のようなことは、全ての訪問者に課せられた作法であることをお伝えしましょう。

例) 神社仏閣での作法

①必ず守ること

- ・入るとき、出るときにお辞儀をすること
- ・神社では参道の中央を歩かないこと
- ・社寺に入る際に身を清めること など。

②個々の判断に任せること

- ・お賽銭を入れること
- ・祈ること
- ・絵馬に願いごとを書いて奉納すること

* 宗教的な行為なので、必須の作法・行為ではない。

2. ガイド中に大切なこと - 素晴らしいガイドを行うためには

(1) 個々のニーズや興味関心を知る。

可能であれば、参加対象者と事前にコンタクトを取ることが大事。まずは自身のことを紹介し、相手がどのようなことを求め、期待しているのかを知ること。

* 興味対象を聞いてみる：美術、音楽、食べ物、歴史など。

このような事前情報にあわせた対応をとると、お客様にとってより価値のあるツアーを提供できる。また、事前状況を把握することで、ガイド自身も準備ができる。

(2) ツアーの開始場所：ゆったりでき、静かな場所で。

* ツアー開始時

力強く、自信を持って、はっきりとした声で相手を見ながら話す。

a. お客様を歓迎する挨拶

- ・
- ・
- ・

b. 自己紹介

入ると良い事項

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

c. 簡単なコース概要、スケジュールの説明、決まりごと

d. お客様の簡単な自己紹介- もし事前に彼らの情報が入手できなかった場合、なぜ日本を訪れたのか、興味は何なのかを伺う

* 補足説明・注意点：ツアー中に想定される「決まりごと」

- ・もし、私の説明を聞きたければ、そばにいてください
- ・神聖な場所では、声の大きさに配慮ください など。

→グループを静かにさせること（指示）を恐れない。彼らは、こうした注意点を知らなければならない。

研修資料

(3) ツアー中

- a. 常に時間を守る
- b. 予定を伝えることにより参加者は各地でどれくらいの時間があるのかを知ることができる
 - ・グループが複数参加者の組み合わせの場合：遅い人達にあわせるのではなく、スケジュール通りに動く。参加者は、「一団体」でなくてはならない。
 - ・臨機応変であるべき：一か所で時間を延ばせば、他のところを見られなくなる可能性や状況を伝えなくてはならない。
- c. 説明をする際、その「対象物ではなく、参加者」を見ながら話をする
- d. 同じところに8-10分以上立ち止まらない
- e. 観光場所の基本的な歴史、文化背景を伝える
- f. 歴史等の説明を深く話し過ぎない
- g. 可能であれば、日本人の名前を単純にする
- h. ツアーをよりユニークで特別なものにするため、ガイドがその場所へ熱意を持つ
- i. 世界の他の有名な場所との対比をしない

例) 熱海は日本のモナコ

→しかし、有名人との対比をすることは理解を助ける

例) 鼠小僧は、ロビンフッドに似ている

- j. 個性的な要素を取り入れる
 - ・その土地に暮らす人を知っていますか？
 - ・お店の店員や、お寺の僧侶を個人的に知っていますか？
- k. 地元のお話、伝説、神話を知っていますか？
 - ・感情を込めて話すこと
 - ・腕の動き、声の強さ、顔の表情を使う
 - ・ツアー参加者に子どもがいるときは、情報を伝える前に「クイズ」を出すと良い

例：「世界には何種類の竹があるでしょう？」と竹林へ行く前に聞いてみる

- l. お手洗い休憩を取ること
- m. コーヒー/お茶休憩の時間を取ること
- n. あなたのお気に入りのお土産、地元の食べ物、スナック、飲み物などを紹介する

* 失敗を恐れないこと

→もし、その場で何かわからなければ、「後でお伝えします」と伝えれば良い。

* 大人数のグループ

→ 2, 3名ずつの小さなグループに分ける。

人数確認をする際には、各グループで全員揃っているかを確認する。

(4) ツアーの終わり:

- a. 時間超過をしない- 常に時間通りに終了する
- b. 参加してくださったことに感謝し、またの参加を楽しみにしていると伝える
- c. 可能であれば、滞在中に行ける他のアクティビティ、お勧めの場所を伝える

(5) さらに喜ばれるポイント

- a. 何か「日本の物」を身につける
- b. 皆で日本的な物を身に着けられれば、なお良し
- c. 初めて日本に来る人には、日本語の小さな「カンニングペーパー」を用意する。
彼らがそれらの言葉を使う手助けをする
- d. 全ての参加者にツアー行程と訪れる場所を記した地図を配る
- e. そのエリアの英語のパンフレットを全ての参加者に配る
- f. ツアー中、その地元の飴やお菓子を配る

(6) 持参するとよいもの

- a. 基本的な救急箱（バンドエイドなど）
- b. 小さなタオル
- c. たくさんの小銭や1000円札
- d. 筆記用具
- e. 日焼け止め、虫除け、かゆみ止めなど
- f. 資料を整理するためのクリアファイル

3. ガイドとは……

- a. 辛抱強く
- b. 「難しい」人とうまくやれる
→ ツアーを乱しそうな人から他の人を守る
- c. 共感できる：参加者に注意を払う
→ 疲れている、喉が渇いている、などの参加者の状態にいち早く気づく。
- d. 活気に満ちている
- e. ポジティブ
- f. 観察力があり、話を注意深く聞く
- g. 時間を守る
- h. 整然さ
→ ツアーは計画性を持ち、無駄なく努力を要さないようにみえるべき
- i. 惹きつける
→ 楽しく知識を共有する。 ※年号と何が起こったのかだけを繰り返さないように
- j. 臨機応変 - 予定無き挑戦や変更に対応する
- k. 地元、もしくは最低でもその境界をととても良く知っているべき
- l. 知識 - 歴史、地理、文化、伝統などについて、深い理解がある
- m. 目に付く建物を紹介できる
→ そのが地元という人達の話を紹介する。目に付く自然や植物などを紹介し、その土地ならではの食べ物や飲み物の説明をする
- n. 常に学ぶ

ガイドにとって必須なことは……

- o. 方向感覚が良い
- p. ユーモアがある

最高のガイドとは

単に豊富な知識がある人やユーモアのある人のことではない。直感的に、特別なことや予期していなかったことへ対応できる人のことである。

一番印象に残るガイドは、その仕事を愛し、そこから個性が光る人のことである。

4. ストーリーテリングの技法 - どのようにお話を伝えるのか

(1) 聞く人の注目を集める

ストーリーを紹介するのに、わかりやすい形容詞を使う。

“なぜ、「圧倒的な」規模にUBEビエンナーレが至ったのかを話します” と言ったほうが、“UBEビエンナーレがスタートした経緯を話します” と言うよりも好奇心をそそる。

研修資料

(2) ムードを作る

語るときの声のトーンの違いは、聴衆に大きな影響を及ぼす。

- a. 単調な声でとりとめもなく話さない
- b. 参加者とアイコンタクトをとる
- c. ハンドジェスチャーを使う
→そうすることにより話の流れが生まれ、登場人物が動き出す
- d. 声に意味を持たせる
→その話の登場人物によって、声のトーンを変えるべき

(3) 想像してもらう

口語により物語を語る際、観客に想像力が求められる。参加し、思い浮かべてもらう。物語を話す前に、何が起きたと思うか聞いてみるのも良い。目をつぶって聞いてもらう。

(4) カジュアルで、いつも使う話し言葉を使う

あなたが何を話しているのか聴衆が理解できなければ、彼らの興味を失ってしまう。

*もしその話を練習し、感情を込めて読むことができるのであれば、その物語を紙を見ながら話すのは問題ない。

5. ツアー参加者と英語で話すコツ

1. しっかりと、自信のある声で話す
2. ポジティブに、笑顔で
3. アイコンタクトを取る
4. 間違いを恐れないこと。最終目的はメッセージを伝えることであり、完璧な文法や語彙を使うことではない
5. 自身の英語能力を謝らないように。そうすることにより多くの人を心地悪くさせてしまう。
6. 話す経験を積めば積むほど、よく話せるようになる
7. お客様が話す英語の理解が困難であれば、「すみません。わかりませんので、ゆっくりともっと簡単な語彙を使っていただけますか？」と聞くこと
8. 自分の理解力を増すためにも、自分が会話をコントロールする
9. ツアーを進める際、日本語の単語を教え、それらを参加者が使うことを勧める
10. ツアーで多く使うであろう単語やフレーズのリストを日本語で作る。それを（可能であればそれを母国語の人にチェックしてもらい）英語に訳しておく。それらの単語やフレーズを自然に使えるようになるまで、何度も練習する
11. 伝えたい情報を話すには難しすぎる場合は、英語のハンドアウトを作り、参加者に自分で読んでもらう

*英語を上達させるコツ

通常の勉強に加え・・・

1. 練習あるのみ。既にお伝えしたように、喋れば喋るほど、上達する
2. 歌詞を読みながら英語の歌を聴く。そして、一緒に歌う
3. 英語で、英語のテレビ番組を観ること。特に、NHKワールド、アメリカのホームコメディやドラマ（例：大草原の小さな家）、料理番組、YouTubeの旅行番組など

研修資料

- もし子どもがいれば、彼らと英語で話す練習をすること。少なくとも週に一度、「英語で話す時間」を作る。これは、配偶者や友だちとでもできる。
- 英語で催行されるツアーに参加してみる。ガイドが何を話し、何をしているのかから学ぶ。

6. ツアーガイド： 基本の英語

①宇部の観光地

ときわ公園	Tokiwa park
ときわアートミュージアム	Tokiwa Art Museum
UBEビエンナーレの丘	UBE Biennale Hill
ときわ湖	Tokiwa Lake
ぼたん苑	Peony Garden
憩いの家	Rest house
宗隣寺	Sorinji Temple
龍心庭	Ryushin garden
赤間硯の里	Village of Akama inkstone
永山本家酒造所	Nagayama brewery
宿場町／江戸時代に宿場町として栄えた	Post town / Prospered as a post town during the Edo period
たましげ琴製作所	Tamashige Japanese harp (known as koto) factory
楠こもれびの郷	Village of Kusunoki Rest Area
温泉	Onsen / Hot Spring
農家レストラン	farmer's restaurant
旧吉部小学校	Former Kibe Elementary School
廃校	Unused School

②宇部の名産、関連のある用語

緑と花と彫刻のまち	A City of Greenery, Flowers and Sculptures
産業の街、工業の街	Industrial city
公害問題	Pollution problem
灌漑	Irrigation
坐禅	Zen meditation
精神統一	Spiritual unity
伝統家屋	Traditional Japanese House
小野茶	Ono tea
赤間硯	Akama stone (Akama inkstone)
習字	Japanese calligraphy penmanship
岩戸神楽舞	Iwato kagura / Maiodori (sacred music and dancing [performed] at shrines)

メモ

研修資料

③ガイド時に知っているるとよい形容詞

amazing 素晴らしい
ancient 古代的な
attractive 魅力的な

beautiful 美しい
breath-taking 息を飲む
busy 忙しい

cosmopolitan 世界的な
creepy 身の毛のよだつような
crowded 混み合った

dangerous 危険な
dazzling 眩しい
delightful 楽しい
depressing 気の滅入るような
deserted 寂れた
devastating ひどい
distinctive 特色のある
dramatic 劇的な
dull 冴えない

elegant 上品な
enchanting 魅力的な
enormous 巨大な
exceptional 例外的な
exciting わくわくする

fascinating 魅惑的な
famous 有名な
fantastic 幻想的な

gorgeous 豪華な

historic 歴史的な
huge 巨大な
* enormousとの違い:

impressive 印象的な
incredible 信じられない
infamous 悪名高い
interesting 面白い
isolated 孤立した

lovely 素敵な
magical 魔法のような
magnificent 壮大な
modern 現代的な

mystical 神秘的な

natural 自然な
noisy うるさい

peaceful 平和な
picturesque 絵のような
popular 人気の

quaint 古風な

relaxing くつろがせる
remote 遠い

romantic ロマンティックな
rural 田舎の,

scenic 眺めの良い
sensational 人騒がせな
slow-paced ゆったりとした
spacious 雄大な
strange 奇妙な
stunning 素晴らしい,

thrilling わくわくさせる
tiny 小さな
traditional 伝統的な
tranquil 穏やかな

unforgettable 忘れられない
unique ユニークな
unusual 普通でない

④基本的なルール/礼儀作法（エチケット）

Photos are not allowed inside the museum.
博物館内での写真撮影は禁止です

Photos of the garden are ok.
庭での写真撮影は許可されています

Please do not eat or drink while walking.
食べ歩きをしないでください

Please stay on the marked path.
歩道を歩いてください

Please keep your voices down within the temple.
お寺では、声の大きさを落としてください

Please speak more quietly.
もっと静かにして下さい

You will have some free time after lunch. Please meet back here at 5pm.
昼食の後、自由時間があります。ここで午後5時に再集合してください

Please pay attention to the time. We must leave at 5pm sharp.
時間厳守をお願いします。午後5時にここを出発する必要があります

Please walk on the left side.
左側を歩いてください

Please do not feed/touch the animals/birds.
動物や鳥に餌を与えたり触ったりしないでください

We must take off our shoes here.
ここで靴を脱ぐ必要があります

When removing your shoes, do not touch your socks/feet to the ground.
靴を脱ぐとき、靴下や足を地面に着けないでください

Do not wear slippers on the tatami.
畳の上はスリッパをはかないでください

Always step over the threshold (of shrines & temples), not on them.
神社やお寺で、敷居はまたいで、その上にはのらないでください

Please take off your hat/sunglasses before we enter.
入る前に、帽子やサングラスは取ってください

参考：英語を上達させたいツアーガイドに役立つサイト

* ガイドに必要な英単語：

<https://www.englishclub.com/english-for-work/tour-guide-vocabulary.htm>

* ガイドに必要な受け答え：

<https://www.englishclub.com/english-for-work/tour-guide-answering-questions.htm>

* ガイドに必要な安全、規則、礼儀作法の説明方法：

<https://www.englishclub.com/english-for-work/tour-guide-safety.htm>

* ガイドのための興味ある場所の見せ方：

<https://www.englishclub.com/english-for-work/tour-guide-interest.htm>

* ガイドのための英語のクイズ：

https://www.englishformyjob.com/ell_traveltourism.html

第3回ガイド研修（実地研修）

【実地研修 実施概要】

実施日：2020年2月27日（木）・28日（金）・29日（土） 二泊三日

場 所：宇部市内

参加者：宇部ふるさとコンパニオン、宇部おもてなしゼミ
27日（木）12名、28日（金）6名、29日（土）3名 延べ21名参加

【公開セミナー 実施概要】

実施日：2020年3月1日（日）10：00～11：30

場 所：宇部市役所 第一会議室

講 師：トム・シーモア **Tom Seymour**

アートジャーナリスト／アートコンサルタント／
トラベルアート専門家

各専門誌に精力的に執筆。有名ブランドのイメージ戦略をプロデュースする等、各方面で活躍している。プロデュースした写真展は、各専門誌で特集された。世界から注目される専門家の一。

参加者：宇部ふるさとコンパニオン、宇部おもてなしゼミ 計12名



研修の様子



欧米豪旅行客向け観光ガイド養成研修のご案内

令和2年2月14日

「宇部ふるさとコンパニオン」の皆様
宇部志立市民大学「おもてなしゼミ」の皆様

2月27日(木)・28日(金)・29日(土)開催 欧米豪旅行客を対象とした観光ガイド養成研修実地研修

3月1日(日)、外国人専門家によるアートガイド公開セミナーも行います

先日は、お忙しいなか、ガイド養成研修にご参加くださり、ありがとうございました。
皆さまにとって、研修の場がアートや外国人接客に関するガイド知識を広げるきっかけにつながりますと幸いです。

さて、当日の研修時にご案内申し上げたとおり、**2月27日(木)～29日(土)の日程でガイド実地研修を行います。**本研修は、海外6か国から招く旅行会社のパイヤー、商品開発担当者(計6名)を、実際に市内を案内することで、研修成果をおさらいすることが目的です。

実地研修には、宇部志立市民大学「おもてなしゼミ」講師 松本マサ代氏も全行程同行いたします。「自分の英語が伝わるのだろうか」「外国の方どう接すればよいのだろうか」「宇部をどのように紹介すればよいのだろうか」とご不安に感じられる方も、松本氏のサポートのもと安心してご参加いただけます。「ガイドの雰囲気や様子を知りたい」という方は、見学のみのご参加も受け付けております。

なお、**研修翌日の3月1日(日)には、イギリス人アートジャーナリスト トム・シーモア氏によるアートガイドに関する公開セミナーも実施**します。※通訳を介し、皆さまにお話ししますつきましては、研修の総仕上げの場として、両プログラムのご参加をぜひご検討ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【実地研修】

日時：令和2年2月27日(木)・28日(金)・29日(土)

場所：宇部市内各地 ※詳細は、次ページをご参照ください

- ・希望者の多いコンテンツは、参加人数を調整させていただく場合があります。予めご了承ください。
- ・現地までの移動交通費、駐車場料金、食事代、温泉入浴料は、ご参加者の負担となります。見学科等のご負担はありません。

【公開セミナー】

日時：令和2年3月1日(日) 10:00～11:30

場所：宇部市役所 第二会議室

英国人アートジャーナリスト、トム・シーモア氏による、公開セミナー。欧米のアートツーリズムに関するレクチャーをはじめ、トム自身が実際に宇部を歩いて感じた、宇部の観光資源としての魅力やUBEピエンナーレのポテンシャルを語ります。

トム・シーモア Tom Seymour

アートジャーナリスト、アートコンサルタント、トラベルアート専門家。

さまざまな専門誌に精力的に執筆。有名ブランドのイメージ戦略をプロデュースする等、各方面で活躍。プロデュースした写真展は、各専門誌で特集された。

世界から注目される専門家の一人。



※参加ご希望の方は、以下必要事項をご記入のうえ、ファクス（FAX. 03-6265-3394）をお送りください。メールでのお申し込みの場合は「参加希望コンテンツ名」と「お名前」を記入のうえ、info@heartlandjapan.com までご送信ください。

締め切り

2月24日（月・祝）必着

お名前 _____

当日の連絡先 _____

メールアドレス _____

※当日のご案内や現地でのやり取りが必要となります。必ずご記入ください。

参加ご希望のコンテンツの「参加希望」欄に○を付けてください。
見学希望の方は「見」とご記入ください。（いずれも複数選択可能）

日にち	時間 (予定)	場所	コンテンツ 求めるガイド内容	参加 希望
2/27 (木)	13:30～ 15:40	宗隣禅寺～ ときわ公園	坐禅体験（宗隣禅寺）・龍心庭散策、坐禅体験（ビエンナーレの丘）、ぼたん苑見学、彫刻鑑賞 宗隣寺、龍心庭に関する説明、坐禅の説明に対する通訳、ときわ公園の説明、ぼたん苑の説明、彫刻ガイド、移動などのアナウンス等	
2/28 (金)	9:20～ 11:30	山口茶業	茶畑見学～小野茶試飲 茶畑の案内、小野茶の説明、山口茶業ご担当者の説明に対する通訳、移動などのアナウンス等	
	11:50～ 14:00	楠こもれびの郷	農家レストラン、温泉体験 農家レストランの成り立ち、オーダー方法の説明、食材やメニューの説明、温泉や入浴作法の説明、移動などのアナウンス等	
	14:30～ 17:00	船木エリア	宿場町散策、彫刻鑑賞、たましげ琴製作所見学、琴の演奏体験 宇部市の歴史や特色に関する説明、宿場を中心とするエリアのアテンド、彫刻ガイド、たましげ琴製作所の方の説明に対する通訳、演奏体験のサポート	
2/29 (土)	10:00～ 12:30	永山本家酒造	酒蔵見学、岩戸神楽舞鑑賞、試飲、昼食会 永山本家酒造の方の説明に対する通訳、岩戸神楽舞の説明、食材、お酒の説明、移動などのアナウンス等	
	13:40～ 15:30	赤間硯の里	赤間硯の工房見学、赤間硯を使った書道体験 赤間硯の歴史や製作工程の説明、書道体験のサポート、移動などのアナウンス等	
3/1 (日)	10:00～ 11:30	宇部市役所 第二会議室	イギリス人アートジャーナリスト トム・シーモア氏による公開セミナー ※実地研修ではなく、座学の講座になります。	

実地研修に対する希望がありましたら、お聞かせください。

FAX 送信先：03-6265-3394（リベルタ株式会社宛て）

・本研修に関するお問い合わせ先

リベルタ株式会社（ハートランドジャパン）担当：香川（カガワ） TEL. 03-6265-3294

参加者アンケート

①一番印象に残った内容とその理由

【たましげ琴製作所】

- ・よくもあそこまで工場内を見せていただきました。琴の体験や色々な質問があって勉強になりました

【坐禅体験】

- ・ただ訪問するだけより、お寺の方から説明を聞く機会、建物内部をじっくり見る機会、坐禅（日本文化）を体験する機会があることで、より深い日本らしさを紹介できたと思います
- ・初めての体験でした。ご住職さんから説明を受け、無の境地に入る、調身、調息、調心、背筋が伸び雑念が消え、とても穏やかな気持ちになりました。外国の人にとっても新鮮な味わいになると思いました
- ・正しい姿勢、呼吸、目線を僧侶から直接聞けて感動したし、しかも英語での解釈にも触れることができた

②研修の参加前・後での気づきや変化について

- ・関心興味が一人ひとり違うので、見るスピードも違って、グループをまとめるのが大変だと思いました
- ・英語を通じてコミュニケーションできたことは大きな喜びでした
- ・外国人と話すのは大変だろうと思っていたが、今回の人たちはフレンドリーで話しやすかった。とにかく話してみることの重要性を改めて感じた
- ・とにかく慣れることだと思いました
- ・まだまだ自分が勉強不足であることを実感した

③どういう点を意識すれば、良いガイドができると感じたか

- ・相手に興味や関心を把握して説明できれば良いと思った
- ・グループを引っ張るリーダーシップ的な要素も必要だと感じました
- ・相手の興味を知り、それに寄り添えるように出来たらよいと思います
- ・ガイドすべき内容の習熟が大切と感じました
- ・英語で説明するのが難しいものもありますが、自信を持って話すことが大切だと思いました
- ・ボキャブラリーを増やし、英語を話す機会を意識して持つことが大事で、外国人に対しても追うことなく話しかけ、会話を継続する意思が重要
- ・ガイドのスキルアップが一番だと思います

④ガイドマニュアルに対する改良のアイデア

- ・日本語の説明文と英語の説明文の文字のフォントや大きさなどを変えたり、間隔を取ったりしたら見やすいのでは
- ・もう少し大きな字で印刷していただけるとありがたいです
- ・このような英語と日本語のかなり突っ込んだ観光ガイドマニュアルが作成されたことは素晴らしいが、内容を議論する場があるとなおよいと思います
- ・宇部の名所、ときわ公園や宗隣禅寺、坐禅について、彫刻ガイドの説明も分かりやすく書かれていました。彫刻のいきさつの説明を加えてほしい
- ・各所の住所、電話番号、HPなどを付記してほしい

⑤全体を通しての感想や意見

- ・研修の案内時、行程以外にも集合時間、場所、移動手段等の案内があると良いと思いました。人数が多かったのでスタッフの方は名札を着用されたら良いかと思いました。どなたがスタッフ、ボランティアなのか分かりづらかったです
- ・2/27だけの参加でしたが、とても満足した時間を過ごすことができました。宇部の発展のためにも、こんな機会を増やしてほしい
- ・スタッフの方、リベルタの皆さん、大変お世話になりました。楽しかったです
- ・英語で聞いたり話したりするには経験が必要で、話す場合には自分の考えを整理することが特に重要
- ・貴重な経験をさせていただきました
- ・英語でガイドすることに興味があっても参加しましたが、素晴らしい機会だったにも関わらず、あまり積極にご案内することができませんでした。自信を持ってご案内できるよう、しっかり準備することが大事だと思いました
- ・これからもっと勉強したいと思います。英語の勉強を特に頑張りたいと思います

トム・シーモア氏講演内容（要旨）

自己紹介

10年くらいアート専門のジャーナリストとして活動している。NYや欧州のメディアに寄稿している。仕事柄、世界中のアートに触れる機会が多い。普段は、ロンドンで生活しており、日々忙しくしているが、その一方でインスピレーション（刺激）を常に探している。宇部滞在中も、インスピレーションをもらえる場所がたくさんあった。今回は、欧米人の視点で宇部について語りたい。



宇部のポテンシャルについて

宇部は、市中にアートが存在している。皆さんも子どものころからこれらに触れて育っている。すでに人生の中にアートが存在しているのに、大人になるとそれらに気づくことが少なくなってしまう。しかし、宇部にはたくさんの職人やアートが存在する。気づけば、それらにもう一度触れることができる。

宇部は、なかなか見かけないビエンナーレのスタイル（公園の中にある）のように感じている。周辺には日本の伝統を感じられるところ多く、魅力に富んでいる。

- ・宇部は職人技を感じられる料理を味わうことができる。
- ・アートを見るだけでなく、自分にとってのアートを再発見することができる。
- ・ロンドンでも書道は体験できる。しかし、宇部なら書き方を学ぶだけでなく、書家から伝統や作り方なども学ぶこともできる。
- ・たくさんの彫刻も印象的だ。作品紹介の看板もあり、QRコードもある。でも、観光客はWi-Fiがない。もっと知りたいのに、それらに触れられないのは残念だ。であれば、ガイドから十分な説明を受けたい。
- ・作家のバックグラウンドも知りたい。その説明を提供しないことには、観光客に何を見て感じてほしいのかは伝わらない。
- ・僕は、FAMの2日前（※計5日間滞在）に宇部に入り、ときわ公園を3~4時間かけて歩きながらアートを見たり、ガイドなしで市内を歩いたりもした。そのなかでいろいろな彫刻を見た。そこで僕は、寺や神社にもアートがあることを感じた。狛犬も家の欄間もまるでアートのような。狛犬が口に球をくわえているが、これは職人が自分のスキルを誇示したいからだと聞いた。石

碑にどうやって文字を刻むのかなど、そういったスキルのバックグラウンドを知りたい。これらについても語れる（伝統からモダンアートまで説明できる）ガイドがいればいいのと思った。

- ・宇部には、モダンだけではなく、伝統もある。これらたくさんの資産をうまく料理して、宇部だからこその観光の提案方法を模索したい。
- ・石：赤間硯の工房で、すずりの製作体験ができるといい。
- ・木：琴の製作ができれば、石とはまた違う体験になる。
- ・書道：とても刺激的な体験だった。上達したい、もっと長い時間体験したいと思った。
- ・世界のいろいろな場所でさまざまな食に触れる機会があるが、宇部の食はそのなかでも良いレベルにあると思う。
- ・酒、茶：ただ試飲するだけではなく、その作り方も学びたい（プロセス）。
- ・自然：市民がていねいにケアをしている印象を受けた。ときわ動物園にも立ち寄ったが、自然に近い環境で飼育している点は非常に良いと感じた。
- ・座禅：メディテーションというコンセプトは、4日間ずっと心に残っていた。
- ・寺：インテリア的にも美しい。
- ・小野湖など：自然の景色で穏やかな気持ちを感じた。温泉でも心が穏やかになった。
- ・スナック：楽しかった。

観光資源として活用していくには

観光客の誘致で大事なものは、情報の量と質である。先ほども話したとおり、アートガイドがQRコードでは不十分。WEBサイトも見たが、英語の情報が足りない。WEBサイトは、アートに特化したしっかりとしたものが必要だ。情報にいかにか簡単にアクセスでき、便利に利用できるのか（写真がDLできるなど）も重要だ。

宇部ビエンナーレに関しては、第1回からの進化のプロセスなど、その歴史を知りたいと思った。

宇部周辺には多くのスタジオや工房があるので、そこにアーティストを連れていくのも良い。

宇宙人が残していったような作品（STAR FISHERMAN/Leonardo CUMBO）が気になった。製造工程を見たかった。

SNSの活用について

インスタグラムに投資する価値はあると思う。世界中のアーティストを宇部に呼ぶことは価値がある。

展示会をするだけでなく、一緒に宇部に関する写真をインスタグラムに載せてほしいと依頼すれば、宇部市のプロモーションにもなる。アーティスト自身、フォロワーを多く擁しているのだから、拡散力がある。アーティストと繋がる機会にもなる。

同じ彫刻であっても、撮影する季節や時間によって印象が変わる。また、彫刻に限定せず、たとえば周辺の飲食店の情報などを載せてもいい。

ハッシュタグはシンプルがいい。「#アート宇部」など。ジオタグ（位置情報）を使うといい。

プロモーションについて

ターゲットにしたい国があるなら、その国の雑誌に連絡して情報を載せることが一番。

ヨーロッパやアメリカの気になるアーティストがいるのなら、僕に言ってもらえれば呼ぶことができる。

自分の生まれた町は工業都市。スペインには、チリーダ（Eduardo Chillida：エドゥアルド・チリーダ）というアーティストがいるが、彼も工業都市の出身。工業もアートが生まれるきっかけになる。

雑誌社とコネクションを得るには、アート系の記者を呼んでFAMを行うのがいい。雑誌社とのパートナーシップを作ることがプロモーションでは大事になる。そうすれば宇部で動きがあったとき、記事に反映してもらえるようになる。

メディアには、マガジン、新聞、オンライン、パンフレットなどいろいろな種類がある。さらにはアート、自然、旅行などそれぞれテーマを持っている。だから、統一のドキュメントを一斉に送るのではなく、各メディアに向け記事化に役立つ情報を提供することが大事。

ヨークシャーの彫刻公園は、僕がアートに興味を持つきっかけになった場所。ここのWEBサイトは、ぜひ真似てほしい。インスタの使い方も参考になるはずだ。

工場がある街には彫刻が結構あるのでそれも参考になる。インスピレーションをもらえる。

スペインのチレーダに、経済的な問題で20年間閉まっていた公園があった。その公園をとある会社が買って、アーティストを呼んだ。WEBサイトも上手に作った。その結果、観光客が訪れるようになった、という事例もある。

バレエをはじめ、演技、演奏などのイベントを行えば、パフォーマンスとアートの両方を楽しむこともできる。

「Wallpaper」など、アートメディアの1ページを買うのはいいだろう。今回、僕はここに宇部に関する記事を出す。今月中には掲載されるだろう。

「Wallpaper」は、アートだけではなく建築やトラベルのことも載せている。このほか、「エスティカ」という彫刻誌もUBEビエンナーレにはふさわしいのではないかと。また、「ファイナンシャル・タイムズ」には、「Life & Arts」というコーナーがある。投資家が購読している新聞なので、そこに情報を載せるのもいいだろう。

質疑応答

工場のどういうところが、人にインスパイアを与えるのか？

モノづくり＝アート。機械もアート、工場の建物自体にもアートがある。機械やそこで働く人、昔の写真、その歴史など、そこからもインスピレーションをもらえる。そして、石から何かを作る：硯、石の採掘、素材。もっとプロセスを知りたいと思う。



QRコードの情報足りないということだが、どんな情報が必要なのか。

一番に行うべきは、看板に英語で書くこと。自分の父親世代は、テクノロジーに慣れていないため、QRコードの使い方がわからない。だからその場で英語の説明があることが大事。載せる内容としては、制作プロセス（発想から実際の作品に至るまでのプロセス）が大事。アーティストの紹介、制作プロセス、素材など。QRからWEBサイトに遷移できるが、情報にたどり着くまでが複雑すぎる。

宇部についてどんな記事ができそうか？

ビエンナーレについて書く。どの作品を紹介するのは、これから調査する。日本の彫刻の変遷や日本の職人（クラフトマンシップとか）についても紹介したい。露出は、まずはオンラインになる予定。

ガイド（アート、伝統）としての大事なことを教えてほしい

アートに対するパッション。そして、プロセスを含め、作品をしっかり説明できるようになること。日本の彫刻の歴史も勉強すること。欧米のアートも勉強してほしい。欧米の作品やアーティストとの関連性なども話せるほうがいい。

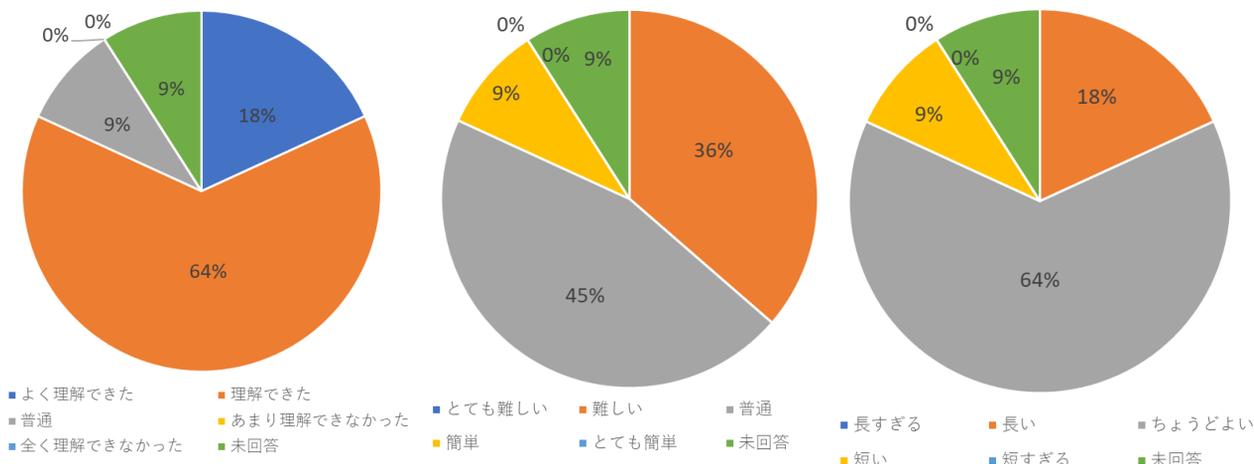
広告のコストが知りたい

記事1pのコストを考えるよりも、①メディアFAMをすることが大事。同じコストで複数のライターを呼ぶことができる、②アーティストを呼ぶこと。フォロワーがいるから広がりができる。記事の制作コストは雑誌側が払う。招致側は旅費を出すだけでいい。

参加者アンケート「公開セミナー」

単位 表：人 グラフ：% 回収率91.6%

①講義内容の理解度		②講義の難易度		③講義の長さ	
よく理解できた	2	とても難しい	0	長すぎる	0
理解できた	7	難しい	4	長い	2
普通	1	普通	5	ちょうどよい	7
あまり理解できなかった	0	簡単	1	短い	1
全く理解できなかった	0	とても簡単	0	短すぎる	0
未回答	1	未回答	1	未回答	1



④講義内容の中で、一番印象に残ったこと

- ・ガイドをするには、その背景も含めた話をするために、深い（その他）の知識が必要だ、というアドバイスが印象に残りました
- ・宇部をプロモーションする材料があるということ
- ・インスタをもっと使わなければ
- ・Tomさんは一つの作品のプロセスや歴史、作り方に関心があるとされました。同感です
- ・ガイドするうえで神社仏閣にある石造物と現在彫刻の対比をするということは考えたことが無かったのでもしろいと思いました
- ・宇部をプロモートするためにやるべきことがたくさんあるということが分かりました
- ・宇部に関する新しいまたは魅力的な情報と写真が欧米人にとって必要だと思った、と言われたこと
- ・工場跡でアートが生まれることが多い。ヨークシャー、宇部宇部も工業地帯なので歴史からインスパイア（工場跡地）工場などの会社があることによって、アートが繋がっていくことが理解できました
- ・ヨーロッパでは工場なども芸術となりうる。インスタやウェブサイトなども有効に使う。宣伝の仕方（ページを買うのではなく、記者やアーティストに投資する）
- ・宇部全体をアートの目で見ておられてよかった。坐禅には驚いた

⑤研修の参加前・後での気づきや変化について

- ・バーコード（QRコード）の内容が不足していることに気づいた。欧米向けになっていない等。改善しなくてはいけない
- ・欧米の方と日本人ではいろいろな意味で見方が違う
- ・アートがアートだけでなく、いきさつ、歴史、作者、取り囲む環境も大切だと感じました
- ・まだまだネイティブの英語を直接完全に理解するにはさらなる努力が必要と感じた
- ・外国の方は作り方を知りたいという点
- ・伝統的なものと現代的なものどちらにもアートがある
- ・若いときにチャンスがあったらと思いました。工場からアート、モノづくりが生まれるという考え、宇部をプロモートするためにやるべきことがたくさんあるということが分かりました
- ・インスタをもっと使わなければならないということ
- ・芸術に対する価値観の高さ、作品の説明や詳しい情報は日本語でも作ってほしい。宇部市民、芸術に対する子供の教育が必要と思う
- ・宇部には観光スポットとして大きな可能性があることが分かりました

⑥全体の進め方について

- ・とても良かったです。good!
- ・適当でした
- ・これからとても深い考えかた、見方ができそうです。彫刻や赤間硯など良かったと思います。トムさんがプロのアートジャーナリストであることがよく分かった
- ・インスタグラムを利用して、アート作品、作者、季節を付け加えるといい。映像、通訳を通じ分かりやすかった
- ・もっと詳しくあっても良かったかなと思います

⑦全体を通しての質問や要望

- ・またこのような機会があれば、お誘いよろしくお願ひします。今回はとても貴重な体験をさせていただきありがとうございました
- ・宇部とアート、彫刻、公園、酒造徐、歴史、知識の勉強が大切だと感じました。貴重な講演ありがとうございました。もっとガイドに関する勉強会を増やしてほしい
- ・ネイティブ（英語のトムさん）の英語は部分だけわかったが、通訳の日本語で何とか理解できました
- ・スピーカー、通訳の方々、皆様とても行き届いていました。たくさん勉強させていただきました。ありがとうございました
- ・ガイドはまだ勉強中ですが、機会があれば頑張ります
- ・いろいろと勉強することがあると思いました

宇部市外国旅行者向け 観光ガイドマニュアル

目次

トム・シーモア氏からのメッセージ.....	3
観光スポット	
・ 宇部市の概要	4
・ UBE ビエンナーレ	5
・ ときわ公園	6
・ 宗隣寺	7
・ 小野茶園	8
・ 楠こもれびの郷	9
・ 船木エリア	10
・ たましげ琴製作所	11
・ 永山本家酒造場	12
・ 岩戸神楽舞	14
・ 赤間硯	15
彫刻説明	
・ 蟻の城	17
・ 底流	17
・ はじまりのはじまり	18
・ 宇部の木	18
・ Plantronica Ube	19
・ 天地を巡るもの／大気循環（Trinity）	20
・ Origin 19-1	20
・ 森に棲む 2010-5	21
・ The Forest of Mirrors	21
・ じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。	22

あとがき

制作協力 松本マサ代
制作 リベルタ株式会社

こんにちは。トム・シーモアです。

私は、アート専門のジャーナリストとして、ロンドンを拠点に10年にわたり世界で活動しています。毎日、忙しく生活する一方、常にインスピレーション（刺激）を探しています。

今回、私は、宇部市を訪問するために初めて日本を訪れました。そして、市街地や山間部までいろいろな場所を訪ね歩き、たくさんのインスピレーションを得ることができました。

宇部の街は、あちらこちらにアートが存在しています。皆さんもきっと、たくさんのアートに触れながら育ってこられたのでしょう。私が生まれたヨークシャーという街も、工業が盛んな都市です。工場がある、つまりモノづくりをしている。そのための機械や建物が存在し、そこで働く人がいて、紡いできた歴史がある。これらもまた、まさにアートです。そんなたくさんのアートが人生のなかに存在することを、素晴らしいことと感じます。

さて、宇部の街を歩くなか、感じたことがあります。

それは、UBE ビエンナーレの彫刻の多くが、ときわ公園の中に存在することです。これは、世界を見渡してもなかなか見かけないビエンナーレのスタイルのように思います。そして、宇部にあるアートは、彫刻だけではありません。皆さんは、まちじゅうにたくさんのアートがあることを気づいていますか？ 宗隣禅寺、赤間硯、たましげ琴、見渡す限りに広がる小野茶の茶畑、職人技の生きる食、山間部には昔ながらの町並みが残り、インテリア的にも美しい神社仏閣が点在し、そこに置かれた狛犬や石碑、灯籠、日本の伝統を残すそれらもまた、私の目にはアートに映りました。そして、それらがなぜ生まれたのか、誰が、どのようにして作ったのか、そのバックグラウンドを知りたい思いにいまも駆られています。

そんな私をはじめとする、アート関係者、ツーリストの“知りたい”に応え、宇部市を魅力ある観光地にしていくためには、伝統からモダンアートまでを語れるガイドの存在が不可欠です。

これをお読みの皆さんには、アートに対するパッションと知識、そして郷土愛を胸に、魅力あふれる観光資産のことを自由に語れるガイドになっていただきたいと思っています。

ロンドンより、トム・シーモア

トム・シーモア氏プロフィール

アートジャーナリスト／アートコンサルタント／アートツーリズム・トラベルアート専門家
さまざまな専門誌で精力的に執筆活動を行う。日本の芸術分野においては、写真、公共彫刻、アートツーリズムに関する記事の執筆経験がある。

過去には、「The Art Newspaper」「Wallpepar」の特派員、「The Guardian」のレギュラーレポーターとしても活躍。アートコンサルタントとして、サザビーズロンドン、ロンドンナショナルポートレートギャラリー写真祭、BFI ロンドン映画祭等に協力。スワロフスキー、ユニリーバ、サザビーズ、インペリアル大学、ニコンのブランド戦略をプロデュースした経験も持つ。

宇部市の概要 Outline of Ube City

宇部市は人口約 17 万人の工業都市で、山口県で 3 番目に大きい都市であり、面積は約 287 平方キロメートルです。気候は穏やかで快適です。

山口宇部空港は、宇部の空の玄関口であり、毎日東京への便を運航しています。

Ube City is an industrial city with a population of about 170,000, which is the third biggest city in Yamaguchi Prefecture, with an area of about 287 square kilometers. The climate is mild and comfortable.

Yamaguchi-Ube Airport is the air gateway of Ube and runs flights to Tokyo every day.

宇部市の中心部は、明治時代から石炭産業の発展とともに発展してきました。その結果、地場産業が栄えました。第二次世界大戦中に市内中心部の大部分が破壊されましたが、宇部は人々の努力と忍耐力によって徐々に回復しました。

The central area in Ube city has developed among with the development of the coal industry since the Meiji era. As a result, local industries flourished. A large part of the city center was destroyed during World War II, but Ube gradually recovered through the hard work and perseverance of the people.

1960 年代、日本の天然資源とエネルギーの構造が石炭から石油に変わったため、炭鉱を閉鎖する必要がありました。しかし、現在、大学、医療機関、工業大学などの高等教育機関が集まっています。



In 1960's, as the structure of natural resource and energy in Japan has changed from using coal to oil, the coal mines had to be closed. Now, however, higher education institutions such as universities, medical institutions and factories, which are mainly for material industries, are gathered in this area.

北中央部は緑豊かな農村地帯です。厚狭郡だった当時、政治、経済、文化の中心地として栄えた船木地区など、5つの地区があり、山陽道の宿場町でした。

米、野菜、お茶が主な製品です。今日も楠地区、万倉地区では、古くから琴や赤間硯などの伝統工芸が造られています。

The north-central area is a green rural zone. There are five districts such as the Funaki district, which flourished as the centre of politics, economy and culture of the old Asa County, and was a lodging town of Sanyou Dou.

Rice, vegetables, and tea are the main products. In Kusunoki and Magura area, traditional crafts such as Koto and Akama-suzuri (inkstone) are continued today.

宇部市は、世界で 3 番目に長い彫刻祭の歴史を持ち、独創性のある都市を目指して「UBE ビエンナーレ」を開催し続けることで、「緑、花、彫刻の都市」の実現にも力を入れています。

アートガイド用マニュアル

Ube city also devotes itself to realizing “the city of greenery, flowers, and sculptures” by continuing to hold “the UBE Biennale”, which has the third longest history of a sculpture festival in the world and aims to create a city with originality.

UBE ビエンナーレ UBE Biennale



公害対策の過程で、「緑化運動」「花いっぱい運動」「宇部を彫刻で飾る運動」に市民一体となって取り組んだことから、現在、宇部市は「緑と花と彫刻のまち」をキャッチフレーズとするまちづくりを進めています。

2年に一度、秋に「UBE ビエンナーレ」として野外彫刻の展覧会が開催されます。

Because of the success of the antipollution operations, the citizens united and initiated campaigns such as ‘Greenery Campaign’, ‘Flower Campaign’, and ‘Sculpture Exhibition Campaign in Ube’ in order to beautify the city. As a result of this, Ube City continues its city development with the catch-phrase “A City of Greenery, Flowers, and Sculptures”.

UBE Biennale is an open-air sculpture competition which is held every two years in autumn at Tokiwa Park.

UBE ビエンナーレは、日本で最も歴史のある国内最大級の野外彫刻の国際コンクールで、戦後の宇部市の都市環境を改善する市民運動を契機として、昭和 36 年（1961 年）から 2 年に 1 度開催されています。

UBE Biennale is one of the most historic and the largest international outdoor sculptures competition in Japan. It has been held once every two years since 1961 following the citizens’ movement to improve the urban environment of Ube City after the war.

令和 3 年開催の第 29 回展で、野外彫刻展 60 周年を迎える UBE ビエンナーレは、近年では国際展としても注目を集め、世界各国から多くの作品が出品されています。

アートガイド用マニュアル

The 29th Exhibition, held in 2021, marks the 60th anniversary of UBE Biennale (International sculpture competition), which has attracted international attention in recent years, with many entries sent from around the world.

園内には本展受賞作品を中心に約 100 点を展示。ときわ公園の豊かな自然と芸術が調和した美しい景観が広がっています。

Around 100 pieces of sculpture including past winning pieces are displayed around Tokiwa Park, where nature and art mix to form a beautiful landscape

■彫刻野外展示場 Open-air Sculpture Hill

UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)のメイン会場で、これまでの大賞受賞作品をはじめ、園内の野外彫刻が集中するエリアです。

Main venue of UBE Biennale – International Sculpture Competition is where outdoor sculptures are gathered together within the park including grand prize winning pieces.



ときわ公園



常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた広さ 189ha の敷地を誇る「ときわ公園」。

Tokiwa Park, centered around Tokiwa Lake and boasting 189 hectares of land, is filled with greenery, flowers and sculpture.

広大な園内には四季折々の自然と野鳥のほか、ときわミュージアム、ときわ動物園、UBEビエンナーレ彫刻の丘、石炭記念館、ときわ遊園地などの施設がある魅力あふれる公園です。

Within the huge grounds are seasonal flora and wild birds, and also home to Tokiwa Museum, Tokiwa Zoo, UBE Biennale Sculpture Hill, Coal Mining History Museum, Tokiwa Amusement Park and other facilities, it is a park overflowing with charm and excitement.

【ときわ公園について】

- ・日本の都市公園 100 選
One of the Top 100 Urban Parks of Japan
- ・さくら名所 100 選
One of the Top 100 Cherry Blossom Sites
- ・美しい日本の歩きたくなるみち 500 選
One of the Top 500 Beautiful Walking Roads of Japan
- ・「21 世紀に残したい日本の風景」総合公園としては第 1 位
Top Comprehensive Park for Japanese Scenes to preserve for the 21st Century
- ・「池坊花逍遥 100 選」ときわ公園しょうぶ苑
(Tokiwa Park Iris Garden) One of the Ikenobo Best 100 Flower Walks

■ぼたん苑 Peony Garden



平成 29 年 11 月 11 日にリニューアルした、ときわ公園「ぼたん苑」。約 420 株（約 130 品種）のボタンとシャクヤクの華々しい花壇が広がり、中央には茅葺屋根の古民家「憩いの家」が存在感を放っています。

Botan-en (peony park) opened after a renewal on November 11, 2017. The gorgeous flowerbeds made of about 130 types of 420 tree peonies (botan) and peonies (shakuyaku) surround an atmospheric “Ikoi-no-ie,” or resting house, covered by a thatched roof.

宗隣寺 Sorin-ji Temple



アートガイド用マニュアル

唐より来朝した為光和尚が今から約 1200 年前に創建。毛利藩家老、旧宇部領主福原氏の菩提寺でもあります。

Sorin-ji Temple is a Zen Buddhism temple, originally opened by a Buddhist priest called Ikou, who came to Japan from Tan (ancient China) 1200 years ago. It is the family temple of Ube's lord Fukubara family who served as a permanent chief retainer for the greater domain of Mori.

■龍心庭 Ryushin-tei Garden

宗隣寺には、南北朝時代に築かれた、山口県で最古の名園・龍心庭があります。この庭園の庭は干潟様の様式を持ち国指定の名勝でもあります。

Sorin-ji Temple has a famous garden called Ryushin-tei Garden which was built in the Nanboku-cho era, the oldest garden in Yamaguchi Prefecture. The pond in this garden is designated as a scenic spot by the national government.

小野茶園 Ono Tea Plantation



小野地区の茶園は、栽培面積が 約 70ha です。

The Ono area tea gardens have a plantation area of about 70 hectares.

山口県産のお茶の 9 割以上は、小野地区で生産されています。

90% of Yamaguchi's tea is produced in Ono area.

生産量は、全国の主要な産地に比べると少ないですが、小野地区の茶園のように 1 か所にまとまって大規模な面積をもつ茶園は珍しく、「西日本一の規模を誇る大茶園」と言われています。

The amount of tea produced is small compared to major tea producing areas in Japan, but

the Ono tea plantation, fields close together with a large surface area, is quite rare and it is called "Western Japan's largest scale tea plantation".

小野湖から湧き上る霧に包まれて育った宇部のお茶は、苦味と甘味が調和した深い味わいです。

The tea, which is enveloped in the mist floating up from Lake Ono while it grows, has a complex flavor with a delicate balance of bitterness and sweetness.

楠こもればの郷 Kusunoki komorebi no sato

温浴施設、農産物直売所、地元食材にこだわった農家レストラン、研修・体験ができる農園からなる複合施設です。世代を問わず、ゆったりのおんびりくつろげる癒しの空間です。

A farm complex facility with hot springs, agriculture produce sales, local produce farmer's restaurant, training and hands-on activities. It's a place where you can relax and take it easy, regardless of age.

■農家レストラン〈つつじ〉 Farmer's Restaurant "Tsutsuji"

旬を味わうお食事処

A place to taste seasonal produce.

■温泉 くすくすの湯 Kuskusu no Yu

源泉かけ流しの天然温泉。総ひのき造りで、木の香りに包まれた癒しの時間が過ごせます。

Natural Hot Spring Spa. The baths are constructed from Japanese cypress, so you can relax and enjoy the aroma while you bathe.

山口県産の石を、ていねいに積み上げて作られた石風呂。

Stones from local quarries are carefully stacked to form the stone bath.

■農産物直売所〈楠四季菜市〉

Agricultural Produce Direct Sales Depot "Kusunoki Shikisai Market"

朝採り野菜が集う直売所

Freshly picked vegetables, sold directly to the public.

豊かな自然に恵まれた土地で作られた農産物の直売所です。

The farmers' market sells local produces grown in the land blessed with the bountiful nature.

旬の恵みをお楽しみください。

Enjoy the freshest seasonal harvest.

生産者の顔が見えるので安心してご購入いただけます。

Safety is guaranteed for all your purchase, as products are directly sold by producers.

アートガイド用マニュアル

加工品も用意しています。

Processed food and goods are also available.

■グリーンツーリズム Green Tourism

農山漁村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の観光活動で、具体的には、農作業体験や農産物加工体験、農林漁家民泊などのことをいい、楠地域では、地域住民が主体となって、食と回遊性を組み合わせたツアーを展開しています。

The Kusunoki area community has worked together and developed tours that combine food and movement, and include residential tourism activities where you can experience nature, culture and meeting local people in a rural agricultural area. Activities include trying farm work and agricultural processing, and homestays on farms, or in fishermen's or forestry workers' houses.

船木エリア Funaki area

楠地域の中心である船木地区は、古くは毛利藩の時代に宿場町として、また明治から大正にかけては旧厚狭郡の政治・経済の中心として栄えました。

Funaki area, the center of the region, was originally developed as a post town under the Mori clan (local lord in Edo era) and later thrived as the political and economic center of the former Asa County in Meiji and Taisho eras.

船木市の町並みが整うのは 1570 年頃と推定されています。

It is estimated that the town of Funaki started to form around 1570.

1635 年、参勤交代の制定により船木は「本宿」となりました。

Funaki became a postal station under the system of Sankin-kotai (a system in which the feudal lords were required to spend every other year in their residences in Edo) introduced in 1635.

その後、船木宰判に御茶屋を建設するため、1686 年、正円寺を柿ノ木田に移転するなど、往還や宿、駅の整備が進められ、船木は、東の関戸・御荘から西の長府・赤間関と続く本往還の宿駅として位置づけられました。

The postal station was positioned in Funaki because it was on the Sanyodo route extending east and west from Sekido and Misho to Chofu and Akamagaseki, and the development of Sanyodo and stations along them, as well as the relocation of Shoen-ji Temple to Kakinokida in 1686 led to the building of an Ochaya (guest house) in the Funaki Saiban.

【船木ふれあいセンター周辺】

- ・船木宰判跡 Ruin of Funaki saiban
- ・お茶屋跡 Ruin of Ochaya (guest house)

アートガイド用マニュアル

- ・石炭発祥の地 Birthplace of coal
There was a custom to use coals in Funaki in the middle of 17th century.
- ・徳基学舎跡 Ruin of Tokkigakusha (girls school)
It was established in 1873 as the third girls' school in Japan.

■学びの森くすのき Manabino-mori Kusunoki

宇部市固有の歴史や伝統的文化を閲覧し、学習することができ、市民の学習・文化・創造活動の拠点となる施設で、図書館・資料館・学習の複合機能を有しています。

You can read and learn about Ube's unique history and traditional culture, at this citizens' facility for learning, cultural and creative activities. It functions as a library, resource center and learning facility.

図書館は、約4万冊の図書があります。資料館は、宇部の歩みが一覧できます。

The library has approximately 40,000 books in open access areas, and at the resource center you can learn about the Ube's progress.

■岡崎八幡宮 Okazaki Hachimangu Shrine

岡崎八幡宮は、船木全域の産土神（うぶすながみ）。

Okazaki Hachimangu is a shrine for the guardian deities in the Funaki region.

宇佐八幡宮から和気清麻呂が神仏の霊を移し、770年に創建したと伝えられます。

It is said that Wakenokiyomaro moved the deities and Buddha from Usa Hachimangu and built the shrine in 770 AD.

伊勢神宮（三重）、出雲大社（島根）、莫越山（なこしやま）神社（千葉）と並んで数少ない清酒製造免許を持つ神社の一つです。

Along with Ise-jingu Shrine (Mie), Izumo-taisha Shrine (Shimane) and Takoshiyama-jinja Shrine (Chiba), it is one of the few shrines that are licensed to make sake.

境内には、樹齢700年と推定される楠の古木があります。

Inside the grounds is a camphor tree that is estimated to be 700 years old.

この楠に寄生する「キセル貝」は、潮の干満につれて上下するといわれ、海上安全のお守りとして珍重されました。

The Kiserugai (door snail) that live on the camphor tree are said to raise and lower its trunk with the high and low tides. They were prized as charms for safe sea travel.



たましげ工房 Tamashige Koto factory

船木地区で全国でも珍しい手作り琴を製作している「たましげ琴製作所」は、1894年（明治27年）の創業で、100年以上の歴史があります。

アートガイド用マニュアル

現在「全国小・中学生箏曲コンクール」の開催や、学校教育での活用など日本の伝統文化である箏曲（琴の演奏）の普及・発展に努めています。

Tamashige Koto Factory in Funaki is one of only a few places making handmade koto in Japan. It was founded in 1894 and has more than 100 years of history.

Currently, Tamashige is working towards popularizing and promoting traditional Koto music and performances, through holding the All Japan Elementary and Junior High school Koto Music Competition and education in schools.



永山本家酒造場 Nagayama Honke Shuzojo (Sake Brewery)



1888年（明治21年）の創業の蔵で、地酒として親しまれている「男山」をはじめ、100%純米酒「貴」など、酒蔵の地下120mから汲み上げた秋吉台を水源とする厚東川の伏流水を使用しています。カルシウムをふんだんに含んだ中硬水から、やや辛口の「貴」が出来上がります。3町歩の自社水田に加え、宇部北部地域の方々と共に山田錦（おそらく最高の酒造好適米）を育てています。

Established in 1888, the sake brewer makes a familiar local brew “Otokoyama,” 100% junmaishu (sake made without added alcohol or sugar) “Taka” and others, using the underground water of Koto River, whose water source is Akiyoshidai plateau, drawn up from underground of 120m below the sake brewery. A slightly dry “Taka” is made from medium-hard water containing plenty of calcium. In addition to three chobu (approximately, three hectares) of own rice paddies, the brewer grows Yamada-Nishiki (arguably the best rice suitable for brewing sake) with people in the northern region in Ube.

永山本家酒造場の「貴」は、『Dancyu (日本のグルメ雑誌)』2003年3月号で「隠れた地方の名酒」の1位に選ばれ、何度もさまざまな媒体に取り上げられています。ブランド名の「貴」は、社長である永山貴博氏の名前から名付けられました。

Nagayama Honke Shuzojo’s Taka was chosen as No.1 “Hidden good local brew” in the March 2003 issue of Dancyu (a gourmet magazine in Japan) to have been repeatedly taken up in various media. The brand name “Taka” is also the first name of the president, Takahiro Nagayama.

【What is sake?】

"純米"とは、米・麴・水だけで造られたお酒です

"Junmai" is sake made only with rice, koji and water.

"麴"とは、米に含まれるデンプンをグルコース(糖分)に変える菌です

"Koji" is fungus which convert the starch from the rice into glucose.

"麴"は菌です。良い日本酒を造る要です

"Koji" is fungus. This is the vital ingredient to make sake.

"吟醸"や"大吟醸"は、お米の外側を削り、中心のみを使った高級なお酒です

"Ginjo" or "Daiginjo" is premium sake made with only the best part of the rice. The outer layers have been removed.

■永山本家酒造場事務所（旧二俣瀬村役場庁舎）

The Nagayama Honke Shuzojo Office (Former Futamatase Village Hall)

永山本家酒造場事務所は、旧二俣瀬村役場庁舎として1928年に建設されました。本建物は、木造2階建て、切妻造り、棧瓦葺、モルタル塗りの総2階建洋風建築の建物です。

The office building of the Nagayama Honke Shuzojo was originally built as the administrative office for the village of Futamatase in 1928. It is a wooden structure designated in a Western style, with two stories, a gabled roof covered with sangawara pantiles, and an exterior mortar finish.



厚東川の左岸旧道沿いに石垣を高く築き、川に正面に向けて建てられた石造風の左右対称形の建物の中心部と両隅部に人造石による柱形をあらわし、そのあいだのモルタル塗りの壁面に縦長の窓を納めています。また、2階議場の残る階段の手すり、親柱、アールデコ調の天井飾り、上げ下げ窓などが建築当初に近い状態で保存されています。昭和29年に二

アートガイド用マニュアル

俣瀬村が宇部市と合併した後は、宇部市の二俣瀬支所として使用されていましたが、昭和40年に永山本家酒造場が土地・建物を買取り、事務所として使用され現在にいたっています。平成28年11月に事務所は国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

The building faces the river Kotogawa, on a site supported by a high masonry wall above the road that runs along the left riverbank. The layout is symmetrical, with a central section flanked by two side structures. The façade has columnar elements of artificial stone, with vertical windows between mortar coated walls. Much of the original interior is preserved, including the stairway with its railings and newel posts, Art Deco ceiling ornamentation, and vertical sash windows. After the village became part of the city in 1954, the building remained in use as a branch city office until 1965, when the site and building were purchased by the Nagayama Honke Shuzo for office use. In November 2018, the office was designated as Registered Tangible Cultural Properties.

岩戸神楽舞 Iwato Kaguramai



神楽とは、日本の神道の神事において神に奉納するため奏される歌舞。神話の一場面を表現するものが多く、武運長久、家運繁栄、五穀成就等を祈るため、奏上されています。

Kagura is a dance and music performance dedicated to the gods in Japan's Shinto ceremonies. The repertoires typically feature famous scenes from Japanese myths. The dedication is a form of prayer for enduring luck in battle, family prosperity, productiveness of grain, etc.

神楽舞には楽がつきもので太鼓、笛、摺り鉦(すりがね)で構成されます。これらに天蓋装置が加わり、舞台が整います。舞者は原則として、1m四方の範囲で舞うように限定されています。正式に舞い納めをするには、おおよそ4時間もの時間を要します。

Kagura dance always accompanies music consisting of drums, flutes and *surigane* (metal gongs). The stage is complete with a canopy. In principle, the dancer's movements are confined to a square meter. Approximately four hours are required to formally complete the entire dedication.

アートガイド用マニュアル

日本各地に神楽舞の文化があり、宇部市にもそのうちの一つ『岩戸神楽舞』が伝わっています。

Kagura culture is found across Japan in various forms, and Iwato Kagura Dance, one of such kagura styles, has been traditionally practiced in Ube City.

岩戸神楽舞は、地元の山の頂上近くに祀られている皇大神宮に奉納する神楽舞として、江戸時代後期に創始されたと伝わっています。扮装が質朴で、厳かな舞が多いことが特徴です。

Iwato Kagura Dance is said to have been established in the late Edo era as an offering to the Kodai Jingu Shrine near the top of a local mountain. It is characterized by simple costumes and solemn movements.

後継者が存在せず途絶えていましたが、昨年、地元の高校生、若手社会人有志を中心に、復活を果たしました。

The performing art suffered the lack of successors and has been extinct for some years. Last year, however, it made an official come back through the initiative of local high school students and young adults.

赤間硯 Akama Inkstone



萩焼、大内塗と並ぶ山口県の工芸品。およそ 800 年の歴史と伝統を持っています。万倉地区で生産される赤間硯は、質が堅く緻密で石眼や美しい模様があり、しかも粘りがあるため細工がしやすい等、硯石として優れた特徴を持っています。特に、蓋付に見る彫刻は赤間硯のもっとも魅力ある細工です。昭和 51 年に国の伝統的工芸品に指定されました。

Together with Hagi pottery and Ouchi lacquerware, Akama inkstone is one of Yamaguchi's major art and craft products. It has a tradition and history of 800 years. The Akama inkstone produced in the Magura area is hard and dense, with eye-like beautiful patterns, easy to work, and have excellent qualities as ink stones, as well as exquisite carving on the lids. In 1976, Akama inkstone was designated as a national traditional craft product.

■彫刻ガイド

蟻の城（向井良吉） / Ant Castle (Ryokichi MUKAI)



宇部市民なら昔から誰でも知っている記念すべき彫刻である。常盤公園の芝生の丘の展示場で毎年出品作はいろいろ変わっても、向井良吉の「蟻の城」だけは四十数年たった今も常設されて動くことがない。というのも、作者は柳原義達、大高正人氏らとともにこの展示場をみずからブルを操って切り拓いた立役者であるからだ。1966年に宇部市が「宇部」をテーマに五人の作家に模型制作を依頼、向井の「蟻の城」だけが実物大に制作され、今日までその偉容を保っている。当時は鉄錆がふいたままだったが、今は一部改造され鮮やかなカーキ塗料で表面保護されている。

Every residents of Ube grew up familiar with this monumental sculpture. While other artworks are annually replaced with new sculptures on the grassy hill, Ant Castle by Ryokichi MUKAI remains the only permanent exhibition on the site for more than four decades. It is a homage to Mukai's contribution to the exhibition site, who, together with artists Yoshitatsu YANAGIHARA and Masato OTAKA, personally bulldozed the site for the sculpture exhibition. When five artists were commissioned to produce models under the theme of "Ube" in 1966, only Mukai's work was selected for a full-scale production, which maintains its majestic presence till today. In the early days, genuine rust covered the artwork, but vivid khaki paint protects the surface today after a partial modification.

底流（土屋公雄） / Under Current (Kimio TSUCHIYA)

第14回 UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）大賞受賞作

作者は、壊れかけた廃屋などの素材を利用して、それらを組み直しこれまでの彫刻とは違った一種独特の造形物に変換してきた。

この作品は宇部市内の川で取り壊されようとしていた橋脚を再利用したもので、橋脚とそれらの粉砕材を組み立て直してこのようなモニュメントができあがった。流水下の橋脚につ

アートガイド用マニュアル

いた貝殻や青みどろの表情が彫刻にいつそうの時間を付け加え、古い遺跡への郷愁を誘い出している。その彫刻観はいまや国際的に認められるところとなった。

The artist has been using materials collected from crumbling houses and other abandoned structures to rebuild them into something unique from existing sculptures.

This artwork reuses a pier removed from a bridge across a river in Ube. The monument is made of the dismantled pier and its debris. Shells and green algae permanently stuck to the surface of the pier once submerged in the river water add the sentiment of passage of time to the artwork and nostalgia for structures long gone. This sculptural concept has now become an internationally recognizable expression.



はじまりのはじまり (三宅之功) / The Birth of Life (Shiko MIYAKE)

第28回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展) 大賞受賞作

大地に飛来した草花の種子は、根を張り子孫を残す。それは単なる偶然ではなく、時間、気候、風向きなど全ての条件が整った結果である。我々人間も世界中で自然発生的に生まれ、暮らしているように見えるが、その時、その場所での必然である。この作品は、動植物に共通する「奇跡の誕生」を現したものである。やがてさまざまな植物が寄り集まり、この宇部の地で成熟していこう。今は、はじまりのはじまり。



The seeds of wildflowers that drift to earth, put down roots and leave offspring behind. This is not coincidence, but a result of all conditions, time, weather, and wind direction, being perfect. We humans seem like we were spontaneously born and now live around the world, but we were inevitable and necessary for that place and that time. This work expresses the "miracle birth" that both animals and plants have in common. Perhaps before long various plants will gather and mature in the land of Ube. Now is the beginning of the beginning.

宇部の木 (竹腰耕平) / The tree of Ube (Kohei TAKEKOSHI)

第26回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展) 大賞受賞作

「宇部の木」とはその名の通り“宇部”の“木”である。宇部で探し、宇部で出会い、掘り出した。自ら探し、出会い、掘り出した木はとてもかけがえのないものになる。土をえぐり、根にふれて、またツルハシをふる。そのつど根は、たくましさや強さを感じさせてくれる。それ

アートガイド用マニュアル

ら一つひとつがコミュニケーションのようで、より深く深く思いをはせていけるのである。

呼吸をすることを失われた切り株はもう生きてはいないだろう。根はいりくみ、どこまでものびていく。根の先から枝の先まで全てを知ることはできないかもしれない。しかし、その下に深くのびていく根をみることで、生きていた呼吸を感じることができるともかもしれない。

“The tree of Ube” is just as the name implies a tree in Ube. I looked for it and encountered it in Ube, and pull it out of the ground. A tree that you search for yourself, find and unearth is unique indeed. I scooped up the soil, shook the roots and wielded my pickaxe. In this action, the roots show me how sturdy and strong they are. Every single part communicates to me and takes my thoughts deeper and deeper.



Does a tree stump stop living when it ceases to draw breath? Its roots intricately stretch out without end. We cannot know everything about a tree from the tip of its roots all the way to the tip of its branches. But by looking at those deeply burrowing roots, we can feel the tree breathing.

Plantronica Ube (岡田健太郎) / Plantronica Ube (Kentarō OKADA)

第28回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展) 宇部興産賞受賞作

その姿は有機的で動物のようでもありながら、建築物のようなしっかりとした安定性も見せる。タイトル Plantronica の plant には、植物や自然、そして工場という二つの意味が含まれる。宇部市は工場と自然の多い土地だが、この作品も、プラント (工場と植物) の形や構造から着想している。環境や目的のために生まれ、変化し循環していく、それらのさまざまなイメージや形がつながり合い、一つのうつろな塊となって、奇妙な形を生成している。この世界のあらゆる物の関係が微妙なバランスから成り立ちあっているように。キリンのように縦に伸びるフォルムは、電柱と月を表したものだそう。あなたは どうみえるだろうか。



It looks organic and animal-like, while retaining the reliable stability of an architecture. The “plant” as in Plantronica contains double meaning – natural plants and factories. In Ube there are many factories and also many natural areas filled with flora. This sculpture’s concept is the shape and structure of both “plants” (i.e. factory and also flora). Born for the environment and for purpose, changing and cycling, the various images and shapes join together, and become one empty cluster, which creates a peculiar shape. The connections between all things in this world have come about through a delicate balance. According to the artist, the vertical form extending like a giraffe represents a telephone pole and the Moon. What do you see in the artwork?

天地を巡るもの／大気循環 (Trinity) (戸田裕介)

In matter cycles / atmospheric circulation (Trinity) (Yusuke TODA)

第28回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展)

テーマは「循環」。この作品の形状のように、世界はさまざまなものの環で成り立っている。雲と雨、大地と空。そして私たち人間もさまざまな循環の一部といえるだろう。大地から立ち上がり、雲となって上昇するこの作品には、私たちを含めたさまざまなものが映り込む。作品の上部は、ステンレスの球体がつなぎ合わされた環状のパーツがあり、その下に御影石の柱が3本据えられている。この御影石にもステンレスのパーツと同じように球体が彫られていて、石とステンレスがつながりあい、互いに関係しあっていることがわかる。作品の真下から上を見上げてほしい。銀色に輝く雲が空に浮かび、その一つひとつに風景や自分たちの姿が映り込む。作品を通して、世界をつくる大きな環(わ)について思いを巡らせてほしい。



It deals with “circulation” as the theme. As epitomized in the work, our world consists of circles of many different things. Clouds, rain, the land and the sky – we, the humans, also form a part of numerous circulations. The piece, rising from the soil and ascending to the sky in the form of clouds, reflects everything surrounding it in the process, us included. The top of the work features a circular part made of joint stainless spheres, under which three granite pillars stand. The pillars are engraved with spheres similar to the stainless spheres above, demonstrating the link and interaction between the two elements. Please walk up to right under the work and look up. You will see silver clouds glittering in the sky and reflecting us and everything around us. Imagine the great circle that forms our world through the work.

Origin 19-1 (田辺武) / Origin 19-1 (Takeshi TANABE)

第28回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展)

自然石をそのまま使用した作品で、その石肌や起伏からは、自然の持つ力強さが感じられる。その上部には大きな波紋が彫られていて、硬い石の力強さがあがりながら、水のような柔らかさが感じられるから不思議だ。さらに特徴的なのは、作品の側面に埋め込まれた鉛の鋳である。段に打ち込まれた鋳の中には、一般参加者が持ち寄った世界中の水が封印されていて、さながら水のタイムカプセルのようでもある。

水の惑星地球。水は地球に生命が誕生するきっかけでもあり、すべての生命にとって母なる存在である。だが、現在の地球の水はどうだろうか。気候変動による温度上昇、海水汚染、流れ出るごみによって多くの生き物に影響が出ている。世界の水を封印する石の彫刻。この作品の制作、参加者自身の水の採取を通して、待ったなしのこの問題に思いを馳せてもらいたい。

The artwork preserves the original texture and uneven surface of a natural stone, exuding the power of the nature. Large wave patterns engraved on the upper part of the work creates a contrasting impression of watery flexibility on the tough stone. What makes the piece even more unique is the lead studs buried in the sides of the work. The tiered studs nailed onto the work encapsulate water collected and brought by participants from all over the world, as if the entire work is a time capsule of water.



The Earth is a planet of water. Water is the mother of all lives, as it gave birth to the first life. What, however, happened to the water of the Earth today? Our water today is affecting many lives by rising temperature triggered by the climate change, ocean contamination, and drifting wastes. The stone sculpture encapsulating water from around the world poses a grave question. Please give a thought to this urgent problem by being a part of this artwork through the collection of water.

森に棲む 2010-5 (北沢努) / Live in the Forest 2010-5 (Tsutomu KITAZAWA)

第24回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展)

作者は、これまでも木や金属や石膏や石などを巧みに生かした作品を作ってきた。本作は、木とブロンズを融合させている。木の自然な形態と人体を重ね合わせた作品になっている。

The artist has deftly incorporated different materials like wood, metals, plaster and stone in the previous works. In this piece, wood and bronze are merged to express the natural wood shape interlaced with the human body.



The Forest of Mirrors (佐野耕平) / The Forest of Mirrors (Kohei SANO)

第23回 UBE ビエンナーレ (現代日本彫刻展)

日常の生活や時間を象徴化した形として“イス”を用いている。それらの“イス”を積み上げることによって過去や日々の悩みの繰り返しのなか、それでも意志を持って存在してゆくことへの想いを形にしている。“イス”の表面と床に映り込んだ流れてゆく景色と、その流れのなかで佇む“サカナ”を観る人の日常と非日常をつなぐ架け橋になってくれれば。作者のそんな思いが込められている。

The “chairs” are used to symbolize our ordinary times in our daily life. The piled up “chairs” represent the repetitious worries and troubles, which we nevertheless endure with an unwavering will for existence. The moving scenes projected on the surfaces of the chairs and the floor, and the observers watching the “fish” floating in the stream, embody the artist’s wish to bridge the viewers’ ordinary and extraordinary aspects of life through the work.



じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。（佐藤圭一） The space in the grandfather’s nostril (Keiichi SATO)

第25回 UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）市民賞受賞作

私の場合、アイデアはいつも情景として頭の中に現れます。その情景を、造形上の問題を解決しながら忠実に再現することが私の制作です。この作品も特定の人物ではなく、設定に合わせて細部まで想像で作られています。昼寝をしているじいちゃんの鼻の穴を覗いたら宇宙が見えた、という作品です。そして、星に見える光は実は後頭部のつむじに沿って空けられた無数の小さな穴から射し込む外光で、それが宇宙に見えるという単純な仕掛けです。



身近な人の中に広大な宇宙のイメージを、壮大と庶民的が、深遠と薄っぺらが、高尚と下世話が、先鋭と平凡が、ファンタジーと日常が、同次元で感じられればとの願いが込められています。

For me, ideas appear as images inside my mind. My work recreates those images as faithfully as possible, while attempting to solve the problems involved in construction. This work is not a specific person, but was made to fit the details I imagined. It is a work that shows a universe that can be seen by peering into an old man's nostril. The light that looks like stars is in fact light coming through numerous small holes made along the hair whorl on the back of the head, and this simple contrivance causes astronomical scene to appear. Based on the idea of massive universes existing inside our close friends and family, this work is filled with the hope that the majestic and the ordinary, profound and flimsy, refined and vulgar, radical and average, fantastic and every-day can be experienced together in the same dimension.

あとがき～ガイドマニュアルの完成に寄せて Afterword - for the completion of the guide manual

50年も続く彫刻展なんて、世界中のどこを探してもなかなかあるものじゃない。まずは、市民の皆さん、このことをもっと誇ったほうがいい。

アートはいつでも、その時代を反映するもの。アーティストはその時々社会に警鐘を鳴らし、そして普遍的な喜びを表現する存在だと考えている。それはときわ公園・彫刻の丘の作品群も同じこと。それって人類の歴史の一部だと思う。僕たちがローマの遺跡やフィレンツェの繁栄に想いを馳せるのと同じことが、ここ宇部市で根付きつつあるのではないか、そう思う。

そもそもなぜこの宇部市でこれほどの事業が続いてきたのか考えると、僕は日本の近代を支えたものづくりが息づく宇部市だからではないかと感じている。であれば、彫刻一つ一つだけではなく、宇部市の他のものづくりや産業とセットで紹介し、これまで続けてきた、そしてこの先未来への想いとともにより多くの人に伝え続けていくことが大切ではないか。それが出来るのは、日本では宇部市だけだと思うから。

山出 淳也

山出淳也氏プロフィール

山出淳也 Jun'ya Yamaide

1970年8月18日生まれ

NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト

文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002～04)。アーティストとして国際的に活躍した後、2004年に帰国。2005年に BEPPU PROJECT を立ち上げ現在にいたる。

混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー(2009～)

第33回国民文化祭・おおいた 市町村事業 アドバイザー

文化庁 文化審議会 文化政策部会 委員(第14期～16期)

グッドデザイン賞 審査委員／フォーカスイシュー部門 ディレクター(2019～)

平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)

人は、旅に出る。旅に出る理由は人それぞれだが、私の場合、旅の目的は「アート」との出会いである。これまでいくつもの美術館や芸術祭、その街のシンボルとなるパブリックアート（野外彫刻）を訪ね歩いたが、その中で最も特別な経験は、イギリスの湖水地方、カンブリアに位置する Grizedale Sculpture（グライスデール彫刻の森）を訪ねたことだった。Grizedale Sculpture は、イギリスにおけるナショナルトラスト運動の流れを汲み、森の保全を行いながら自然と共存する彫刻を設置していくプロジェクトである。国際的に活躍するアーティストたちによる彫刻作品が点在する森では、都会の喧騒を離れ、休暇を楽しむために訪れた人々が、ゆったりと思いつきの時を過ごしながらか、自然との対話の中から生まれたアーティストのイマジネーションの世界に浸ることができる。この、まるで現代のおとぎ話のような広大な森を、私はたったひとり、一枚の地図を頼りに歩き、目指す場所によやくたどり着いた。土屋公雄『石造の暦』。暮れかかる空からの穏やかな木漏れ日の中、森の道祖神のように石積みみの塔が佇んでいた。ケルト文化を象徴するかのようなその作品には、歴史、場、人々の「記憶」を手がかりに作品を制作する土屋の、訪れた地への敬意とともに、人間の力の及ばぬ自然への畏怖の念が表れているように見えた。土屋は同時期に、第14回UBE ビエンナーレ招待作家として『底流』を制作し、大賞を受賞。その時から、遠く離れたカンブリアの深い森と宇部とが、彫刻という存在によって強く結ばれ、今でも私の旅の記憶として深く刻まれている。

もし、宇部を訪ねることができたら、たったひとつで構わない。あなただけの彫刻、そして、あなただけの物語に出会って欲しい。彫刻はその地と歴史に根ざし、長い時を経てもそこに佇み、あなたとの出会いを静かに待っている。

日沼禎子
ときわミュージアム アートディレクター
女子美術大学 教授

日沼禎子氏プロフィール

女子美術大学芸術学部卒業後、ギャラリー運営企画会社、美術雑誌編集者等を経て、1999年から国際芸術センター青森設立準備室、2011年まで同学芸員を務め、AIRを中心としたアーティスト支援、プロジェクト、展覧会を多数企画、運営する。市民アートサポート組織「ARTizan」（青森）プログラムディレクター、陸前高田市 AIR プログラムディレクター（2013年～現在）、さいたまトリエンナーレ 2016 プロジェクトディレクター、緑と花と彫刻の博物館（宇部市 ときわミュージアム）アートディレクター（2017年～）、他を歴任。

■龍心庭について～宗隣寺副ご住職の談

学術調査の結果、龍心庭は約700年前に作られたと言われています。干潟様という古いお庭としては日本に二つしか残っていないものの一つで、国の史跡名勝に指定されています。

This is called Ryushin Garden, which as a result of an academic research is said to have been built in about 700 years ago. Designated as a national historic site/place of scenic beauty, it is one of only two old gardens in the *Higata* (tideland) style in Japan.

手前の池中の八つの石は夜泊石といい、希望の出船を待つ帆船が帆をたたみ、休んでいる様を表しています。

Eight stones in the front pond are called *Yodomari* (night stay) stones, expressing the scene that sailing ships, waiting for the desired sailing out, are folding their sails and resting.

お寺の庭は、物言わぬ説法と言われております。各々どの様に接し、感じていただいても良いのですが、庭との接し方の一つを紹介しておきます。

A garden in a temple is regarded as a preaching without words.

廊下の右端から木、ないし石を見る。場所を変えて左端から同じ木、ないし石を見ると、角度が付き、違った表情を見せるというのはご理解いただけたと思います。厳密に言えば一歩動いただけでも、半歩動いただけでも違って見えるはずです。これは、心の置き場所を変えることによって、物事は違って見えますよということです。

Strictly speaking, if you move a step, or even half a step, you must see it differently. This implies that you will see things differently by changing your mindset. Since you could confirm it by looking at the garden of the temple today, you should practice it when you leave the temple and go back to your daily life. You should not merely come to the temple, look at the garden, and simply satisfy yourself: The important thing is what you will do after leaving the temple.

今日、寺の庭を見て、それがきちんと確認できたのだから、寺を離れて皆さんの日常に戻ってから、それを実践してもらわなければなりません。寺に来て、庭を見て、ただ満足するのではなく、寺を離れてからが重要です。心を動かす工夫を、ぜひ実践してください。

You may approach and feel it in whatever way you like, but I would like to introduce one way of approaching to a garden. From the right end of the corridor, look at a tree or a stone. You see that if you change your place and look at the same tree or stone from the left end, it will have a different angle to show a different look. Please elaborate on and practice what moves your mind by all.

坐禅 *zazen* (seated *Zen* meditation, usually in a cross-legged position)



坐禅は、禅の基本的な修行法の一つです。いまでも日本人に親しみ好まれています。

Zazen is a fundamental method of training in Zen Buddhism. It is still popular activity among people in Japan.

坐禅は姿勢を正して座り、沈思黙考して無の境地に入ることです。

It is a training in Zen Buddhism, in which one meditates deeply while sitting in a correct posture, in order to enter a spiritual state of nothingness.

坐禅をするうえでの意識する禅の言葉があります。「調身・調息・調心（ちょうしん・ちょうそく・ちょうしん）」です。まず身体を調える。姿勢を調える。そして呼吸を調える。身体と呼吸を正しく調えることで心も調う。坐禅瞑想をするときには、この3つが大切です。

When we practice Zazen, we remember these words: “Maintain posture, control breath, keep the mind calm.” First of all we have to prepare our bodies by adjusting our posture, and then our breathing. When we have the correct posture and breathing, then we correct our mind. These three things are important in Zazen meditation.

■坐禅の方法

zazen (seated *Zen* meditation, usually in a cross-legged position)

右の手のひらの上に左の手のひらを重ね、左右の親指を合わせます。

Put your left palm on your right palm with touching your thumbs each other.

背筋をまっすぐ伸ばします。視線は斜め下に向けて、半分ほど目を開きます

Straighten your back. Lower your gaze a little and keep your eyes half-open.

坐禅には2パターンの座り方があります。一つ目は結跏趺坐（けっかふざ）です。右足は左の腿の上に、反対の左足は同様に右の腿の上に組んで座ります。

There are two types of zazen sitting postures. One is Kekkafuza, sitting posture in Zen meditation by putting your both feet on your both thighs. Your right foot is put on top of your left thigh and vice versa.

もう一つは半跏趺坐（はんかふざ）です。片方の足だけを、もう片方の腿の上に乗せます。

Another is Hankafuza, sitting posture by putting only one foot on your opposite thigh.

警策（きょうさく）は木で出来た平たい棒で、修行者が坐禅中に雑念が入ったり眠くなったりしたときに叩くために使います。

Kyosaku is a wood-made flat bar, can be used to beat trainees when they lost posture.

【手順】※真顔で説明すると怖がってしまうので、明るく楽しみに話しましょう

1.右肩に警策があてられたのを感じたら、それは打たれる前の合図です。

Step 1, If you feel kyosaku put on your right shoulder, it means the sign that you will be beaten by Prayer.

2.警策を受けるために合掌してから首を左に傾け、それから前傾姿勢になります。

Step 2, to receive kyosaku, you join your hands in prayer and tilt your head to the left and have a head forward posture.

■坐禅について～宗隣寺副ご住職の談

坐禅を組むのが初めての方はおられますか？もしかしたら、我慢大会のような印象をお持ちの方おられましたら挙手してください。本来、坐禅はヨガのポーズの一つで、体をリラックスさせるためのものです。ヨガではいろんなポーズがありますが、それらは瞑想、私どもがいう坐禅のための準備運動なのです。

Is there anyone who does zazen (seated Zen meditation, usually in a cross-legged position) for the first time? If you have an impression that it is something like an endurance contest, please raise your hand. Originally, zazen is one pose of yoga to relax our body. While yoga has many poses, they are warm-up exercises for meditation, which we call zazen.

その昔、釈迦という方がおられた。お仲間と一緒に森の中にこもって苦行に励まれた。体を痛めつけたり、痛いことを我慢したりすることで、今と違うところに心を持っていこうという試みをされておられた。しかしながら、脱落したお仲間が一人、二人と森を抜けていく。最後の一人になられても苦行にはげまれるのですが、ついぞ、お釈迦様も森を抜けられることとなります。失意にくれられたと思うのですが、菩提樹という木の下で、この、体をリラックスさせるための坐禅を組み、昇る朝日を見ながらお悟りをひらかれたといふことで、私どもはこの坐禅をとっても大事にしております。

Once upon a time, there was a person called Shakyamuni (Buddha). He secluded himself in the woods with his associates to practice mortification. He tried to have a different mindset from the one he already had by hurting his body, putting up with pain and so forth. However, one after another, his associates dropped out and left the woods. He practiced mortification even after becoming the last one remaining, but finally, Shakyamuni abandoned the woods as well. Although he was deeply disappointed, he did zazen under a tree called Bodhi Tree to relax his body and earned enlightenment while seeing a rising sun: That's why we regard this zazen as very important.

基本的には、太ももの上に両方の足をのせて坐を組めると一番良いのですが、怪我をされている方、足や腰の悪い方、は正座であったり、パイ椅子を使ったりして取り組んでいただきます。坐禅は足をあげることだけが大事なわけではありません。正しい姿勢で、正しい呼吸を行い、正しい心の置き方を探しに行きましょうというのが坐禅です。皆さん、是非、チャレンジしてみてください。

Basically, it is the best to cross legs by putting both feet on the thighs; however, those who are injured or have problems with legs or back may practice by sitting straight or sitting on a pipe chair. For zazen, raising your legs is not the only important thing. Zazen is meant to explore a right mindset by taking a right posture and breathing correctly. Everyone, please give it a try by all means.

私どもは、向かい合うように座ります。まず、自分の座る位置、と申しますが、よろしくおねがいますということで、合掌、一礼をして座を組みます。

In our Rinzai sect, we sit facing each other. First, to the place you will sit, which we call Tan, press your hands together in prayer and make a bow, as a gesture of appreciation, and cross your legs.

ヨガ教室ではヨガマットの上で瞑想を行います。寺では、正しい姿勢を取るためのサポートとして座布団を使います。太ももの上に両方の足を乗せる事を、片足だけに乗せる事と言います。お尻に尖った骨があるのわかりますか？ 深く腰掛けると足がしびれやすくなりますので、お尻の尖った骨がちょこんと乗るくらいで座ります。

While they meditate on the yoga mat in the yoga school, we use a floor cushion to support the right posture in the temple. Placing both feet on the thighs is called lotus position, while placing only one foot is called half-lotus position. Do you know there are pointed bones in the buttocks? As sitting deeply is likely to make your legs numb, you should sit just to place the pointed bones of the buttocks lightly.

頭の上から糸で吊るされた様にイメージして、体を真っ直ぐにします。右手が下、左手が上で胸元に手を当てて頂き、そのままずっと下におろします。おへそから数センチ下、股間から数センチ上辺りにと言われるところがあります。東洋医学で、人間の気の中心と言われるところがあるのですが、そこに手を当てます。軽く顎を引いて、1メートル、ないし2メートル程前に視線を落としてください。そうすると、仏様のような細い目になります。

半眼と申しまして、仏様は半分で外を見て、半分で自分自身を見ておられると言われております。

Make your body straight, imaging as if you are suspended by a string from above your head. Place your hands on your chest with the left hand over the right hand, and swiftly lower them straight down while keeping them as they are. At a few centimeters below the navel and a few centimeters above the crotch, there is a spot called tanden (a focus point for internal meditative techniques). In the oriental medicine, there is a spot said to be the center of qi (vital energy), on which please place your hands. Pull your chin in slightly and look down to see about one or two meters ahead, please. Then you will have slit eyes like those of Shakyamuni. They are called half-eyes, with which Shakyamuni is said to see the outside world using the half while seeing inside himself using the other half.

口は閉じ、舌は軽く上顎にふれ、歯は噛み締めない様、歯と歯の間をわずかだけ離してください。噛み合っていると人間は緊張状態に入りやすいと言われております。複式呼吸ができる方は腹式呼吸を行ってください。出来ない方はゆっくり息を吸って、もっとゆっくり息を吐きます。息を吐くときに数を数えます。1, 2, 3……。10まで息を数えたらまた、1に戻って息を数えます。これは数息観という呼吸法です。今日は数を数えることに集中していただいても結構ですし、自分の呼吸が整ったなと思ったら、自分の呼吸に体を預けて頂いても結構です。

Close your mouth, touch the upper jaw lightly with your tongue, and leave a slight space between your teeth so that you will not clench your teeth. We, human beings, are said to become strained easily if we clench our teeth. If you can do abdominal breathing, please do so. If not, please inhale slowly, and exhale more slowly. Count numbers when you exhale. 1, 2, 3... When you count 10 for breathing, go back to 1 to count your breathing. This is a breathing technique, called Counting Breath Meditation. Today, you may concentrate on counting numbers; and if you feel your breathing is in good order, you may let your body follow the breathing.

正しい姿勢で、正しい呼吸を行い、正しい心の置き場所を探しに行く。今から鳴らしものを鳴らします。再び鳴らしものが鳴るまでが坐禅の時間です。それではチャレンジしてみましょう。

Explore a right mindset by taking a right posture and breathing correctly. Now, I will make sound with a sounding instrument. It will be the time for zazen until there is a sound from the sounding instrument again. Then, let's give it a try.

それでは、再び坐を組みますが、工夫の余地があります。先程は、深く坐りすぎていたから足が痛くなったのかな？ 最初は腰が伸びていたけれど、知らない間に腰が落ちていた等、各々工夫を試してみる。坐禅に限らず、皆様の日常においてもこの工夫というのは大事なことです。

Now, we will take the cross-legged position again, for which there is room for elaboration. Your legs may be aching probably because you sat too deeply for the last exercise, aren't they? You should try to elaborate on it, as you may have had straight back at first only to have the position of lower back sink without your noticing it, for example. This elaboration is important not only for zazen but also for your daily life.

■主な日本茶の説明

煎茶： 煎茶は最も人気があり、広く消費されている日本茶です。収穫後、煎茶の茶葉が通過し、(1) 蒸し、(2) 乾燥と混練（つぶし）、(3) 選別——が行われます。この処理は玉露と同じです。練り込むことで、茶葉が風味と成分を水に抽出します。

Sencha： Sencha is the most popular and widely-consumed Japanese green tea. After harvest, tea leaves for Sencha go through, (1) steaming, (2) drying and kneading (crumpling), and (3) sorting. This processing is the same as Gyokuro. Kneading enables the tea leaves to extract the flavor and constituents into the water.

玄米茶： 玄米茶は、煎茶とポップコーン状の玄米を混ぜ合わせたもので、おいしいポップコーンと焙煎した穀物の風味が加わります。カフェインはより少なめで金黄緑色です。米のおかげで、玄米茶は焙煎した穀物やコーヒーのような豊かな風味を持っています。また、おいしい朝食のお茶にもなります。

Genmaicha： Genmaicha is a combination of Sencha tea leaves mixed with puffed brown rice, which adds a delicious popcorn and roasted grain flavor. And it contains less caffeine. When brewed, this tea has a golden yellow green color. Due to the rice, Genmaicha has the rich flavor of roasted grains or coffee. This also makes a good breakfast tea.

ほうじ茶： ほうじ茶は、さらに焙煎された煎茶で、このお茶に特別な焙煎風味を与えます。ほうじ茶は、日光の下で茶葉が育つため、カテキンを多く含んでいます。また、カフェインが非常に少ないため、赤ちゃんにも適しています。醸造されると、この茶は透明な茶色で、イングリッシュブレックファーストティー、セイロン、ダージリンなどの基本的な紅茶と風味がやや似ていますが、より新鮮で健康的な味がします

Houjicha： Houjicha is Sencha that has been additionally roasted, giving this tea its special roasted flavor. Houjicha contains much Catechin because the tea leaves are grown in full sunlight. And it contains very little caffeine so it is suitable even for a baby. When brewed, this tea is a transparent brown color and is somewhat similar in flavor to basic black tea such as English breakfast tea, Ceylon or Darjeeling, although it tastes much more fresh and healthy.

■お風呂（温泉）の入りかた How to take a bath (onsen)

- ・入浴券は券売機で購入します
Bathing ticket can be purchased at the ticket-vending machine.
- ・温泉には、シャンプー、コンディショナー、ボディソープが備え付けられています
For hot springs, shampoo, conditioner and body soap are provided.
- ・脱衣所にはドライヤーがあります
There are hair-dryers in the dressing room.
- ・バスタオル（600円）、タオル（400円）はレンタルできます
You can rent a bath towel (600 yen) and a towel (400 yen).
- ・基礎化粧品、ヘアキャップ、ひげそりが必要な場合は、入浴券と一緒に券売機で購入できます
If you need a skin care product, hair cap, or shaver, you can buy them at the ticket-vending machine together with a bathing ticket.

1. 更衣室ですべての服を脱ぎ、バスタオルと一緒にかごに入れます。
多くの場合、貴重品用のコインロッカーが利用できます。
Take off all your clothes in the changing room and place them into a basket together with your bath towel. Coin lockers for valuables are often available.
2. 日本の温泉は裸で楽しめます。ただし、入浴エリアに小さなタオルを持参するのが習慣です。これにより、水辺にいなくてもプライバシーを強化できます。お風呂に入ったら、タオルを水の中に入れてください。
Be Japanese hot springs are enjoyed naked. However, it is the custom to bring a small towel into the bathing area, with which you can enhance your privacy while outside of the water. Once you enter the bath, keep the towel out of the water.
3. 入浴前に、入浴エリアにある洗面器を使って、蛇口または風呂の湯で体を洗います。伝統的に、体をすすぐだけで十分と考えられています。入浴前にシャワーを浴びることもできます。
Before entering the bath, rinse your body with water from either a tap or the bath using a washbowl provided in the bathing area.
Traditionally, just rinsing your body is considered sufficient, but you can also take a shower before entering the bath.

4. 入浴してしばらくお湯に浸かります。お風呂の水は非常に熱いことがあります（通常、温度は40～44度です）。熱すぎると感じる場合は、ゆっくりと入り、できるだけ移動しないようにしてください。

Enter the bath and soak for a while. Note that the bath water can be very hot (typical temperatures are 40 to 44 degrees). If it feels too hot, try to enter very slowly and move as little as possible.

5. しばらく浸かった後、お風呂から出て、スツールに座って水道水やシャワーを使い石鹸で体を洗います。日本のプライベートバスルームのように石鹸が風呂に入らないようにしてください。体を洗い終わったら、スペースを片付けましょう。

After soaking for a while, get out of the bath and wash your body with soap at a water tap or shower, while sitting on a stool. Like in private Japanese bathrooms make sure that no soap gets into the bath water. Tidy up your space after you finished cleaning your body.

6. お風呂に入り、もう少し浸ります。

Re-enter the bath and soak some more.

7. 入浴後、水道水で体をすすがないでください。温泉水のミネラルが体に完全に作用しません。

After you finished soaking, do not rinse your body with tap water, for the hot spring water's minerals to have full effect on your body.

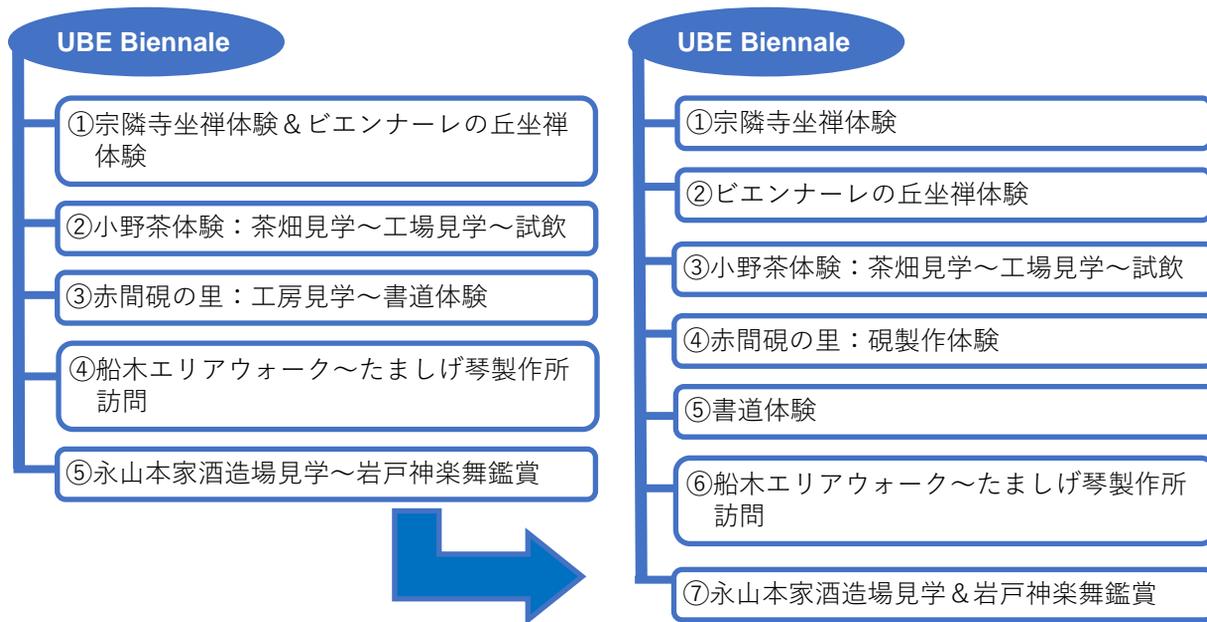
5. FAMツアーの実施について

「FAMツアーの実施」については、「3. 企画開発協議会の開催について」（35～41ページ）を参照。

6. 事業化の検討

コンテンツ改良方針

第四回協議会を踏まえ、これまで五つに見せていたコンテンツを七つに独立化。体験の幅、選択肢を広げ、観光客がより柔軟にアクセスできる余地を創出。



コンテンツ改良の背景にあるもの

1. UBEらしさ

- ① 工業都市、産業都市としての価値
- ② アートが生まれた歴史背景
- ③ 自然と文化が育む宇部ゆかりの素材（赤間硯、小野茶、お酒、神楽舞など）

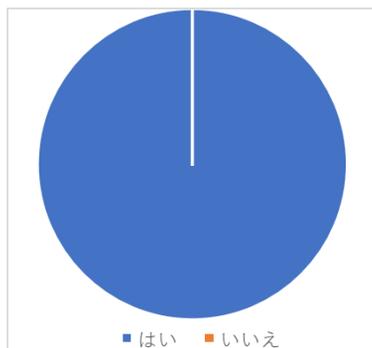
2. FAM参加メンバーからのフィードバックに基づく考察

- ・ UBEビエンナーレは、自由にアクセスしてもらうことを前提とし、彫刻鑑賞以外の観光資源の充実（補完）を図る
- ・ ただ通り過ぎるのではない、“滞在型観光”を実現するため、「見学」「体験」を重視したコンテンツのプランニング
- ・ 神社寺院にある狛犬や獏、船木宿に残る伝統建築、削って仕上げる赤間硯もまた一つのアート作品と解釈したプランニング
- ・ 琴職人、杜氏、書家、硯職人、農家。すべての人がクラフトマン。彼らからインスピレーションを得る旅としてのストーリー作り
- ・ アートの扉を開くきっかけづくりの旅の提供

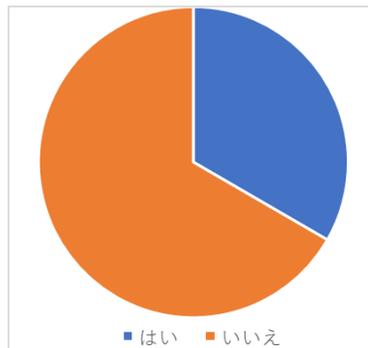
7. FAMメンバーアンケート結果に基づく総合評価

認知について

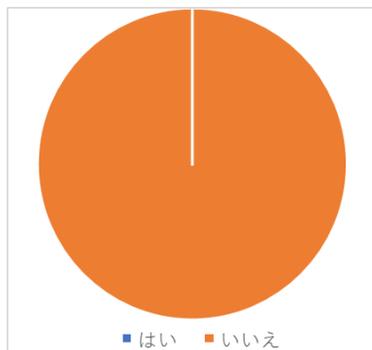
日本行きツアーを扱っている（トムを除く）
はい 5人 / いいえ 0人



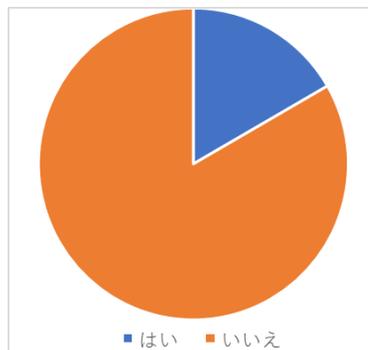
山口県を知っていた
はい 2人 / いいえ 4人



宇部市を知っていた
はい 0人 / いいえ 6人



UBEビエンナーレを知っていた
はい1人 / いいえ5人



フリーコメント

※太字は、トム（アートジャーナリスト）の感想

彫刻のある街の雰囲気はどう感じたか

- ・宇部に着いて一人で過ごしていたとき、街の中を歩きまわるのが難しいと感じ、彫刻がどう街中にマッチしているのかわからなかった。分かりやすい彫刻散歩道の発達はもちろん、より良いVRアプリや英語の表示。これらはこういった類のカルチャーショックに簡単に有益になるだろう。
- ・とても気に入り、驚きでもあった。
- ・ポジティブなエネルギーがいっぱいある素晴らしい場所。
- ・みんなとても親しみやすかった。
- ・率直に言うと、宇部に来るまでビエンナーレのことは知らなかった。ゲストが旅行で来るときは街の概要を事前に渡すとよい。

彫刻は印象的だったか？

- ・とてもそうだった。特別な場所だ。
- ・設置されている環境に驚いたのと同時に、それが本当に興味深く、作製者が地元の人達であることもより価値を与えていると思う。

関心を引く彫刻に出会えたか？

- ・いっぱいあった。例えば、天の川のある洞窟はとても気に入ったし、泡やクラゲも。写真もいっぱい撮ったし、私の中に記録されるモノになった。
- ・はい。でも作成者である**芸術家の情報**がもっと欲しい。
- ・最後に学校の外で見たもの。頭の中に宇宙がある寝ている老人。

ガイドの説明は分かりやすかったか

- ・とても熱心であった。

ガイドの説明は適切な長さだったか

- ・決まった曜日や日に、彫刻を巡るガイドルートを作るのも面白いのではないか。ルートにはテーマがあったり、それぞれの彫刻に英語で作製者が伝えたいことを表示するとよい。
- ・私のガイドに対するアドバイスは、**芸術や彫刻の歴史を学ぶことだ。**

彫刻を巡るツアーを友人に勧めたいか

- ・もちろん。
- ・世界でも一番古い彫刻公園であるという事実は明らかなマーケティングメッセージだ。
- ・ビエンナーレはベニスにもある。彫刻に興味を持つのは情熱がすごくある人だけ。それよりも日本の伝統的なものに注目したい。
- ・彫刻展示をよく知っている顧客はこのイベントを本当に楽しむだろう。

今回のツアーを自社商品に組み込む際の価格は？ 　いつごろ商品に組み込めるか？

- ・場合による。2020年3月末。
- ・言い難い。おそらく主に春や夏になるのでは。
- ・この地域に何日いるかによる。定かではない。
- ・5000ドル／人。2020年　秋／冬。

今回のツアーを組み込みが難しい場合、その理由になにか？

- ・街の外のホテルに滞在したい。今は存在しないことは分かっているが、田舎に宿泊先の可能性はあるか。
- ・船木地区は魅力が足りないが、改善の余地は有り。
- ・他の人気のある観光スポットから離れているため。典型的な日本を既に知っていて、違うものを発見したい人には興味を持ってもらえるかもしれない。
- ・宇部市を訪れる顧客のプランに彫刻ツアーを足すのは難しくない。
- ・まだ全てが整っていない。

どのようなターゲットのお客様に販売できそうか

- ・芸術産業の旅行者。アートコレクター。写真好きな人たち。こういった旅行者とつながりを作るために**国際的な彫刻公園や近代のギャラリーとパートナーシップを結ぶのもよいかも**かもしれない。
- ・文化やグルメ旅行が好きの人たち。ハイキングやサイクリング好きな人たち。
- ・珍しいことや地元の人と交流することに興味がある人たち。
- ・芸術や食べ物を楽しむ旅行者。
- ・芸術マニア。文化的に豊かで深い体験を求めている、私たちの趣味の洗練された顧客。

ツアー全体で印象に残ったスポットとその理由

- ・温泉、瞑想と周りの景観。両方毎日するチャンスがあれば歓迎する。これらのアクティビティを中心にした旅行にする。
- ・彫刻の公園。
- ・たましげのワークショップ。なぜならそれはとてもユニークで、地元の人や彼らの仕事と密接に関わることができる機会は素敵だから。
- ・湖の近くの公園で展示されているが、それ以外にも街のいたるところにあり、常にサプライズがあり、とても良い。
- ・座禅。お坊さんと時間を過ごし、座禅について学びながらリラックス／リセットする素晴らしい方法。
- ・魚介類の質。それだけで日本の魚の専門の場所という売りになる。
- ・座禅。他のアクティビティのテーマになり得る。
- ・書道のワークショップ。こんな興味深い芸術を習い始めることはとても素晴らしいから。
- ・食文化。すごく良いレストランやバーが街中に集まっていて、旅行者にとって、とても良い。
- ・食事体験。Noelと明德。スタッフがとても従事していて、私たちとその情熱を分かち合うことを喜ばながらしてくれた。
- ・ときわ公園は全体として、また戻ってもっと探検したいと思える、本当に特別な場所だ。
- ・琴の工房。
- ・お寺と公園の外でした坐禅。それはとても面白い体験で、外国での旅行であちこち見て回りたいがために常に急いでいる中で、ただ止まって集中することは良かったから。茶畑。初めて見て、美しかったから。
- ・温泉。とても良いが、宇部市の観光客にとって簡単にアクセスができるのだろうか。バスがあるのかもしれないが。
- ・船木ウォーキングツアー。街の鼓動を足で感じて、他の観光客が見られないものをガイドのおかげで見れたことを楽しんだ。
- ・私の興味はお寺で見られる古代の彫刻と現代の日本彫刻の系統への洞察である。

その他スポットに関するフィードバック

Noel（フレンチレストラン）

- ・シェフの家で食事をしているかのようなアットホームな心地よさ。
- ・洞窟レストランが開店するまでに、誰かをそこに連れて行くなら、最初にコンピュータで新しい洞窟レストランのプレゼンを見せるのは価値があることだ。
- ・イギリス旅行者は同じくらいの値段を払うなら、伝統的な日本食の方により興味あるのではないかと思う。
- ・食事を楽しんでいることを確認するためにシェフしょっちゅう顔を出してくれたのがとても良かった。
- ・新鮮で、とても美味しく、複雑で、素晴らしかった。
- ・食事の説明があるといい。どこから来たのか。その地域のものなのか。味はどうなのか。
- ・食事は必然的に日本とフランスのフュージョン料理で、珍しくとても美味しかった。しかし、これをただのフランス料理のレストランとしてマーケティングするより、「日本人のマスターシェフによる伝統的なフランス料理」のように、明確にしたほうが価値があるのではないか。
- ・素晴らしい食事。なぜシェフがこれを私たちに出したのか（特に地元の食材の供給源）をもっと知っていたかった。
- ・飲み物と食べ物をセットにした（選ばなくてよい）メニューを作ると良い。
- ・食事を取る前に、ウエルカムドリンクを飲みながらするのもいいかもしれない。ワインと食事の相性について説明することも検討すると良い。
- ・場所と人に感動した。サービスは見事で、期待を超え、新しいレストランを私たちのパッケージに含むことを確実に検討する。
- ・あんな類のレストランが宇部にあることに驚いた。
- ・シェフの芸術プロジェクトについて知ることはすごく気に入った。これは宇部市が将来アジアの既存の価値観を打ち砕くような芸術メッカになることを目標とする事を試験的に披露する場所の最高の体験だった。



かまたの恵（休憩処・日本文化体験）

- ・着物体験はとても良かった。甘いイチゴと抹茶も。
- ・イチゴのことについてだと思うが、美味しかった。
- ・お手頃で、素晴らしい値打ちがある。
- ・伝統的な衣装を着て幸運だったが、今回は少しドタバタしてあまり楽しめなかった。女性たちが作っていた工芸品の説明とそれを買う機会があったら良かった。そこは素敵だった。



一代目豊（居酒屋体験）

- ・食事の種類と質に驚き、楽しんだ。
- ・とても楽しい経験。とても本格的だと感じた。もうちょっと上品さを求めている旅行者は食べている魚が何なのかには興味を持つかもしれない。しかし、食事もサービスもプレゼンも最高だった。よりいいワインリストかビールの選択肢があるといいかもしれない。
- ・店の雰囲気、店員の対応ともにとっても楽しく、実験的。
- ・雰囲気もサービスも欠点なし。
- ・Noelとあわせて両方楽しめるプランは、良いと思う。伝統的な味の体験と快適で居心地の良い場所との融合。
- ・親しみやすいスタッフのいるとても良い居酒屋。日本独特のユニークな体験。



楠こもれびの郷（農家レストラン～温泉体験）

【楠こもれびの郷全体】

- ・ ルートに合っていればとても良い場所。
- ・ 観光が地域を景気付けると同時に、農家によって支えられるプロジェクトがとても気に入った。この場所を、自然やワークショップ、リラックスと健康で、活かせる可能性を感じた。
- ・ こちらに行くバスはあるのだろうか。日本は、日本語が話せない（読めない）人にとって運転するのには向いていないので、施設に行く簡単な方法が必要である。



【ワクワクの湯】

- ・ マーカスがいなかったら、文化的失言や失態を犯したかもしれない。どうすべきなのか、未経験の西洋人には、1から説明するといいかもしれない。
- ・ 宿泊先に（温泉が）なければ、とても気持ちのよい温泉体験になる。
- ・ 毎日入浴したかった。
- ・ 温泉には入らなかったが、外湯と内湯があることやロッカー周りの脱衣所見ることはできた。自然で現代的な外観と自然のハーモニーは素晴らしかった。
- ・ この場所がとても気に入った。色んなアクティビティーの拠点になる。宇部にまた行くことがあるなら温泉に入って、ここで毎日瞑想したい。
- ・ 親しみやすいスタッフ。
- ・ ここに長く居すぎた。温泉、説明とお昼合わせて、長くても一時間で充分だった。
- ・ 食べ物はとても美味しく値段もとても良かった。

スナックみずえ（スナック体験）

- ・ 一晩中のカラオケと飲み物とおつまみでよいと思う。
- ・ 2000円の価値あり。
- ・ とても楽しかった。欠点を探すのが難しい夜だった。
- ・ これは「おばあちゃん」による私たちのグループへのサービスと心遣いで、とてもな体験だった。一日（旅）の中で最高の一つ。
- ・ 日本の文化の一部としてとても楽しんだ。旅行者にとって、とても面白く、思い出になる。



明德（寿司割烹）

- ・ 本当に質が高い。それについての説明がもっとあると良い。
- ・ いろんな理由で忘れがたい。食事の質と料理人の客を喜ばせる演出。
- ・ 驚くべきものだった。
- ・ 本格的で独特。ウエイトレスが飲み物のオーダーを受けれるくらいの簡単な英語がわかるといい。
- ・ スタッフとの関わり合いやカウンターの後ろに入って自分たちでお寿司を握った事はものすごく気に入った。
- ・ 客と関わりあえる素晴らしいチーム。とても美味しい食事。団体にも小さいグループにも良い部屋がある。
- ・ ここで夕食を食べる機会をととても気に入った。それぞれの食べ物が何なのかの説明が聞こえるように、4人以内の少人数であることをお勧めする。



8. 最終コンテンツの報告

コンテンツ①宗隣寺坐禅体験

【改善ポイント】

- ・よく理解できた。前半に説明をしっかりとってもらうほうが、初心者にはよいのかも。
- ・講話をもっと聞きたかった。

- ・副住職に参加者の要望を伝え、今後の実施に反映していただくことで課題を解消。
- ・「ガイドマニュアル」に坐禅体験に関する情報を掲載（別紙）。英語ガイドが情報を補える体制を今後さらに構築することで課題の解消を目指す。
- ・参加にあたって、ガイドマニュアルにある「坐禅の説明」「講話」をプリントして配付することも検討できる。

最終コンテンツ①宗隣寺坐禅体験



OVERVIEW

アートを巡る旅を坐禅でスタートしませんか。

長州藩の永代家老であり、宇部領主であった福原広俊公の菩提寺でもある「宗隣禅寺」では、本格的な坐禅を体験できます。ただ、坐禅を組んで時間を過ごすのではなく、坐禅の正しい姿勢とところの置き方までをていねいに解説いただけるのが、大きな魅力。坐禅を通して感じ取れるところの変化は、これから出会うさまざまなアートを新しい視点と気持ちで鑑賞することにも役立てられるでしょう。県内最古の庭園であり、国の名勝の指定を受ける、龍心庭も見ものです。

価格情報

- 価格（税込） ¥3,500JPY/人
一人増えるにつき、+1300円

- 含まれるもの
坐禅体験料、庭園鑑賞料、英語通訳料（4人まで同額）

受け入れ情報

- 実施期間 通年（法事など行事が無い日に限る。要問合せ）
- 体験詳細 坐禅20分×2回、坐禅説明30分、庭園鑑賞20分
- 所要時間 90分
- 催行人数 4人～12人
- 申込期日 2週間前

- 注意事項
正座や胡坐ができない方には、イスをご用意します。
予約時にご連絡ください。

■問い合わせ先 宗隣禅寺

- ・電話番号 0836-21-1087
- ・メールアドレス sourin-yonyon@camel.plala.or.jp
- ・住所 〒755-0067 山口県宇部市小串210
- ・アクセス

JR宇部線「宇部新川」駅より、徒歩約25分
「宇部新川」駅より路線バス「小串」バス停下車 徒歩5分

コンテンツ②ビエンナーレの丘坐禅体験

【改善ポイント】

- ・ビエンナーレについて、西洋人の客に対し、もっと情報があってもいいのではないか。
- ・どのように賞が決められるのか。その歴史は？

- ・ガイドレベルの向上（英語力、ビエンナーレに関する知識、アートに関する知識の習得）によって課題解消を目指す。
- ・観光パンフレット、既存ウェブサイトの情報拡充、看板の架け替えなども今後検討できる。

- ・私は幸運なことに、彫刻の代わりに植物園を訪れることができた。そしてそれは素晴らしかった。みんなにも彫刻だけでなく、その機会があるべきだったと思う。
- ・ちょっと急ぎ気味。もう1時間あるとゆったりと楽しめ、歩き回る時間も十分あっていい。
- ・動物園にも行ってみたかった。

- ・彫刻ガイドの時間の充実。彫刻散策のみならず、植物園や動物園にも足を運べる柔軟性をプランに盛り込む。

最終コンテンツ②『ビエンナーレの丘』坐禅体験 & 彫刻鑑賞ツアー



OVERVIEW

彫刻のまち宇部のシンボルとして、市民に愛される彫刻が、UBEビエンナーレの丘に立つ『蟻の城』。その堂々たる姿を眼前に捉えながら坐禅を行えるのが、本プログラムです。気持ちを高揚させるアートと、無の境地を追求する坐禅。一見、対極にある二つですが、集中もクリエイトもすべては無から。無があるから有が生まれる。そんな心境に至れる感覚を360度自然のなかで呼び覚ませます。

坐禅後は、公園内に約200点存在する彫刻を、ガイドの解説付きで散策しましょう。お気に入りの一つにきっと出合えるはずです。

価格情報

- 価格（税込） ¥2700JPY/人 一人増えるにつき+500円
- 含まれるもの
坐禅体験料、彫刻ガイド料、英語通訳料（4人まで同額）

受け入れ情報

- 実施期間 通年（法事など行事が無い日に限る。要問い合わせ）
- 体験詳細 坐禅20分×1回、アート鑑賞（ときわ公園内）
- 所要時間 90分
- 催行人数 4人～12人
- 申込期日 2週間前
- 注意事項

ビエンナーレの丘に直接お集まりください。本プログラムは、現地集合、現地解散の野外プログラムです。お昼を挟む場合は、彫刻ボランティアガイドに対し、昼食代として1,000円をお支払いください。

■問い合わせ先

宗隣禅寺

- ・電話番号 0836-21-1087
- ・メールアドレス sourin-yonyon@camel.plala.or.jp

■会場インフォメーション

- ・住所 〒755-0003 山口県宇部市則貞3-4-1
- ・電話番号 0836-54-0551
- ・アクセス

JR宇部線「常盤」駅より、徒歩約15分
宇部新川方面から：萩原線・萩原循環線利用「ときわ公園」バス停下車、東部市内循環線「めぐりーな」を利用。「ときわ公園」「ときわミュージアム」バス停下車。

コンテンツ③小野茶体験：茶畑見学～工場見学～試飲

【改善ポイント】

- ・何が違う種類のお茶なのかははっきりしていると良い。ガイドではなく他のツアーオペレーターに聞かなくてはならなかった。
- ・茶業のスタッフのプレゼンテーションが良くなれば、喜んで勧められる。工程を順を追って説明したり、どの機械がその順番で使われるかを見せるなど。インドでティープランテーションに行ったことがあるので、興味深いツアーになり得るのはわかっている。
- ・ポテンシャルはあるが、演出を意欲的にするべきだ。畑の近くや工場でもよりよいプレゼンが出来ると良い。しかしその景観や近くに活動的なスポットがあるため、ツアー候補にはなる。
- ・機械を操作しながら、または相互作用のある説明で旅行客の体験をよりよくダイナミックにするべきだと思う。

- ・山口茶業様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶガイド、説明の仕方）によって課題を解消。
- ・英語パンフレットの制作も検討できる。
- ・通訳ガイドの習熟度の向上やテクニックの伝授によって、課題の解消を目指す。
- ・茶畑に極限まで近づけるアクティビティの追加と、山口茶業ご担当者様の動的なプレゼンテーションの実施をプランに盛り込む。

最終コンテンツ③小野茶体験



OVERVIEW

一か所での茶面積、日本一を誇る小野茶の茶畑。見渡す限り広がる緑のじゅうたんは、この地区特有の緩やかな丘陵地を活かして形成されています。この広い茶畑を一望しながら、その特色やお茶の生育に関する知識、生産工程を知れるのが、本プログラムです。茶畑を一元管理する山口茶業のご担当者とともに、見て触って、香って、緑茶の持つその清々しさを五感でぜひ味わってください。

茶畑見学後は、工場見学、茶葉や加工品のショッピング体験をご用意しています。

価格情報

■ 価格（税込） ￥12,000JPY / 1グループ

■ 含まれるもの

茶畑見学科、工場見学科、英語通訳

受け入れ情報

■ 実施期間 通年

■ 体験詳細 小野茶に関するレクチャー、茶畑見学、工場見学、試飲、ショッピング

■ 所要時間 80分（茶畑見学&レクチャー20分、工場見学20分、買い物&試飲20分）
※移動時間を含まず

■ 催行人数 4人～12人

■ 申込期日 2週間前

■ 注意事項

本プログラムは、現地集合、現地解散の野外プログラムです。茶畑と工場・直売所が離れており、車による移動が必要です。

■ 問い合わせ先

株式会社山口茶業

・住所 〒754-1314 山口県宇部市大字櫛原152-13

・電話番号 0836-64-2116

コンテンツ④赤間硯の里：工房見学

【改善ポイント】

彫刻に興味がある人は、硯の熟練した職人から学ぶためにここに長く滞在してもよい。ワークショップも出来るのだろうか。

- ・日枝陽一氏による「硯製作体験」をプランに盛り込む。本格的に取り組みたい人向けの「スタンダードプラン」、気軽に体験できる「ライトプラン」を用意し、期待に応える

最終コンテンツ④赤間硯の里：硯製作体験



OVERVIEW

その歴史は920年前にさかのぼると言われる、赤間硯。毛利氏が藩を治めていた時代には、原料の赤間石が採れる山は入山が厳しく管理され、参勤交代の贈り物として硯が必要になると、藩主の命令で採掘が許可されるほど希少な品でした。現在は、山口県を代表する工芸品の一つとして知られ、「東京2020」の記念品にも選ばれています。

本コンテンツでは、採石、縁立て、削り、彫り、磨きの大きく五つからなる赤間硯の制作工程のうち「削り」を体験できます。完成したオリジナルの硯は、習字の道具として使うことはもちろん、ペーパーウエイトやアクセサリースタンドの用途としても長くご愛用いただけます、気軽に楽しみたい方のために、ライトプランもご用意しています。

【スタンダードプラン】

価格情報

■価格（税込） **¥10,500JPY/人**

一人増えるにつき+5000円

■含まれるもの

製作体験料、材料費、英語ガイド（5名まで同額）

■含まれないもの

硯発送費 ※漆で仕上げたのちお手元にお届けします

受け入れ情報

■実施期間 通年（10時スタート、15時終了）

■体験詳細 赤間硯に関するレクチャー、硯製作

■所要時間 5時間（午前2時間、休憩1時間、午後2時間）

■催行人数 5人～12人

■申込期日 2週間前

■注意事項 体験会場は、「万倉ふれあいセンター」になります。昼食は「楠こもれびの郷」（徒歩3分）で調達ください。

【ライトプラン】

価格情報

■価格（税込） **¥10,000JPY/人**

一人増えるにつき+5000円

■含まれるもの

製作体験料、材料費、工房見学科、英語ガイド（2名まで同額）

■含まれないもの

硯発送費 ※漆で仕上げたのちお手元にお届けします

受け入れ情報

■実施期間 通年

■体験詳細 赤間硯に関するレクチャー、工房見学、硯製作

■所要時間 80分（VTR視聴20分、工房見学20分、製作体験40分）

■催行人数 2人～4人

■申込期日 2週間前

■問い合わせ先

赤間硯の里

電話番号 0836-67-0641

コンテンツ⑤習字体験

【改善ポイント】

- ・最初にワークショップの歴史や書道について（ビデオと説明で）教えてもらっていたらより良かった。歴史や他の説明を受けたのが、アクティビティをした後だったので、混乱した。
- ・ブラシをどう扱うのかや必要な圧の説明が長いほうがよかった。
- ・ワークショップで旅行客がやって見る前に、やってみせるのは良いと思う。

・日枝先生への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶガイド、説明について）サポートの実施、英語ガイドの積極的なサポートによって、これら課題を解消。

- ・ブックマークの製作まで終わらせられたのなら素晴らしい体験になっただろう。時間の都合で（時間管理が悪かったため）できなかった。もう少し時間があつたらよかった。
- ・小さいグループで行われることが大切だ。
- ・ここでの私の唯一の心残りは、長く滞在して書道の練習することができなかったことだ。この体験をととても楽しんだので、また、喜んで体験したい。

・体験時間を70分→120分に変更したプランに再設定。このほか、さまざまな改善ポイントは、体験する環境にもあると考え、講義スタイル（一人ひとりに対し、机と椅子がある状態）に変更し、体験のしづらさや物理的な窮屈さを解消。

最終コンテンツ⑤習字体験



価格情報

- 価格（税込） ¥5,500JPY/人
一人増えるにつき+2700円
- 含まれるもの
体験料、飲食費、英語ガイド（6人まで同額）
- 含まれないもの 材料費（一人当たり500円）

受け入れ情報

- 実施期間 通年
- 体験詳細 習字体験（栞制作まで）、軽食
※時間があれば、着付け体験など会場独自の日本文化体験グラムを無料でお楽しみいただけます。
- 所要時間 2時間30分（習字体験2時間、軽食30分and more）
- 催行人数 1人～10人
- 申込期日 催行10日前
- 問い合わせ先
かまたの恵
・電話番号 0836-32-1824
・メール ohagi333@galaxy.ocn.ne.jp
・住所 〒755-0072
山口県宇部市中村一丁目6番50号

OVERVIEW

墨をたっぷり含んだ筆で自由自在に文字を書く習字。東洋の造形芸術と言われるこの習字を、山口県を代表する宇部の工芸品「赤間硯」を使って体験できるコンテンツです。書家としても活動する講師のレクチャーのもと、ただ文字を書くだけでなく、「間（ま）」を大切に和の心、心の状態が文字に現れるという書道ならではの精神性に触れることができます。好きな言葉を和紙にのせるおもしろさをぜひ体験ください。出来上がった作品で栞をつくるなど、体験を思い出の品に変えて持ち帰ることも可能です。

習字体験の後は、会場である「かまたの恵」の名物おはぎと抹茶で一服をどうぞ。

コンテンツ⑥船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問

【改善ポイント】

【船木宿ウォーク】

- ・まずあまり背景が見えずピンと来ず、もう存在しないもの、想像するしかないものについて話すことは意味がないと思う。大切なのはその村にまだあるもの、そして何が特別なのかに焦点を当てることだと思う。
- ・館長（学びの森くすのき）の説明は、英語に訳すのが難しかったため、がっかりした。

- ・ガイドに向け、“興味を呼び起こせるストーリーテリング”の習得を促し、外国人観光客の「知りたい」に応えられる体制の構築によって解消を目指す。
- ・ガイドによる、楠エリアに関する知識の習得によって解消を目指す。

【たましげ琴製作所】

- ・オーナーが工房内を私たちを連れて歩いて、日本の音楽文化や芸術の中での琴の重要性はもちろん、製造工程を説明してくれたらとても良かった。
- ・デモンストレーションのあとで、男性の参加者には笛のプレゼントがあったのに、私たち女性にはなかったことに驚いた。

- ・たましげ様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行者が喜ぶガイドや説明、避けたほうが良い慣習、感じ方の違いの説明）を行うことで、これらの課題を解消。

少人数のグループでなければならない。／大人数向きではない。

- ・ガイドや通訳が同行することも加味しつつ、催行人数を見直し、最終プランに反映。

最終コンテンツ⑥船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問



OVERVIEW

楠エリアの文化拠点である「学びの森くすのき」をスタート地点に、全国でも4社しかない清酒醸造許可を持つ岡崎八幡宮、江戸時代に栄えた船木宿場を歩きながら、たましげ琴製作所を訪問するプログラムです。散策途中で出会う狛犬や猿、神社仏閣の伝統的な意匠、宿場町に残る伝統建築の様式など、日本の歴史が育んださまざまな“粋”にアートを見いだせるばかりでなく、それら一つひとつが織りなすストーリーも一緒にお楽しみください。

最終目的地の「たましげ琴製作所」では、四代目琴司 玉重彰彦氏が琴の歴史や製造法をていねいに解説。工房内も自由に見学できるほか、演奏も体験できます。

価格情報

- 価格（税込） ¥15,000JPY / 1グループ
- 含まれるもの
観光ガイド料、通訳料、たましげ琴製作所見学体験料

受け入れ情報

- 実施期間 通年
- 体験詳細 船木エリアに関するレクチャー、エリア散策（岡崎八幡宮～宿場町）、たましげ琴製作所（工房見学、演奏体験）
- 所要時間 2時間20分（船木宿ウォーク80分、たましげ琴製作所60分）
- 催行人数 4人～6人
- 申込期日 催行4週間前

■ 注意事項

本プログラムは、野外活動が含まれています。現地集合、現地解散のプログラムです。お昼を挟む場合は、観光ガイドボランティアに対し、昼食代として1,000円をお支払いください。

■ 問い合わせ先

Essence

- ・ 電話番号/FAX 0836-39-9611
- ・ メールアドレス vizio@nifty.com

コンテンツ⑦永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞

【改善ポイント】

【永山本家酒造場】

- ・彼は商品や製造工程を見せることにもっと従事するべきだ。
- ・オーナーは知識が豊富だったが、情熱や私たちへのグループへのアプローチを感じなかった。
- ・製造や歴史についての説明がもっと必要。映像はイメージフィルムで、酒の情報ではなかった。
- ・酒造場の訪問はもっと魅力的になるように、コミュニケーションがあるといいと思う。
- ・色んなお酒の味見の案内はなし。
- ・お酒の味見も、違いが分かるように違う種類のものが含まれるべきだ。それぞれのものの説明も必要だ。私はワインの世界や他の飲み物が好きなので、ワイナリーや醸造所などに何回か行ったことがある。こういった訪問を魅力的にするのは、例えば、興味のある、食べ物との相性について話したりすることだと思う。
- ・スタッフによる詳しい味見の申し出や説明があるとよい。

- ・永山様への確かなフィードバックと助言（外国人旅行客が喜ぶ情報に関するレクチャー、説明の仕方、話しかた）を行うことで、これらの課題を解消。
- ・ガイドがフォローできる（観光客に代わり質問するなど）体制の構築、知識・心得の構築。

【岩戸神楽舞鑑賞】

- ・ダンスの意味やスタイルについての説明（情報）が充分ではなかった。しかしこれは簡単に解決できる。
- ・この神楽のスタイルと目的とその重要性（酒造や稲刈りとのつながり）の説明が必要だ。

- ・ガイドによる情報提供、英語パンフレットの事前配付等による事前情報の充実化による解消を目指す。

最終コンテンツ⑦永山本家酒造場見学×岩戸神楽舞鑑賞



OVERVIEW

お酒と神楽。五穀豊穡、無病息災を祈るとともに神様に捧げるこの二つがコラボレーションした、特別なプログラムです。前半は、宇部市が世界に誇る銘酒「貴」の醸造工程を学べる見学ツアー。独自の自然が育む米と水から生まれる日本酒をこころゆくまで味わえるテイastingも楽しめます。その後は翹室前の厳かな空間で、岩戸神楽舞を鑑賞しましょう。2018年に復活を遂げたばかりの神楽一団は、地元の高校生、社会人有志を中心に構成。明かり取りの窓から差し込む一筋の光を背景に舞う神楽の荘厳さは、息をのむ美しさです。

国の登録有形文化財である、オフィス棟にも注目です。

価格情報

- 価格（税込） ¥48,000JPY/1グループ
- 含まれるもの
酒造見学料、試飲料、神楽鑑賞料、英語ガイド料

受け入れ情報

- 実施期間 通年、ただし土日祝日の日中
- 体験詳細 酒造見学、試飲、岩戸神楽舞鑑賞
- 所要時間 1時間40分（酒造場見学40分、岩戸神楽舞鑑賞40分、試飲20分）
- 催行人数 6人～12人
- 申込期限 30日前

■ 注意事項

- ・ 永山本家酒造場に直接お越しください
- ・ 20才以下の方の試飲はご遠慮いただいております。
- ・ インフルエンザなどの流行時期は、マスクの着用をお願いする場合がございます。
- ・ 冬場は防寒対策のうえご参加ください。

■ 問い合わせ先

- 岩戸神楽舞復興委員会
・ 電話番号 0836-67-0201

■ 会場インフォメーション

- 永山本家酒造場
・ 住所 〒759-0133 山口県宇部市大字車地138番地
・ 電話番号 0836-62-0088

9. 最終コンテンツに基づいた旅行企画の提案

1. 二泊三日プラン①：セルフアートディスカバリーツアー

宇部にゆかりのあるアートを鑑賞&体験の両面から楽しみながら自分の知的好奇心を追求する、アートに特化したプランです。

2泊3日／64,000JPY ※4人で参加した場合の一人当たりの料金

プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費（2日目を除く）、各日昼食代、硯発送料（実費）、習字材料費（500円）、温泉入浴料（620円・タオル代別途）

ホテル候補：ANAクラウンプラザホテル宇部、国際ホテル宇部
オプションメニュー：植物園入場料（300円）、動物園入園料（500円）、居酒屋、ご当地ラーメン、スナックを巡るディープナイトツアー

- ハイライト
- ・宇部に息づくクラフトマンシップに触れられる三日間
- ・アートを見る新しい目を養う禅メディテーションと彫刻鑑賞の実践
- ・920年前から続く硯づくりを体験&日本の伝統家屋で触れる書の道

スケジュール		スタート	終了
DAY1	宗隣禅寺坐禅体験	10:00	11:30
	移動・昼食（市街地、ときわ公園内など）	11:30	13:30
	ビエンナーレの丘坐禅体験	13:30	14:00
	彫刻鑑賞ツアー～植物園、動物園などの自由散策を含む	14:00	16:00
	移動・宿泊先着	16:30	
DAY2	ホテル出発	9:20	
	小野茶体験（山口茶業）	10:00	11:30
	昼食～温泉（楠こもれびの郷）	12:00	13:50
	硯工房見学&硯製作体験：ライトプラン（赤間硯の里）	14:00	15:30
	移動・宿泊先着	16:30	
※2日目の移動は、貸切タクシーを利用			
DAY3	ホテル出発	10:00	
	習字体験～軽食～日本文化体験：着物着付け体験、茶道体験等（かまたの恵）	10:00	15:00
	終了		

2. 二泊三日プラン②：宇部満喫フルコース

宇部に点在するあらゆる観光コンテンツを余すことなく堪能できるプランです。宇部にある新旧のアートの妙味を五感で触れてみませんか。

2泊3日／80,000JPY ※4人で参加した場合の一人当たりの料金
プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費（2日目、3日目午前中の移動は除く）、各日昼食代、習字材料費（500円）、温泉入浴料（620円・タオル代別途）

ホテル候補：ANAクラウンプラザホテル宇部、国際ホテル宇部
オプションメニュー：植物園入場料（300円）、動物園入園料（500円）、居酒屋・ご当地ラーメン・スナックを巡るディープナイトツアー

- ハイライト
- ・アートを見る新しい目を養う禅メディテーションと彫刻鑑賞の実践
 - ・古い町並みの残る一画を散策しながら新旧のアートと出会う旅
 - ・琴司、杜氏、伝統芸能伝承者、書家……アーティストの感性に触れる

スケジュール	スタート	終了
DAY1 宗隣禅寺坐禅体験	10:00	11:30
移動・昼食（市街地、ときわ公園内など）	11:30	13:30
ピエンナーレの丘坐禅体験	13:30	14:00
彫刻鑑賞ツアー～植物園、動物園などの自由散策を含む	14:00	16:00
移動・宿泊先着	16:30	
DAY2 ホテル出発	9:00	
小野茶見学（山口茶業）	9:40	11:00
昼食～温泉（楠こもれびの郷）	11:30	13:10
船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問	13:30	15:50
移動～宿泊先着	17:00	
※2日目の移動は、貸切タクシーを利用		
DAY3 ホテル出発	9:20	
永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞	10:00	12:00
移動・昼食（市街地）	12:00	13:30
習字体験～軽食～日本文化体験：着物着付け体験、茶道体験等（かまたの恵）	13:30	17:00
※ホテル～永山本家酒造場～昼食会場は、貸切タクシーを利用		

3. 一泊二日プラン①：クラフト体験コース

宇部の名工芸品「赤間硯」の製作体験と習字体験に特化。ものづくりの醍醐味を心のままに探求できます。宇部市だからこそ体験できる特別な旅です。

1泊2日／31,000JPY ※4人で参加した場合の一人当たりの料金
プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費、各日昼食代、硯発送料（実費）、習字材料費（500円）、温泉入浴料（620円・タオル代別途）

ホテル候補：ANAクラウンプラザホテル宇部、国際ホテル宇部
オプションメニュー：植物園入場料（300円）、動物園入園料（500円）、居酒屋・ご当地ラーメン・スナックを巡るディープナイトツアー

- ハイライト
- ・クラフトマンシップに触れるアートな旅
 - ・緊張したからだを心地よく癒す温泉と人の温もり
 - ・硯と習字の運動性を体感。「和」づくりのワークショップ
 - ・アートと自然で締めくくる、宇部の文化体験

スケジュール	スタート	終了
DAY1 赤間硯製作体験（万倉ふれあいセンター） ※昼食休憩60分を含む	10:00	15:00
休憩・温泉（楠こもれびの郷）	15:30	17:00
移動・宿泊先着	18:00	
DAY2 ホテル出発	9:20	
彫刻鑑賞ツアー（ときわ公園：植物園、動物園などオプションあり～市街地）	9:30	12:00
昼食（ときわ公園または市街地）	12:30	13:30
習字体験～軽食～日本文化体験：着物着付け体験、茶道体験等（かまたの恵）	13:50	17:30
終了		

4. 一泊二日プラン②：自然&アート満喫コース

宇部に点在するあらゆる観光コンテンツを余すことなく堪能できるプランです。宇部にある新旧のアートの妙味を五感で触れてみませんか。

1泊2日／35,000JPY ※4人で参加した場合の一人当たりの料金
 プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費（貸切タクシー以外の移動）、各日昼食代、温泉入浴料（620円・タオル代別途）
 ホテル候補：ANAクラウンプラザホテル宇部、国際ホテル宇部
 オプションメニュー：植物園入場料（300円）、動物園入園料（500円）居酒屋、ご当地ラーメン、スナックを巡るディープナイトツアー

- ハイライト
- ・「花と緑と彫刻のまちうべ」をゆったり満喫できる
 - ・シティとローカル、新旧のアート。対比を同時に楽しむ旅

スケジュール	スタート	終了
DAY1 市内送迎～移動	9:00	9:30
小野茶体験（山口茶業）	9:30	11:20
移動～昼食（市街地、ときわ公園内など）	11:40	13:00
ビエンナーレの丘坐禅体験	13:00	13:30
彫刻鑑賞ツアー：植物園、動物園なども自由に散策	13:30	16:00
移動～宿泊先へ		
※午前中の移動は、貸切タクシーを利用		
DAY2 ホテル出発	9:00	
船木宿ウォーク～たましげ琴製作所	9:40	12:00
昼食・温泉（楠こもれびの郷）	12:20	14:00
市街地に移動・終了	14:30	
※2日目の移動は、貸切タクシーを利用		

5. 日帰りプラン①：アウトドアコース

風光明媚な茶畑、趣の残る400年前の宿場町の街並み、アートが点在する緑あふれる公園。宇部の特徴的なエリアを、ボランティアガイドと一緒に歩きながら、自然やアートを楽しめます。

1日／19,000JPY ※4人で参加した場合の一人当たりの料金
 プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費（貸切タクシー以外の移動）、昼食代、温泉入浴料（620円・タオル代別途）
 オプションメニュー：植物園入場料（300円）、動物園入園料（500円）

- ハイライト
- ・自分の足で歩いて見つける新旧のアート
 - ・宇部の自然を感じながらの散策

スケジュール	スタート	終了
市内送迎～移動	8:00	8:30
小野茶体験（山口茶業）	8:30	9:50
昼食・温泉（楠こもれびの郷）	10:10	12:00
船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問	12:20	15:00
移動～ときわ公園へ	15:00	15:30
彫刻鑑賞ツアー：植物園、動物園なども自由に散策	15:30	17:00
終了		
※移動は、貸切タクシーを利用		

6. 日帰りプラン②：伝統芸能コース

酒造、神楽舞、温泉、琴、そして宿場町。歴史が紡いできた自然と伝統を訪ねるコースです。クラフトマンやアーティストとのフェイストゥフェイスのコミュニケーションをお楽しみください。

1日／30,000JPY

※4人で参加した場合の一人当たりの料金

プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、昼食代、温泉入浴料（620円・タオル代別途）

- ハイライト
- ・日本酒、神楽、琴。日本に古来からあるアートとクラフトを巡る旅
 - ・「宇部のオリジナル」だけを集めた、オンリーワンの体験の連続

スケジュール	スタート	終了
市内送迎～移動	9：30	10：00
永山本家酒造場見学～岩戸神楽舞鑑賞（永山本家酒造場）	10：00	12：00
昼食・温泉（楠こもれびの郷）	12：20	14：00
船木宿ウォーク～たましげ琴製作所訪問	14：20	16：30
移動・終了	17：00	

※移動は、貸切タクシーを利用

7. 日帰りプラン③：メディテーションコース

メディテーション×アートをテーマにしたコース。禅のころを知ることで、昨日までとは違うアートの受け取り方ができるようになるかもしれません。日本の伝統家屋で行う習字体験で、和のころにも触れることができます。

1日／12,000JPY

※4人で参加した場合の一人当たりの料金

プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費、習字材料費（500円）、昼食代
オプションメニュー：植物園入場料（300円）、動物園入園料（500円）

- ハイライト
- ・禅の心でアートに触れる新しい経験
 - ・市街地エリアにある観光地を巡るコンパクトな旅

スケジュール	スタート	終了
宗隣禅寺坐禅体験	9：00	10：30
ビエンナーレの丘坐禅体験	11：00	11：30
昼食（ときわ公園内）	11：40	12：30
彫刻鑑賞ツアー：植物園、動物園を含む自由散策	12：30	15：00
移動～かまたの恵へ	15：00	15：20
軽食（かまたの恵）	15：30	16：00
習字体験（かまたの恵）	16：00	18：00
終了		

8. 日帰りプラン④：習字体験コース

宇部市の伝統工芸品「赤間硯」をテーマに、習字体験と硯製作を体験できるショートトリップ。体験後に立ち寄る温泉が、心身の充足感をより高めてくれることでしょう。

1日／31,000JPY

※4人で参加した場合の一人当たりの料金

プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、現地交通費（貸切タクシーを除く）、習字材料費（500円）、昼食代

- ハイライト
- ・プロのアーティストが提供する和のアート体験
 - ・ワークショップの疲れと興奮をほぐす、温泉と人の温もり

スケジュール ※移動に貸切タクシーを利用	スタート	終了
習字体験（かまたの恵）	10：00	12：00
軽食（かまたの恵）	12：00	12：40
移動～赤間硯の里へ	12：50	13：30
硯工房見学＆硯製作体験：ライトプラン（赤間硯の里）	13：30	15：00
移動～楠こもれびの郷へ	15：00	15：10
休憩・温泉（楠こもれびの郷）	15：10	16：30
市街地に移動・終了	17：20	

9. 半日プラン：宇部お手軽満喫コース

宇部の魅力を凝縮した半日プラン。坐禅、習字、日本文化体験と和づくしの時間をどうぞ。

半日／9,000JPY

※4人で参加した場合の一人当たりの料金

プランに含まれないもの：現地までの移動交通費、習字材料費（500円）

- ハイライト
- ・禅のこころと和のこころ、両方を楽しむ
 - ・宇部に住む人たちとの、こころ触れあう交流

スケジュール	スタート	終了
宗隣禅寺坐禅体験	13：00	14：30
休憩（かまたの恵）	14：50	15：30
習字体験：ライトプラン（かまたの恵）	15：30	16：30
日本文化体験（着物体験、茶道体験）	16：30	18：00
終了		

10. 課題と今後の展開

課題

1. UBEビエンナーレに関する情報整備

- ・彫刻脇にある情報プレートの英語表記（QRコードにアクセスしなくても見れる状態）
- ・制作者の制作に至った背景や思いの情報化
- ・ウェブサイトのアクセシビリティの向上（情報経路の単純化）
- ・彫刻マップの英語化

2. 公共交通によるアクセスのしやすさ

- ・吉部地区や楠地区への山間部へのアクセス
- ・市内を気軽に移動できる「足」の確保（コミュニティサイクル、シェアライドサービスなど）

3. 英語対応

- ・電話やメール、WEBサイトでの予約受付対応に慣れる、対応人員増やす
- ・英語によるウェブサイトや観光パンフレット、案内標識、メニューの用意
- ・英語ガイドの育成、対応人員を増やす

4. 観光ガイドの育成

- ・UBEビエンナーレやアートに精通したガイドの育成、対応人員を増やす
- ・宇部全域の歴史や文化、特色に詳しいガイドの育成、対応人員を増やす

5. 体験コンテンツのブラッシュアップ

山口茶業、永山本家酒造場など、受け入れ先の方が案内するコンテンツにおいては、外国人観光客が好む説明の仕方やアクション、見学導線、話し方、またこれらをフォローするガイドのコミュニケーション能力（会話を引き出したり、質問を投げかけたりなど双方向のやり取り＝ガイドのエンターテインメント化）の向上を行うことで、満足度の高いコンテンツになりうる。ただし、これは一朝一夕でできるものではない。PDCAサイクルの実施（場数を踏む→反省→次に生かす）により、実現に向けていく

6. 情報発信

- ・WEBをはじめ、インスタグラム、メディアFAM、海外のアートガイドメディアを通じた認知活動の検討

体験コンテンツの実施体制

①宗隣寺坐禅体験

②ビエンナーレの丘坐禅体験～彫刻鑑賞ツアー

- コンテンツ提供者である宗隣禅寺が窓口となり、受付
- ・TEL 0836-21-1087
 - ・メール sourin-yonyon@camel.plala.or.jp

③小野茶体験：茶畑見学～工場見学～試飲

- コンテンツ提供者である株式会社山口茶業が窓口となり、受付
- ・TEL 0836-64-2116
 - ・メール ono@onocha.com

④赤間硯の里：硯製作体験

- コンテンツ提供者である赤間硯の里が窓口となり、受付
- ・TEL 0836-67-0641
 - ・メール akama793@abeam.ocn.ne.jp

⑤書道体験

- 習字会場となるかまたの恵が窓口となり、受付
- ・TEL 0836-32-1824
 - ・メール ohagi333@galaxy.ocn.ne.jp

⑥船木エリアウォーク～たましげ琴製作所訪問

- 英語通訳ガイドを担当するEssenceが窓口となり、受付
- ・TEL 0836-39-9611
 - ・メール vizio@nifty.com

⑦永山本家酒造場見学&岩戸神楽舞鑑賞

- コンテンツ提供者である岩戸神楽舞復興委員会が窓口となり、受付
- ・TEL 0836-67-0201
 - ・メール magurac1@city.ube.yamaguchi.jp

■日本語観光ボランティア依頼先 (対象コンテンツ：①⑥)

- 宇部観光コンパニオン
- ・TEL 0836-34-8353
- (宇部市観光・グローバル推進課内)

■英語ガイド依頼先 (①～⑦共通)

- Essence
- ・TEL 0836-39-9611
 - ・メール vizio@nifty.com

11. WEBサイト（英語）でのコンテンツ情報の提供

本事業で造成した観光コンテンツの情報は、欧米豪の顧客に特化したインバウンド専門の旅行会社「ハートランド・ジャパン」（リベルタ株式会社）のツアーページにて、2020年4月より紹介。

Tradition, Arts and Crafts: 7 Must-Do Activities in Ube City, Yamaguchi Prefecture - Heartland JAPAN

<https://heartlandjapan.com/7-things-to-do-in-ube/>



Heartland JAPAN

About Us ▾ Destinations in Japan ▾ Our Trips ▾ Excursions ▾ Tour Information ▾ Our Blog    

Tradition, Arts and Crafts: 7 Must-Do Activities in Ube City, Yamaguchi Prefecture

The city of Ube, Yamaguchi Prefecture, is well known as the host of the Ube **Biennale**, an international sculpture contest and exhibition that has taken place every two years since its conception in 1961. However, there's a lot more to Ube than just its Biennale; from discovering its **traditional, artistic side** to the area's rich history and spiritual routes, here are seven reasons why you should include a trip to this amazing city during your next visit to Japan.



Overview

True art appreciation begins with an open mind, and there's no better way to reach that state than through zen meditation. Your 'Zazen' meditation experience takes place at Sourinji, one of Ube's most important Zen temples. Here, you will learn of the importance of correct posture and the ideal mindset for meditation, which will influence your senses and boost your ability to appreciate Ube's varied art selection from a fresh, new perspective. You will also have a chance to visit the temple's Ryushin Garden, designated as a national scenic spot and the oldest garden in the prefecture.

#1: Zen meditation

Pricing

- **Price (tax incl.):** ¥3,500/person
- ※ Price per person when 4 people participate
- **What's included:** Zen meditation experience, access to the garden, English interpreter

Information

- **Implementation period:** Full year (limited to days when there are no other events - contact us to confirm)
- **Experience details:** Zen meditation (20 min, twice), explanation (30 min), garden visit (20 min)
- **Time required:** 90 minutes
- **Number of participants:** 4 to 12 people
- **Application deadline:** 2 weeks before
- **Attention:** If you can't sit on the floor, we will prepare a chair. Please inform us when booking.
- **Contact information:** Sourinji Temple
210-Kogushi, Ube City, Yamaguchi Prefecture 755-0067
 - ・ ☎ 0836-21-1087
 - ・ @sourin-yonyon@camel.plala.or.jp
- **Access:** Approximately 25 minutes on foot from JR Ube Line - Ube Shinkawa Station.
You can take a bus from the station until Kosugi bus stop, from the stop it's a 5-minute walk.



Overview

There is a particular statue on the Ube Biennale hill called the "Ant Castle", which is beloved by Ube citizens and considered a true symbol for the city. During this experience, you will have a chance to meditate before the Ant Statue in order to fully understand and appreciate it.

Contemplating all aspects of the statue as you empty your mind may seem somewhat of an oxymoron, but in reality both art and meditation start from a condition of "nothingness", which you will come to understand as you take part in the experience whilst surrounded by the park's natural beauty.

After the meditation, take a stroll through the park's 200 sculptures and listen to your guide's descriptive commentary - you're sure to find a favourite piece amongst the display.

#2: Meditation and sculptures tour

Pricing

- Price (tax incl.): ¥2,700/person
- ※ Price per person when 4 people participate
- What's included: Zen meditation experience, sculpture guide, English interpreter

Information

- Implementation period: Full year (limited to days when there are no other events - contact us to confirm)
 - Experience details: Zen meditation (30 min), sculptures tour (60 min)
 - Time required: 90 minutes
 - Number of participants: 4 to 12 people
 - Application deadline: 2 weeks before
 - Attention: Please come to the Biennale hill. This is an outdoor experience which starts and ends there. You can add lunch for a ¥1,000 fee - please ask to the guide.
 - Contact information: Sourinji Temple
 - ☎ 0836-21-1087
 - @sourin-yonyon@camel.plala.or.jp
 - Experience place: Tokiwa Park
 - 3-4-1 Norisada, Ube City, Yamaguchi Prefecture, 755-0003
 - ☎ 0836-54-0551
 - Access: Approximately 15 minutes on foot from JR Ube Line - Tokiwa Station.
- From Ube Shinkawa Station, take the bus line Hagiwara Line/Hagiwara Circuit Line and get off at Tokiwa Park bus stop, or take the Tobushinai Circuit Line/Megurina and get off at Tokiwa Park or Tokiwa Museum bus stops.



Overview

Ube's Ono Tea plantation is Japan's largest, with a rich green carpet of tea leaves extending as far as the eye can see and surrounded by gentle hills unique to the area's geographical landscape.

During this activity, you will have the chance to truly immerse yourself in the tea plantation experience; learn about tea growing and the production process with the aid of a Yamaguchi Tea Industry guide, then enjoy a fresh, delicious cup of green tea that pleases all the senses. After the plantation tour, you will have the chance to explore the tea factory and also to purchase tea leaves or the plantation's processed products.

#3: Yamaguchi tea industry, Ono tea

Pricing

- Price (tax incl.): ¥12,000/group
- What's included: Tea plantation tour, tea factory tour, English interpreter

Information

- Implementation period: Full year
- Experience details: Tea plantation tour & lecture (20 min), factory tour (20 min), tea tasting and shopping (20 min)
- Time required: 80 minutes
- Number of participants: 4 to 12 people
- Application deadline: 2 weeks before
- Attention: This is an outdoor experience which starts at the tea plantation and ends at the tea factory. A car is needed to transfer from the plantation to the factory.
- Contact information: Yamaguchi Tea Industry Co., Ltd.
 - 152-13 Obe, Ube City, Yamaguchi Prefecture
 - ☎ 0836-64-2116
 - @ono@onocha.com



Overview

The history of the Akama Inkstone is believed to date back over 900 years to the days when Akama stones were collected from a nearby mountain and inkstones made from them were considered a truly precious gift. Today, the Akama Inkstone Workshop is known as of the leading crafters of Yamaguchi Prefecture and its products have been selected as souvenirs for the Tokyo Olympic games.

During this experience, you will learn how to sharpen Akama Inkstones during the production process, which consists of five major steps: quarrying, edging, shaving, carving and polishing.

The finished, original inkstone can be used not only as a tool for calligraphy, but also as a paper weight or accessory stand.

A more relaxed "light plan" is also available.

#4: Inkstone making

Regular plan

Pricing

- **Price (tax incl.):** ¥10,500/one person
- ※ plus ¥5,000 for any additional person
- **What's included:** Inkstone making experience, material, English interpreter (price for up to 5 people)
- **What's not included:** Shipping fees for your inkstone (you can get it finished with lacquer and then shipped)

Information

- **Implementation period:** Full year (10:00-15:00)
- **Experience details:** Lecture and inkstone making experience
- **Time required:** 5 hours (2 hours of experience, 1 hour of lunch break, final 2 hours of experience)
- **Number of participants:** 5 to 12 people
- **Application deadline:** 2 weeks before
- **Attention:** The experience venue is "Mankura Fureai Center".

You can have lunch at "Kusunoki Komorebi no Sato" which is just a 3-minute walk.

Light plan

Pricing

- **Price (tax incl.):** ¥10,000/one person
- ※ plus ¥5,000 for any additional person
- **What's included:** Manufacturing experience, material, workshop tour, English interpreter (price for up to 2 people)
- **What's not included:** Shipping fees for your inkstone (you can get it finished with lacquer and then shipped)

Information

- **Implementation period:** Full year
- **Experience details:** Explanation video (20 min), workshop tour (20 min) and manufacturing experience (40 min)
- **Time required:** 80 minutes
- **Number of participants:** 2 to 4 people
- **Application deadline:** 2 weeks before

■ **Contact information:** Akama Tsuzuri no Sato

• ☎ 0836-67-0641



Overview

Calligraphy is a traditional Japanese art form, drawing beautiful Japanese characters known as 'Kanji' with a brush dipped in deep black ink. During this experience, you will have the chance to practice Calligraphy using Ube's iconic Akama inkstones, under the watchful eye of an instructor who will not only teach you how to direct your brush, but also introduce you to the mindset and spirit of the practice.

Try your hand at writing your favorite words on Japanese paper and create your own bookmark which you can then take home with you as a keepsake.

After the experience, there will be time to rest and enjoy some traditional matcha tea and Japanese sweets at the venue, Kamanota no Megumi.



Overview

Starting at the "Forest of Learning Kusunoki" Museum and walking right around Funaki post-town, this tour will take you to the Okazaki Hachimangu Shrine – one of the only four shrines in Japan with a license for brewing sake.

After admiring the statues and traditional styles of the Edo period shrines, temple and architecture that still remain in Funaki post-town, you will then visit the "Tamashige Koto Workshop", which will be the tour's final destination.

At the workshop, master craftsman Akihiko Tamashige will give you a detailed explanation and lecture regarding the history of the Koto (Japanese harp) and the way it is made. Visitors will have the chance to freely explore the workshop, and also to enjoy a special live Koto performance.

#5: Calligraphy experience using Akama inkstone

Pricing

■ Price (tax incl.): ¥8,500/person

※ Price per person when 4 people participate

■ What's included: Calligraphy experience, material, food and drinks, English interpreter

Information

■ Implementation period: Full year

■ Experience details: Calligraphy experience and bookmark creation (2 hours), light meal (30 min)

※ If there is enough time, you can also experience other Japanese culture's aspects for free like wearing a kimono.

■ Time required: 2 hours 30 minutes

■ Number of participants: 1 to 10 people

■ Application deadline: 10 days before

■ Contact information: Kamata no Megumi
1-6-50 Nakamura, Nakamura, Ube City, Yamaguchi Prefecture 755-0072

• ☎ 0836-32-1824

• @ ohagi333@galaxy.ocn.ne.jp

#6: Funakijuku Walk and visit to Tamashige Koto Factory

Pricing

■ Price (tax incl.): ¥15,000/group

■ What's included: Tour guide, Koto workshop tour, English interpreter

Information

■ Implementation period: Full year

■ Experience details: Guided walk tour of the post-town Funaki and Okazaki Hachimangu Shrine (80 min) Hatamiya-post town), workshop tour and performance at Tamashige Koto Factory (60 min)

■ Time required: 2 hours 20 minutes

■ Number of participants: 4 to 6 people

■ Application deadline: 4 weeks before

■ Attention: This activity includes an outdoor experience, and starts and finishes in the Funakijuku area. You can add lunch for a ¥1,000 fee – please ask to the guide.

■ Contact information: Essence

• ☎ 0836-39-9611 or 090-3178-6811

• @ vizio@nifty.com



Overview

The Japanese believe that there is a special link between sake and the art of Kagura, with both dedicated to the Gods and used in prayers for good harvest and against disease.

In the first half of this experience, you will learn about the brewing process of "Ki", Ube City's world-famous sake. There will also be a chance to taste the product for yourself, savoring a taste born from the partnership of locally sourced rice and water.

Part two will involve a live Iwato Kagura dance show, held in the brewery by the local Kagura group which refunded in 2018. Made up of mainly local high school students and volunteers, the magnificent routines and performance of this group against the dark, dimly lit backdrop of a brewery which has been designated a tangible cultural property makes for a truly unforgettable experience.

#7: Visit to Nagayama Honke Sake Brewery and Iwato Kagura dance performance

Pricing

- **Price (tax incl.):** ¥48,000/group
- **What's included:** Brewery tour, sake tasting, Kagura dance performance, English interpreter

Information

- **Implementation period:** Full year during weekends and holidays
- **Experience details:** Sake brewery tour (40 min), Iwato Kagura dance (40 min), sake tasting (20 min)
- **Time required:** 1 hour 40 minutes
- **Number of participants:** 6 to 12 people
- **Application deadline:** 30 days before
- **Attention:** Please come directly to the Nagayama Honke Sake Brewery. During the Winter season, please ensure to wear warm clothes. We may also ask you to wear a mask during the influenza season. Minors (under 20 years) cannot do the tasting.
- **Contact information:** Iwato Kagura Dance Reconstruction Committee
 - ☎ 0836-67-0201
 - @magurac1@city.ube.yamaguchi.jp
- **Experience place:** Nagayama Honke Sake Brewery 138-01, Oaza, Ube City, Yamaguchi Prefecture 759-0133
 - ☎ 0836-62-0088

[← Previous Post](#)

[Next Post →](#)

